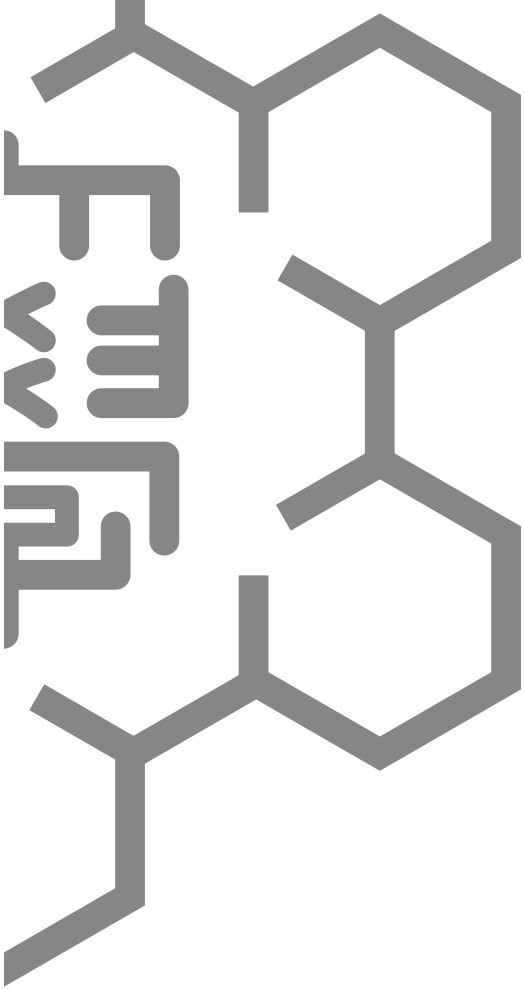


2022

オーナーズ型マイナー
(副専攻プログラム)



目次

新潟大学の副専攻制度について

- (1) はじめに 2
- (2) 副専攻制度とは? 2
- (3) どんなプログラムがあるの? 3
- (4) 副専攻を修得するメリットは? 4

1. 副専攻プログラム履修開始から認定証書授与までの流れ 5

2. 副専攻プログラム履修開始から認定証書授与までの詳細

- (1) 副専攻ガイダンスへの参加・副専攻パンフレットについて 6
- (2) 副専攻プログラムの授業科目の履修手続について 6
- (3) 副専攻履修証明書の発行について 8
- (4) 副専攻の認定申請条件と認定申請方法について 9
- (5) 学務情報システムの活用について 10

3. 各副専攻プログラムの紹介

- 環境学 12
- MOT基礎（特許・経営及び製品開発基礎コース） 14
- 芸術学 16
- 外国語（ドイツ語） 18
- 外国語（英語） 20
- 外国語（フランス語） 22
- 外国語（コリア） 24
- 外国語（ロシア語） 26
- 外国語（中国語） 28
- 地域学 30
- GIS（地理情報システム）リテラシー 32
- 法律学 34
- 政治学 36
- 経済学 38
- 電子・情報科学 40
- 統合化学 42
- 医学物理学基礎 44
- 学校教育実践 46
- データサイエンス 48

4. よくある質問FAQ 52

新潟大学副専攻の認定に関する規則 58

令和4年度 副専攻プログラム代表教員連絡先・授業時間割 60

令和4年度 副専攻入門科目等一覧 61

問い合わせ先・案内図 62

新潟大学の副専攻制度について

この冊子では、オナーズ型マイナー（副専攻プログラム）について説明します。
これ以降の「副専攻（制度）」とは、オナーズ型マイナーのことを指します。

(1) はじめに

皆さんは、自分の将来を含めて興味・関心のある専門分野の学びを深めることを目的として、新潟大学に入学されたことと思います。一方、社会の課題に目を向けてみると、一つの学問分野だけでは解決することが難しいような、複雑な問題が数多くあることに気づくのではないのでしょうか。そして、そのような課題を解決していくためには、自分の知的関心を広げ、複数の学問分野を横断的に学んでいく必要があります。

そこで新潟大学では、平成16年度から全国の大学に先駆けて「副専攻制度」を導入し、豊富な専門分野を持つ総合大学の利点や、自分の所属していない学部の授業を履修できる教育システムの特徴を活かし、「第二の専門分野」を認定する制度を設計しました。さらに令和2年度からは、この副専攻制度を発展させ、全学分野横断創生プログラム（Niigata University Interdisciplinary Creative Education Program; NICEプログラム）を開始しました。

NICEプログラムは、皆さんの興味・関心や問題意識に応じて学部の専門分野（メジャー）と他分野（マイナー）を組み合わせる学修仕組みです。NICEプログラムのマイナーには「オナーズ型マイナー（副専攻プログラム）」「学修創生型マイナー」「パッケージ型マイナー」の3種類があり、このパンフレットでは**オナーズ型マイナー（副専攻プログラム）**について説明します（「学修創生型マイナー」と「パッケージ型マイナー」については、「全学分野横断創生（NICE）プログラム（<https://www.iess.niigata-u.ac.jp/niceprogram/>）」をご覧ください）。

「オナーズ（honors）」とは、「優秀な学生を対象とした」という意味で、マイナー学修を希望する方の中でも特に意欲の高い学生を対象としています。新潟大学では知的好奇心や社会課題の解決意欲に溢れた学生の皆さんの期待に応える豊富な教育資源があります。また、このような皆さんの挑戦を支援する心強いサポートの仕組みとして、アカデミック・アドバイザーの支援があります（<https://www.iess.niigata-u.ac.jp/niceprogram/aa.html>）。ぜひこれらの仕組みをフル活用して、意義深い学生生活を送ってください。

(2) 副専攻制度とは？

所属学部・学科の学位とは別に、特定分野の学習成果を認証する制度です。

専門分野の勉学の成果は、卒業時に「学士」という学位の称号を得ることで、社会的に認知されます。しかし、従来、専門以外の分野について、学習成果を認証する制度はありませんでした。例えば法学部の学生が社会的関心に触発されて、一定水準以上の環境科学の勉学を行ったとしても、社会的に認知される何らかの認証を受けることはできませんでした。副専攻制度では一定の条件をクリアした学生に対して、大学で特定分野を学んだことの証明として公的な認定である「副専攻認定証書」を授与する制度です。

当該専門分野以外の科目を一定単位数以上取得した学生に、
その勉学の認証として、**副専攻認定証書**を授与します。

学生は卒業にあたって副専攻認定の申請を行います。定められた基準を満たしていることが確認できれば、専門分野に関わる「学士」の学位記に加え、分野を明記した「副専攻」を認定する文書を発行します。先の例のような学生は、卒業時に「学士（法学）」の学位に加えて、大学で環境科学を学んだ公的な証明として、「環境学」の副専攻認定が受けられます。副専攻認定に触発されて、自主的に環境学分野で一定水準以上の学習をした法学部学生は、きっと社会の中でその経験を生かしていけるはずです。

(3) どんなプログラムがあるの？

副専攻には「課題別副専攻」と「分野別副専攻」の2つのタイプがあります。「課題別副専攻」は、全学で開講されている科目を分野横断的に統合した「テーマカリキュラム」です。「分野別副専攻」は特定の学問分野の授業科目から作られたプログラムです。

課題別副専攻 (11プログラム)
環境学
MOT基礎 (特許・経営及び製品開発基礎コース) ◆
芸術学 ◆
外国語 (ドイツ語)
外国語 (英語)
外国語 (フランス語)
外国語 (コリア)
外国語 (ロシア語)
外国語 (中国語)
地域学 ◆
G I S (地理情報システム) リテラシー

分野別副専攻 (8プログラム)
法律学 ◆
政治学 ◆
経済学
電子・情報科学
統合化学
医学物理学基礎
学校教育実践
データサイエンス

◆印のあるプログラムは2022年度以降入学者 (3年次編入生は2023年度以降入学者) は認定の対象となりません。認定希望者は、2022年度までに入門科目を履修し、原則として2024年度までに認定を受けてください。

* 分野水準表示法

新潟大学で開講されている多くの科目には、「分野」と「水準」を示したコードが割り当てられています。各開講科目には、その科目の「分野」と「水準」がそれぞれ2桁の数字で示されます。

水準コードは、10の位で「聴講科目対象者」を、1の位で「授業の水準」を示します。履修の計画を立てる場合、参考になるのは水準です。

3は「学士課程の基礎的水準」、4は「学士課程における専門の中核的水準」ですので、履修のはじめの段階では3の科目を、かなり進んだ段階では4の科目をとった具合に、選択の一つの目安として活用できます。

■ 分野コード表

分 野		分 野		分 野		分 野	
10	情報	36	経済学	53	建築学	75	新潟大学個性化科目
13	芸術	37	経営学	54	材料工学	76	大学学習法
14	健康スポーツ	38	社会学	55	プロセス工学	77	課題研究
15	生活科学	39	心理学	56	人間医工学	80	基礎医学
16	科学技術社会論	40	教育学	57	生物学	81	臨床医学
17	博物館学	41	数学	60	農学	82	社会医学
28	哲学	43	物理学	61	農芸化学	85	看護
29	文学	44	地学	62	林学	86	福祉
30	言語学	46	化学	64	農業経済	87	境界医学
31	史学	47	応用化学	65	農業工学	90	基礎歯学
32	人文地理学	49	工学基礎	66	畜産学	91	臨床歯学
33	文化人類学・民俗学	50	機械工学	70	英語	92	社会歯学
34	法律学	51	電気電子工学	71	外国語	99	その他
35	政治学	52	土木工学	74	キャリア意識形成		

■ 水準コード表

10の位の数字		1の位の数字	
0	全学の学生を受け入れることが可能科目	1	大学学習法など、学士課程での学習を円滑にするためのもの
1	当該学部 (学科) の学生に限られる科目	2	高等学校との接続を意識した水準 (リメディアル)
2	教員免許など資格に関わる科目	3	学士課程の基礎的水準
		4	学士課程における専門の中核的水準
		5	学士課程における専門の発展的内容で大学院との接続水準

(4) 副専攻を修得するメリットは？

● 幅広い知識を得られる。

学生の皆さんは、自分の興味のある分野、将来なりたい職業を考えて所属している学部、主専攻プログラムを選んだことと思います。しかし、必ずしもその分野だけに興味があるわけではないのではないでしょうか。副専攻を活用することで主専攻プログラム以外の関心のある分野を体系的に学ぶことができ、修了認定も受けることができます。

卒業生の声（卒業生アンケートより）

専門以外の教養科目は「卒業のための単位を取るための講義」になりがちですが、副専攻で勉強の方向性が決まっているとモチベーションは維持しやすいと思いました。やはり、教養科目も単位のために無秩序に講義を受講するより一つ目標があったほうが良いと思います。

● 主専攻の学習を補うことができる。

各主専攻プログラムでは到達目標が定められており、その目標を達成するためのカリキュラムが作成されています。学生はカリキュラムにそって授業を受講していきませんが、副専攻は上手に活用することで到達目標を達成する手助けになります。例えば、「外国語（英語）」はどの主専攻プログラムでも必要でしょう。「MOT基礎」は工学部の学生にとっては重要な知識となることと思います。

卒業生の声（卒業生アンケートより）

主専攻である経済学を学ぶにあたり、地域経済を主に学びたいと思い地域学の副専攻を履修した。その際、主専攻に絡めながら副専攻を学んだが、フィールドワークなどが多い地域学の分野では、座学では学べないことや人とのつながりなどを体感できた。また、他学部の講義を受けることで、多角的な視点や所属学部以外の大学内の様子を見ることができ、自身の大学生生活に大きく役立った。

● 就職活動に活用することができる。

就職活動ではエントリーシートや面接などで大学で何を学んできたか聞かれる場合があります。そのようなときに主専攻プログラムだけではなく、副専攻プログラムで幅広い知識を学んだことをアピールすることができるでしょう。

就職活動で副専攻をアピールしたい方は、「**副専攻プログラム履修証明書**」を3年次、4年次に発行することができます。（証明書発行方法は8ページを参照）

卒業生の声（卒業生アンケートより）

頑張って副専攻を取ってよかったと思っています。就職活動の時にネタにもなったし、自分自身の自信にもつながりました。

企業の声（企業アンケートより）

就職してから必ず役に立つものと思います。弊社も、御校の学生を採用する際には参考にさせていただきたいと思います。

1. 副専攻プログラム履修開始から認定証書授与までの流れ

① 副専攻ガイダンスへの参加・副専攻パンフレット（本冊子）を入手する

毎年、学期始め（4月、10月）に副専攻ガイダンスが開催されます。ここでは、副専攻履修に関しての大事なお知らせがありますので、なるべく参加するようにしましょう。

また、副専攻対象の科目は、開講状況等により年度によって変更になることがあります。**入学年次から卒業年次まで、各年度の副専攻パンフレット（本冊子）を手に入れ、履修を進めましょう。**
（詳しくは6ページ 2（1）を参照のこと。）



② 副専攻プログラムの授業科目の履修手続（1年次～3年次）

まず、各副専攻プログラムの内容・認定条件などを確認してください。そのうえで、各プログラムに登録されている科目一覧から卒業時まで**24単位**修得することを目指します。

★3年次の末までに「入門科目」を履修しておきましょう。

★副専攻プログラムは1年次～3年次のどの時点からでも開始できます。

★副専攻プログラムの授業科目の履修申請は、通常の授業科目の履修申請と同じです。

（詳しくは6ページ 2（2）を参照のこと。）



③ 副専攻履修証明書の発行（3年次以降）

就職活動などで、副専攻の履修をアピールしたい場合などは、3年次以降、「副専攻履修証明書」を発行することができます。

（詳しくは8ページ 2（3）を参照のこと。）



④ 副専攻の認定申請と審査（4年次12月～2月）

副専攻の認定を受けようとする学生は、卒業年次の所定の期間に認定申請を行わなければなりません。
（詳しくは9ページ 2（4）を参照のこと。）

- ・認定申請に関するお知らせを学務情報システム及び副専攻掲示板（総合教育研究棟B棟2階学生玄関正面に設置）にて通知します。必要書類を学務部教務課（場所は62ページ参照）に提出してください。
- ・いくつかのプログラムでは、認定審査の際に**最終レポート**や**課題の提出**が求められています。学務情報システム及び副専攻掲示板にて通知しますので注意してください。



⑤ 副専攻認定証書の授与（4年次3月）

認定審査を通過した学生に対して、「副専攻認定証書」を卒業式において授与します。

2. 副専攻プログラム履修開始から認定証書授与までの詳細

(1) 副専攻ガイダンスへの参加・副専攻パンフレットについて

毎年、学期始めに副専攻ガイダンスが開催されます。ガイダンスの日程は学務情報システムや、副専攻掲示板などでお知らせします。

また、副専攻パンフレット（本冊子）には、副専攻の認定を目指す上で重要なことが書かれています。熟読するようにしましょう。

★ガイダンスは2種類あります。

①スタートアップ・ガイダンス

主にこれから副専攻を始めようとする学生が対象のガイダンスです。

②エンカレッジ・ガイダンス

主に既に副専攻を履修している学生が対象のガイダンスです。

★副専攻対象の科目は、開講状況等により年度によって変わる場合があります。そのため、入学年次から卒業年次まで各年度の副専攻パンフレットを手に入れ、履修を進めましょう。

副専攻パンフレットは、学務情報システムからも閲覧可能です（11ページ参照）。また、学務部教務課において、随時配布しています。

(2) 副専攻プログラムの授業科目の履修手続について

履修開始にあたって

12ページからの各プログラムの紹介ページを見ながら、実際に履修したい副専攻プログラムの検討をします。どの副専攻プログラムにするか迷っている場合は、興味のあるプログラムの科目を同時に履修することから始め、最終的には1つのプログラムの認定を目指すことをお勧めします。

また、はじめに「入門科目」(※注)を履修しましょう。入門科目では、この副専攻では何を学ぶのかや履修にあたっての注意事項などの説明も行われます。ほとんどの入門科目は、どの学部学生でも履修できるようにするため、**オナーズ・タイム**（お昼休みの時間：11時55分～12時45分）に開講されています。

※注：外国語（ドイツ語）、外国語（中国語）の入門科目は2年次以上の学生のみ履修可能です。

1年次学生は履修できません。また、MOT基礎、芸術学、地域学、法律学、政治学は2021年度以前の入学者（編入学生は2022年度以前入学者）のみ認定対象となります。

★副専攻プログラムの授業科目の履修は、履修登録期間中に学務情報システムから履修登録します。

★副専攻履修開始にあたって、学務情報システムでの「マイナー学修」申し込み（エントリー）が必要です。卒業するまでに認定条件を満たすように、副専攻パンフレットに掲載されている授業科目を履修してください。

履修計画を立てよう

次のことに注意しながら、履修計画を立てましょう。

- ・3年次末までに入門科目を履修してください。
- ・卒業年次までに認定を目指す副専攻プログラムの登録科目を24単位以上修得することを目指してください。
- ・プログラム独自の認定条件を確認してください。
- ・主専攻等（皆さんが所属する学部での専門の授業）の履修がおろそかになることがないように、最終的にオナーズ型マイナーが認定されるのは一人ひとつまでとしています。他のマイナー（学修創生型、パッケージ型）は、複数のマイナーを認定可能です。

★副専攻プログラムで何単位を修得済みかは、学務情報システムの「マイナー学修（副専攻）成績確認表」から確認できます。（詳しくは10ページ）

★参考までに過去の副専攻認定学生の履修例を以下に掲載します。
副専攻プログラム修了生の履修例は、学務部教務課で閲覧可能です。

副専攻「環境学」修得単位：27

経済学部 経済学科

分類	属性	水準	科目名	単位	修得年度	履修学年
コア	R	03	環境学入門	1	2015	1
コア	B	02	生産環境科学概論Ⅰ	2	2015	1
コア	C	03	保全生態学	2	2015	1
コア	A	04	生命環境倫理学	2	2016	2
コア	R★	04	環境学実習	1	2016	2
コア	B	03	くらしと環境	2	2016	2
コア	C	04	多様性生物学A	2	2016	2
コア	C	04	多様性生物学B	2	2016	2
関連	B	04	都市衛生施設工学	2	2016	2
コア	C	02	生産環境科学概論Ⅱ	2	2016	2
コア	R	05	環境学演習	1	2017	3
コア	A	03	倫理学入門	2	2017	3
コア	A	04	環境経済システム論Ⅰ	2	2017	3
関連	C	03	野生植物生態学	2	2017	3
関連	C	04	環境政策論	2	2017	3

副専攻「外国語（コリア）」修得単位：25

教育学部 学習社会ネットワーク課程

分類	属性	水準	科目名	単位	修得年度	履修学年
コア	A	03	朝鮮語スタンダードⅠ	3	2015	1
コア	A	03	朝鮮語スタンダードⅡ	3	2015	1
コア	R	03	コリア学入門	1	2016	2
コア	R	03	国際交流	2	2016	2
コア	C	03	コミュニケーション・朝鮮語B	2	2016	2
関連	B	03	歴史文化学入門A	2	2016	2
コア	C	03	コミュニケーション・朝鮮語D	2	2016	2
コア	C	03	歴史学Q	2	2016	2
コア	C	03	歴史学Ⅰ	2	2016	2
コア	C	03	領域融合・超域科目Ⅰ	2	2016	2
関連	B	03	日本・アジア言語文化入門B	2	2016	2
関連	B	03	平和を考えるA	2	2017	3

履修中にわからないことがあれば、プログラムの代表教員（連絡先は60ページ参照）にアドバイスを受けましょう。

特に入門科目は主に代表教員が担当しているので、わからない点は、そこで解決するようにしましょう。また、学務部教務課が事務的な窓口を担当しています。

学務部教務課お問合せ先 TEL：025-262-6311

MAIL：kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

ご不明な点はお気軽にご連絡ください。学務部教務課の場所は62ページをご覧ください。

(3) 副専攻履修証明書の発行について

副専攻の修得が最終的に証明されるのは、卒業式で「副専攻認定証書」が授与されてからになります。

しかし、実際に**就職活動などで副専攻を履修していることをアピール**したいこともあるでしょう。そのために、「新潟大学副専攻プログラム履修証明書」(下図)が用意されています。以下の履修証明書の発行要件を満たした方は、学務部教務課まで申請いただければ証明書を発行します。

※証明書発行までには3日程度かかります。

◎履修証明書発行要件

- (1) 学生本人からの「申し出」により発行する。
- (2) 発行対象は、第3年次生及び第4年次生とする。
- (3) 発行にあたっては以下の基準を満たすこと。
 - ・各副専攻プログラムの入門科目を履修済み、または履修中であること。
 - ・発行申請時までの全履修科目のGPA値が、2.5以上であること。
 - ・副専攻科目を12単位以上履修済み、または履修中であること。

新潟大学副専攻プログラム履修証明書

新潟大学副専攻プログラム履修証明書		
新潟大学		
人文学部 人文学科		
3 年 新潟 太郎		
上記の学生は、本学が開設している下記の副専攻プログラムを履修中であることを証明します。		
副専攻プログラム名		
「 外国語 (中国語) 」		
年 月 日		
新潟大学教育・学生支援機構長	信濃 川之助	職印

(4) 副専攻の認定申請条件と認定申請方法について

副専攻の認定申請をするには、卒業年次までに以下の条件を満たす必要があります。

【認定申請条件】

- ① 3年次末までに、各副専攻プログラムで定められた「**入門科目**」を履修すること。
- ② 副専攻プログラムの授業科目を**24単位以上**修得すること。
- ③ 卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数（**標準124単位**）+**12単位以上**であること。
- ④ 卒業時までに履修したすべての授業科目の**GPA*¹**が**2.5以上**であること。
- ⑤ **各プログラムが独自に定めた認定条件**を満たしていること。（各プログラムごとの認定条件は12ページからの各副専攻プログラムの詳細ページを参照してください。）

* 1 : G P A (Grade Point Average)

皆さんが受けた授業の成績の平均を示す指標です。以下の式で算出され、認定条件の「GPA2.5」は、各授業での成績平均75点に相当します。**GPAは、学務情報システムの「副専攻成績確認表」で確認できます（10ページ参照）。自分で計算する必要はありません。**

$$\text{GPA} = \frac{(\text{各授業科目の単位} \times \text{各授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{履修した各授業科目の単位数} \text{の総和}}$$

ここで、**GP**とは

$$\text{GP} = (\text{成績評価} - 50) \div 10$$

と定義します。ただし

$$\text{成績評価が60点未満の場合} \Rightarrow \text{GP} = 0$$

とします。

【認定申請方法】

上の条件を満たしている学生は、**卒業年次に**認定審査を受けることができます。

認定申請は認定申請期間中に以下の書類を学務部教務課に提出します。認定申請期間は、例年12月中旬～1月中旬までのおおよそ1ヶ月の間です。

認定申請の詳細は、学務情報システム及び副専攻掲示板にて通知します。

- ・副専攻認定申請書
- ・マイナー学修（副専攻）成績確認表
- ・成績通知書

【副専攻認定証書の授与】

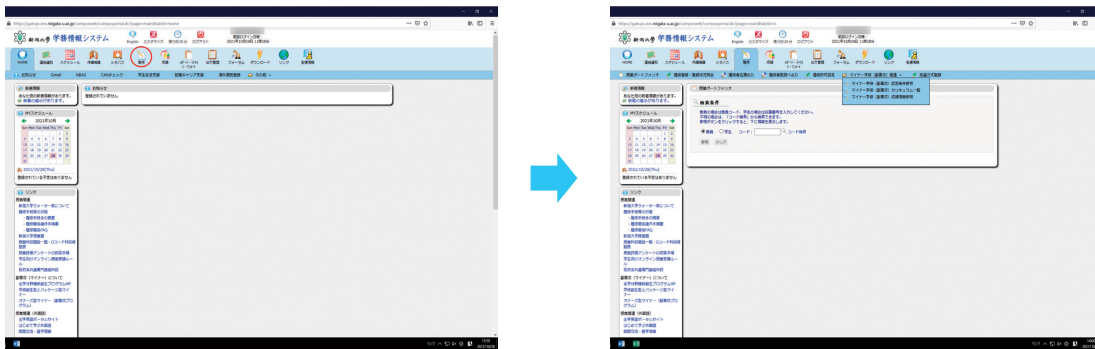
認定審査を通過した学生に対して、「副専攻認定証書」を卒業式において授与します。副専攻認定証書の授与が決定したのち（3月中旬頃）、各学生に学務情報システム及び副専攻掲示板にて通知します。

(5) 学務情報システムの活用について

学務情報システムには副専攻を履修していく上での手助けとなる機能が用意されています。その機能についてここで紹介します。

はじめに

学務情報システムにログインし、**履修**、**マイナー学修（副専攻）関連**と進んで下さい。よく利用する機能は、「マイナー学修（副専攻）成績情報参照」と「マイナー学修（副専攻）カリキュラム一覧」です。



①成績情報副専攻参照

「マイナー学修（副専攻）成績情報参照」では、**各副専攻プログラムにおける自分の単位修得状況を確認**することができます。

最終的に修了認定を受けるためには、**修得単位数が24単位以上**になっていなくてはなりません。

単位修得状況の詳細を確認したい場合は、画面①にてプログラムを選択することで、画面②で確認することができます。

画面①

マイナー学修（副専攻）成績確認表

学年	学期	履修単位数	履修成績	履修状況
2021	1	3	B	履修済
2021	2	3	B	履修済
2022	1	3	B	履修済
2022	2	3	B	履修済
2023	1	3	B	履修済
2023	2	3	B	履修済
2024	1	3	B	履修済
2024	2	3	B	履修済
2025	1	3	B	履修済
2025	2	3	B	履修済
2026	1	3	B	履修済
2026	2	3	B	履修済
2027	1	3	B	履修済
2027	2	3	B	履修済
2028	1	3	B	履修済
2028	2	3	B	履修済
2029	1	3	B	履修済
2029	2	3	B	履修済
2030	1	3	B	履修済
2030	2	3	B	履修済
2031	1	3	B	履修済
2031	2	3	B	履修済
2032	1	3	B	履修済
2032	2	3	B	履修済
2033	1	3	B	履修済
2033	2	3	B	履修済
2034	1	3	B	履修済
2034	2	3	B	履修済
2035	1	3	B	履修済
2035	2	3	B	履修済
2036	1	3	B	履修済
2036	2	3	B	履修済
2037	1	3	B	履修済
2037	2	3	B	履修済
2038	1	3	B	履修済
2038	2	3	B	履修済
2039	1	3	B	履修済
2039	2	3	B	履修済
2040	1	3	B	履修済
2040	2	3	B	履修済
2041	1	3	B	履修済
2041	2	3	B	履修済
2042	1	3	B	履修済
2042	2	3	B	履修済
2043	1	3	B	履修済
2043	2	3	B	履修済
2044	1	3	B	履修済
2044	2	3	B	履修済
2045	1	3	B	履修済
2045	2	3	B	履修済
2046	1	3	B	履修済
2046	2	3	B	履修済
2047	1	3	B	履修済
2047	2	3	B	履修済
2048	1	3	B	履修済
2048	2	3	B	履修済
2049	1	3	B	履修済
2049	2	3	B	履修済
2050	1	3	B	履修済
2050	2	3	B	履修済
2051	1	3	B	履修済
2051	2	3	B	履修済
2052	1	3	B	履修済
2052	2	3	B	履修済
2053	1	3	B	履修済
2053	2	3	B	履修済
2054	1	3	B	履修済
2054	2	3	B	履修済
2055	1	3	B	履修済
2055	2	3	B	履修済
2056	1	3	B	履修済
2056	2	3	B	履修済
2057	1	3	B	履修済
2057	2	3	B	履修済
2058	1	3	B	履修済
2058	2	3	B	履修済
2059	1	3	B	履修済
2059	2	3	B	履修済
2060	1	3	B	履修済
2060	2	3	B	履修済
2061	1	3	B	履修済
2061	2	3	B	履修済
2062	1	3	B	履修済
2062	2	3	B	履修済
2063	1	3	B	履修済
2063	2	3	B	履修済
2064	1	3	B	履修済
2064	2	3	B	履修済
2065	1	3	B	履修済
2065	2	3	B	履修済
2066	1	3	B	履修済
2066	2	3	B	履修済
2067	1	3	B	履修済
2067	2	3	B	履修済
2068	1	3	B	履修済
2068	2	3	B	履修済
2069	1	3	B	履修済
2069	2	3	B	履修済
2070	1	3	B	履修済
2070	2	3	B	履修済
2071	1	3	B	履修済
2071	2	3	B	履修済
2072	1	3	B	履修済
2072	2	3	B	履修済
2073	1	3	B	履修済
2073	2	3	B	履修済
2074	1	3	B	履修済
2074	2	3	B	履修済
2075	1	3	B	履修済
2075	2	3	B	履修済
2076	1	3	B	履修済
2076	2	3	B	履修済
2077	1	3	B	履修済
2077	2	3	B	履修済
2078	1	3	B	履修済
2078	2	3	B	履修済
2079	1	3	B	履修済
2079	2	3	B	履修済
2080	1	3	B	履修済
2080	2	3	B	履修済
2081	1	3	B	履修済
2081	2	3	B	履修済
2082	1	3	B	履修済
2082	2	3	B	履修済
2083	1	3	B	履修済
2083	2	3	B	履修済
2084	1	3	B	履修済
2084	2	3	B	履修済
2085	1	3	B	履修済
2085	2	3	B	履修済
2086	1	3	B	履修済
2086	2	3	B	履修済
2087	1	3	B	履修済
2087	2	3	B	履修済
2088	1	3	B	履修済
2088	2	3	B	履修済
2089	1	3	B	履修済
2089	2	3	B	履修済
2090	1	3	B	履修済
2090	2	3	B	履修済
2091	1	3	B	履修済
2091	2	3	B	履修済
2092	1	3	B	履修済
2092	2	3	B	履修済
2093	1	3	B	履修済
2093	2	3	B	履修済
2094	1	3	B	履修済
2094	2	3	B	履修済
2095	1	3	B	履修済
2095	2	3	B	履修済
2096	1	3	B	履修済
2096	2	3	B	履修済
2097	1	3	B	履修済
2097	2	3	B	履修済
2098	1	3	B	履修済
2098	2	3	B	履修済
2099	1	3	B	履修済
2099	2	3	B	履修済
2100	1	3	B	履修済
2100	2	3	B	履修済

副専攻 GPA

また、「マイナー学修（副専攻）成績確認表出力」をクリックすると認定申請時の必要書類である「**マイナー学修（副専攻）成績確認表**」(C)を確認・印刷できます。

「マイナー学修（副専攻）成績確認表」では、**自分のGPA**を確認できます。

©マイナー学修（副専攻）成績確認表

② 「マイナー学修（副専攻）カリキュラム一覧

「マイナー学修（副専攻）カリキュラム一覧」では、実際に各副専攻プログラムの対象となる授業科目を確認することができます。画面④の「副専攻プログラム名」選択欄から希望の副専攻プログラムを選択すると、画面⑤にて各年度の授業科目が確認できます。

画面④

画面④の「副専攻プログラム名」選択欄から希望の副専攻プログラムを選択すると、画面⑤にて各年度の授業科目が確認できます。

ここがポイント!

2 副専攻プログラム履修開始から
認定証書授与までの詳細

副専攻の各種資料を手に入れよう

副専攻では学務情報システムの「ダウンロード」を使ってガイダンスで配布した資料や各種申請書などを配布しています。副専攻パンフレットもこのページからダウンロードできます。

ダウンロードをクリック

「副専攻」をクリック

■プログラムの名称 「環境学」

概要	<p>環境問題は、地球システムの認識に始まり、社会の経済活動に至る多様な分野に関わる問題である。 本副専攻では、主に理工農など自然系学部開設科目を活用して、幅広い分野に渡る環境問題への基礎理解を促すプログラムを提供する。</p>		
ねらい	<p>自然科学の諸分野（理学、農学、工学）で、「環境」がどのように取り扱われているかを理解する。 また、人文社会学系列の分野で、「環境」がどのように取り扱われているのかを修得する。環境問題の本質を理解し、これらの問題を解決出来る能力を備えることをねらいとしている。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理学、経済学、法学基礎知識に基づいて環境を考えることができる。 2. 生活者の視点と地球規模の視点の両面で環境を捉えることができる。 3. 複数の環境問題について、複合的視点で議論することができる。 4. 複数の自然科学分野の基礎に立って、科学的視点で環境問題を考えることができる。 	副専攻 委員会委員	○吉川 夏樹 中田 誠 林 八寿子
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・属性区分「A」、「B」、「C」の科目から、それぞれ「2科目」以上を修得していること。 ・コア科目から必修科目を含んだ、「12単位」以上を修得していること。 ・コア科目のうち、属性区分「A」、「B」、「C」の科目から、それぞれ「1科目」以上を修得していること。 ・「環境生物学野外実習C」、「環境学実習」のうち、いずれか「1科目」を修得していること。 ・理学部フィールド人材育成プログラム・自然環境科学プログラム・地質科学プログラム、農学部フィールド人材育成プログラム・流域環境学プログラムの学生は、本プログラムによる副専攻認定は行わない。（ただし、それらの学生の聴講を妨げるものではない。） 		
プログラムの紹介	<p>本プログラムでは、主に、自然科学系の分野で環境がどのように取り扱われているかを学び、環境問題の本質を理解することを目的としている。</p> <p>地球環境問題や資源のリサイクルなど、環境問題は今後の社会において重要な要素である。副専攻として環境問題を学ぶことは知識の幅を広げるだけでなく、自分の専門に関しても大きな影響を与え、新たな発想や解決法を見いだすきっかけになると考えられる。</p> <p>理系の学生はもちろん、特に「文系」の学生にも、是非、聴講して貰いたい副専攻である。</p> <div data-bbox="427 1451 1305 2092"> </div>		


「環境学」

■ 授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R: 必修科目/A: 人文社会・教育科学系科目/B: 工学系・農学系科目/C: 理学系・農学系科目/
R★: どちらかの科目が必修

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	220Q9001	環境学入門【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	木H・T	講義 吉川 夏樹・他	自然科学系(農学部)	99	03
2	コア	R	220Q9003	環境学演習	1	第2学期	第3・4ターム	水H・T	演習 中田 誠・他	自然科学系(農学部)	99	05
3	コア	R★	220Q9002	環境学実習	1	集中			実習 本間 航介	佐渡自然共生科学センター	99	04
4	コア	R★	224S6532	環境生物学野外実習C	1	第2学期	第4ターム	他	実習 安東 宏徳・他	佐渡自然共生科学センター	57	14
5	コア	A	221G7007	倫理学入門	2	第1学期	第1ターム	月・木3	講義 栗原 隆	非常勤講師	28	03
6	コア	A	220S6521	環境経済システム論I	2	集中			講義 房 文慧・他	非常勤講師	36	04
7	コア	A	224A0066	技術者倫理・自然環境関連法規	2	第2学期	第4ターム	月・木2	講義 箕口 秀夫・他	自然科学系(農学部)	62	14
8	コア	A	221A0001	農学入門I	2	第1学期	第1ターム	月・木1	講義 杉山 稔恵・他	自然科学系(農学部)	60	01
9	コア	B	220S6516	環境汚染論	2	第2学期	第3・4ターム	水1	講義 宮崎 勝己・他	自然科学系(理学部)	57	05
10	コア	B	223A0073	流域水文学	2	第2学期	第3ターム	火・金3	講義 Whitaker Andrew	自然科学系(農学部)	62	03
11	コア	B	221A0103	食料資源経済学	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義 古澤 慎一	自然科学系(農学部)	64	14
12	コア	B	223A0106	環境保全型農業論	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義 平泉 光一	自然科学系(農学部)	64	04
13	コア	C	221A0002	農学入門II	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義 杉山 稔恵	自然科学系(農学部)	60	01
14	コア	C	224G6519	生物学 ー生物多様性Aー	2	第2学期	第4ターム	月・木3	講義 藤村 衡至・他	自然科学系(理学部)	57	03
15	コア	C	休講	多様性生物学A	2				講義		57	04
16	コア	C	222S0585	多様性生物学B	2	第1学期	第2ターム	火・金3	講義 宮崎 勝己	自然科学系(理学部)	57	04
17	コア	C	221S0581	環境気象学	2	第1学期	第1ターム	火・金3	講義 本田 明治	自然科学系(理学部)	44	04
18	コア	C	220S6514	地球環境化学	2	第1学期	第1・2ターム	火3	講義 松岡 史郎・他	自然科学系(理学部)	46	05
19	関連	B	223A0078	温暖化メカニズム・影響学	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義 中田 誠・他	自然科学系(農学部)	62	04
20	関連	B	223A0030	肥料学	2	第2学期	第3ターム	水1・2	講義 大竹 憲邦	自然科学系(農学部)	61	04
21	関連	B	223A0080	森林再生学	2	第2学期	第3ターム	水1・2	講義 柴田 嶺・他	自然科学系(農学部)	62	04
22	関連	B	223A0052	農村空間デザイン学	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義 坂田 寧代	自然科学系(農学部)	65	14
23	関連	C	224G6521	地球と気象	2	第2学期	第4ターム	火・金4	講義 本田 明治	自然科学系(農学部)	44	03
24	関連	C	220S0583	機能形態学A	2	第1学期	第1・2ターム	水2	講義 林 八寿子	自然科学系(理学部)	57	04
25	関連	C	224S6506	機能形態学B	2	第2学期	第4ターム	火・金3	講義 藤村 衡至	自然科学系(理学部)	57	04
26	関連	C	224S6502	地形学	2	第2学期	第4ターム	月・木4	講義 奈良間 千之	自然科学系(理学部)	44	04
27	関連	C	休講	資源・環境地質学	2				講義		44	13
28	関連	C	222S5535	第四紀環境学	2	第1学期	第2ターム	月・木5	講義 卜部 厚志	災害・復興科学研究所	44	04
29	関連	C	休講	環境分析化学	2				講義		46	04
30	関連	C	221A0061	野生植物生態学	2	第1学期	第1ターム	月3・4	講義 本間 航介・他	佐渡自然共生科学センター	57	03
31	関連	C	222A0062	流域環境GIS	2	第1学期	第2ターム	月・木2	講義 村上 拓彦・他	自然科学系(農学部)	62	03
32	関連	C	223A0076	リモートセンシング	2	第2学期	第3ターム	火3・4	講義 村上 拓彦	自然科学系(農学部)	62	04
33	関連	C	221S6522	環境政策論	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義 則末 和宏・他	自然科学系(理学部)	34	04

■プログラムの名称 「MOT基礎（特許・経営及び製品開発基礎コース）」

概要	<p>組織経営と技術開発の両分野は、現代の日進月歩の企業社会において、大変重要な中枢部分を形成しており、両分野とも互いの基礎知識を有する人材確保を必要条件としている。</p> <p>そのような状況を背景として、本カリキュラムは、経済・法・理・工・農などの各分野で開設されている科目と、新しく開設する科目とを活用することとで、技術経営の基礎を修得できることを目的とした副専攻プログラムである。</p>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・特許取得に関わる手続きや方法を学ぶことで、特許取得に必要な専門知識が多様であることを理解する。 ・各自の主専攻も、他学部・他学科の開講科目の多くと密接に関連していることを理解する。 ・特許やその申請に対して理解を深めることで、特許申請や取得までの概要を習得する。 		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法律・技術・経営の知識を融合し、それぞれを有機的に活用することで、理系・文系の両面からの思考ができる。 2. ビジネス分野への貢献ができるようになる。 3. さらに上位にある「MOT関係の大学院」などへの入学のための基礎学力が身に付く。 	副専攻 委員会委員	○狩野 直樹 東瀬 朗
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、必修科目（属性区分「R」及び「A」の必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・コア科目から、属性区分「R」の科目1単位、「A」の科目（必修2単位を含む）「4単位」以上および、「B」の科目「2単位」以上を修得していること。 ・所属学部開講科目以外の科目を、「10単位」以上修得していること。 ・入門科目「特許・経営および製品開発入門」を最初に履修することが望ましい。 		
プログラムの紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・国際特許事務所で活躍している現役の弁理士や企業のトップによる実践的講義を受講できます。 ・上記の講師と1対1での話し合いを行うことができ、講師の実際の経験談を聞くことができます。 ・文系理系を問わず、多数の学部の科目を修得することができ、総合大学ならではの恩恵を受けることができます。 ・以下は、この副専攻独自の国際弁理士や県内企業のトップによる講義風景で、学部や男女を超えて学生が受講しています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

「MOT基礎（特許・経営及び製品開発基礎コース）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目/A：文系科目として必要な科目群/B：理系科目として必要な科目群/C：A、Bと関連した発展科目群

*1は以下の履修順序等の指定があることを示す。

*1 民法基礎ⅠおよびⅡを修得済みであること。

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	220Q9004	特許・経営および製品開発入門【入門科目】	1	第1学期	第1ターム	月・木・T	演習 狩野 直樹・他	自然科学系（工学部）	99	03
2	コア	A(必修)	220Q9005	特許と技術経営Ⅰ	1	集中		演習 吉井 雅栄	非常勤講師		99	04
3	コア	A(必修)	220Q9006	特許と技術経営Ⅱ	1	集中		演習 丸山 三孝	非常勤講師		99	04
4	コア	A	223L3101	民法Ⅰ（民法総則）	2	第2学期	第3ターム	水3・4	講義 石畠 剛士	人文社会科学系（法学部）	34	03
5	コア	A	223L3106	民法Ⅵ（債権各論）	2	第2学期	第3ターム	金1・2	講義 上山 泰	人文社会科学系（法学部）	34	03
6	コア	A*1	222L3102	民法Ⅱ（不法行為）	2	第1学期	第2ターム	月1・2	講義 大島 梨沙	人文社会科学系（法学部）	34	03
7	コア	A	224L3103	民法Ⅲ（物権Ⅰ）	2	第2学期	第4ターム	木1・2	講義 上山 泰	人文社会科学系（法学部）	34	03
8	コア	A	222T8008	経営管理と社会的責任	2	第1学期	第2ターム	月3・4	講義 藤瀬 東瀬 朗	自然科学系（工学部）	37	14
9	コア	A	220T8016	企業会計基礎	2	集中		講義 高野 裕	非常勤講師		37	14
10	コア	A	223T8012	マーケティング基礎	2	第2学期	第3ターム	金3・4	講義 藤瀬 長尾 雅信	人文社会科学系（工学部）	37	14
11	コア	A	222T8013	リーダーシップ基礎	2	第1学期	第2ターム	火・金5	講義 白川 展之	人文社会科学系（工学部）	37	14
12	コア	B	222G6023	生活を支える化学技術－化学工学への招待－	2	第1学期	第2ターム	火・金2	講義 木村 勇雄・他	自然科学系（工学部）	47	03
13	コア	B	221A0120	農業経営学	2	第1学期	第1ターム	月・木1	講義 平泉 光一	自然科学系（農学部）	64	05
14	コア	B	221G6022	最先端技術を支える化学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火・金3	講義 郷近 展之・他	自然科学系（工学部）	46	03
15	コア	B	222T8009	プロジェクト・マネジメント基礎	2	第1学期	第2ターム	金3・4	講義 藤瀬 尾田 雅文	地域創生推進機構	37	14
16	コア	B	221T8014	技術評価	2	第1学期	第1ターム	火3・4	講義 藤瀬 尾田 雅文	地域創生推進機構	49	14
17	関連	C	224L3406	知的財産法Ⅰ（著作権法）	2	第2学期	第4ターム	金3・4	講義 渡邊 修	人文社会科学系（法学部）	34	04
18	関連	C	224L3115	会社法Ⅰ（総論・機関）	2	第2学期	第4ターム	金3・4	講義 吉田 正之	人文社会科学系（法学部）	34	04
19	関連	C	221L3116	会社法Ⅱ（株式）	2	第1学期	第1ターム	木1・2	講義 内田 千秋	人文社会科学系（法学部）	34	04
20	関連	C	221L3301	経済法Ⅰ（競争の実質的制限禁止）	2	第1学期	第1ターム	火1・2	講義 澤田 克己	人文社会科学系（法学部）	34	04
21	関連	C	222S0541	情報社会論	2	第1学期	第2ターム	火・金5	講義 田中 環	自然科学系（理学部）	10	03
22	関連	C	223S1506	プログラミング概論A	1	第2学期	第3ターム	木4	講義 山田 修司	自然科学系（理学部）	41	03
23	関連	C	224S1512	プログラミング概論B	1	第2学期	第4ターム	木4	講義 山田 修司	自然科学系（理学部）	41	03
24	関連	C	220S0540	情報産業論	2	第2学期	第3・4ターム	金3	講義 清野 和司	非常勤講師	10	04
25	関連	C	221T1008	工業力学	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義 平元 和彦・他	自然科学系（工学部）	49	04
26	関連	C	221T1005	材料力学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火・金1	講義 藤瀬 佐々木 朋裕	自然科学系（工学部）	50	04
27	関連	C	222T5015	分析化学（Ⅱ）	2	第1学期	第2ターム	火・金2	講義 狩野 直樹	自然科学系（工学部）	47	04
28	関連	C	223T3027	電気回路Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火・金3	講義 山家 清之	自然科学系（工学部）	51	04
29	関連	C	224T3011	電磁気学Ⅰ	2	第2学期	第4ターム	火・金2	講義 清水 英彦	自然科学系（工学部）	51	04
30	関連	C	222T3032	電磁気学Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	火・金3	講義 小川 純	自然科学系（工学部）	51	04
31	関連	C	224T3031	電子回路	2	第2学期	第4ターム	木3・4	講義 鈴木 孝昌	自然科学系（工学部）	51	04
32	関連	C	224T7028	電子回路	2	第2学期	第4ターム	月4・木3	講義 堀 潤一	自然科学系（工学部）	51	24
33	関連	C	223T4024	論理回路	2	第2学期	第3ターム	水1・2	講義 高橋 俊彦	自然科学系（工学部）	10	04
34	関連	C	224T0503	ビジネス統計学	2	第2学期	第4ターム	木3・4	講義 藤瀬 東瀬 朗	自然科学系（工学部）	37	13
35	関連	C	222T0502	協創経営概論	2	第1学期	第2ターム	木3・4	講義 増田 淳・他	自然科学系（工学部）	37	13
36	関連	C	221T0504	アントレプレナーシップ	2	第1学期	第1ターム	火・金3	講義 小浦方 格・他	自然科学系（工学部）	37	13
37	関連	C	221T8007	アントレプレナーシップⅡ	2	第1学期	第1ターム	金4・5	講義 藤瀬 長尾 雅信・他	人文社会科学系（工学部）	37	14
38	関連	C	休講	化学プロセス概論	2				講義		55	04
39	関連	C	221T0441	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義 黒野 弘靖	自然科学系（工学部）	53	04
40	関連	C	休講	電気回路基礎論	2				講義		54	04
41	関連	C	休講	基礎高分子化学	2				講義		54	04
42	関連	C	223S0570	基礎生物化学	2	第2学期	第3ターム	月・木3	講義 長束 俊治	自然科学系（理学部）	57	03

■プログラムの名称 「芸術学」

概要	<p>芸術は時代ごとの価値観を表出し、人文系諸科学の背景ともなっている。また私たちの生活を潤し、内面を豊かにしてくれる精神生活の精華でもある。この副専攻では、人文学部・教育人間科学部・農学部・工学部などの人的資源を活用することによって、感性による鑑賞の対象としてだけでなく、学問の対象として芸術を据え直すことを通し、精神文化・造形文化の成り立ちを明らかにしつつ、人生をより豊かにするプログラムを提供する。</p>		
ねらい	<p>様々な授業を通して、芸術一般に関する知識を得、また感性を育てて、芸術が人間の生活にとってどのような価値を持っているかを認識できるようにする。また、そうして養った感性と知識によって、芸術作品に接した時に、その作品の客観的な価値づけを、自分の言葉で表現できることを目指す。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 芸術史について広く基本的な見識を有し、また芸術学の基礎理論に通じるようになること。 2. また、それを通して、芸術作品一般に対して一定の客観性を持った見解を述べられるようになること。 3. 特定の芸術分野に関して、専門家に準ずる知識を有し、その分野の作品について独自の見解を発表できるようになること。 	副専攻 委員会委員	○廣部 俊也 細田あや子
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、必修科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・「芸術学実習」は、すでに「本副専攻プログラムが定めた授業科目」から「20単位」以上を修得している者のみ履修可能である。 ・到達度を最終的に測るため、「芸術学実習」の履修時にレポート提出又は、作品の発表を課す。 ・コア科目のうち、属性区分「A」「B」「C」の科目から、それぞれ少なくとも1科目は修得していること。 		

「芸術学」

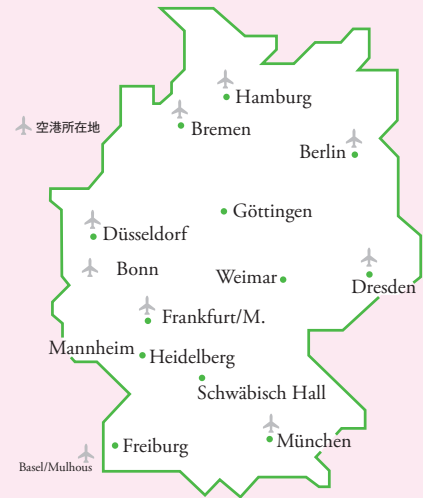
■ 授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R: 必修科目/A: 理論・歴史に関する基礎科目/B: 芸術の主要各分野に関する科目
C: その他の分野に関する基礎科目/空欄: 発展的・実践的科目

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	220Q9007	芸術学入門【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	水H・T	演習 廣部 俊也	人文社会科学系(人文学部)	13	03
2	コア	R	220Q9008	芸術学実習	1	第2学期	第3・4ターム	木H・T	演習 廣部 俊也	人文社会科学系(人文学部)	13	04
3	コア	A	220K1809	日本・東洋美術史	2	第2学期	第3・4ターム	金4	講義 大倉 宏	非常勤講師	13	04
4	コア	A	220K1857	美術史概論	2	第1学期	第1・2ターム	水2	講義 田中 咲子	人文社会科学系(教育学部)	13	04
5	コア	A	休講	美術史特論	2				講義		13	04
6	コア	B	休講	比較芸術学	2				講義		13	04
7	コア	B	220K1830	比較芸術学特論	2	第1学期	第1・2ターム	水1	講義 田中 咲子	人文社会科学系(教育学部)	13	04
8	コア	B	220G7524	日本古典文学N	2	第2学期	第3・4ターム	木1	講義 高橋 早苗	人文社会科学系(人文学部)	29	03
9	コア	B	休講	現代文化論A	2				講義		10	04
10	コア	B	休講	現代文化論B	2				講義		10	04
11	コア	C	休講	映像文化論概説	2				講義		10	03
12	コア	C	221T0436	都市デザイン論	2	第1学期	第1ターム	火・金4	講義 岡崎 篤行	自然科学系(工学部)	53	04
13	コア	C	220K7526	インテリアデザイン	2	第2学期	第3・4ターム	金4	講義 飯野 由香利	人文社会科学系(教育学部)	15	04
14	コア	C	休講	書鑑賞論	2				演習		13	04
15	関連		220K5445	書道講義及び実習 I	2	第1学期	第1・2ターム	木4	講義 角田 勝久	人文社会科学系(教育学部)	13	14
16	関連		休講	住環境科学	2				講義		15	03
17	関連		休講	被服環境学	2				講義		15	03
18	関連		休講	考える葦の冒険	2				講義		75	03
19	関連		221G7005	文学D	2	第1学期	第1ターム	火・金3	講義 番場 俊	人文社会科学系(経済科学部)	29	03
20	関連		221G7001	西洋文学L I	2	第1学期	第1ターム	火・金1	講義 三浦 淳	非常勤講師	29	03
21	関連		223G7501	西洋文学L II	2	第2学期	第3ターム	火・金1	講義 三浦 淳	非常勤講師	29	03
22	関連		220G7533	日本文化論	2	第2学期	第3・4ターム	火2	講義 岡村 浩	人文社会科学系(経済科学部)	13	03
23	関連		221G7065	音楽E	2	第1学期	第1ターム	月1・2	演習 森下 修次	人文社会科学系(教育学部)	13	03
24	関連		220G7532	音楽F	2	第2学期	第3・4ターム	火4	演習 鈴木 愛美	人文社会科学系(教育学部)	13	03
25	関連		休講	舞台芸術	2				講義		13	04
26	関連		休講	絵画	2				講義		53	13
27	関連		220H9417	表象文化論A	2	第2学期	第3・4ターム	月4	講義 キム・ジュニアン	人文社会科学系(経済科学部)	10	04
28	関連		222H9418	表象文化論B	2	第1学期	第2ターム	火1	講義 番場 俊	人文社会科学系(経済科学部)	10,28	04
29	関連		休講	表象文化論概説	2				講義		10	03
30	関連		220K6213	多文化音楽論 I	2	第2学期	第3・4ターム	水2	講義 中本 真人	人文社会科学系(人文学部)	13	04
31	関連		221T0441	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義 黒野 弘靖	自然科学系(工学部)	53	04
32	関連		222T0434	都市計画学 I	2	第1学期	第2ターム	火・金4	講義 岡崎 篤行	自然科学系(工学部)	53	03
33	関連		224T0435	都市計画学 II	2	第2学期	第4ターム	火・金4	講義 岡崎 篤行	自然科学系(工学部)	53	04

■プログラムの名称 「外国語（ドイツ語）」

概要	ドイツ語の高度な実践的運用能力を涵養する。EU域内の有力言語であるドイツ語に習熟することで、グローバル化する世界に複眼的な情報処理能力をもって対応できるようにする。		
ねらい	ドイツ語の修得に当たっては、言語能力の向上のみを自己目的とするのではなく、併せてドイツの政治、経済、社会、文化など様々な分野への知見を深める。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 標準的なドイツ語を使いこなせ、ドイツ語圏の国々における日常生活に対応できること。 2. 専門書、新聞など辞書を用いて活用できること。（ドイツ語技能検定試験2級レベル） 	副専攻 委員会委員	○田邊 恵子 アンヤ・ホップ
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、必修科目を含む「16単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A」の科目から「6単位」以上、「B」の科目から「4単位」以上を修得していること。 		
プログラムの紹介	<p>副専攻ドイツ語を選ぶかどうか迷っている皆さんは、おそらく1年次でドイツ語を勉強されたことでしょう。英語と綴りが同じなようでも発音が違う、名詞に性があったり、格変化が面倒だったり、苦労したことも多かったでしょう。しかし、それにも増して、英語とは異なる言葉の世界、豊かな歴史と文化を有するドイツ語の世界に触れる喜びも大きかったのではないのでしょうか。</p> <p>「なぜドイツ語を学ぶのか？」—ここでは、ドイツ政府が設立した国際交流文化機関ゲーテ・インスティトゥートが挙げる理由をピックアップして紹介しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスやグローバルなキャリアアップ：日本ではあまりそういうイメージはないかもしれませんが、ドイツ人は旅行好きなので、観光業などの分野でもドイツ語は役立ちます。 ・学問と研究：ドイツ語は学問の分野で、英語に次いで第二の重要な言語であり、研究開発へのドイツの貢献度は、世界第三位です。 ・文化的理解：ドイツ語を学ぶことは、様々な出自の人々が暮らす多文化社会ドイツを深く理解することにつながります。 ・旅行の楽しみ：ドイツ語はドイツのみならず、「ドイツ語圏」と呼ばれるスイスやオーストリアをはじめヨーロッパで広く使用されており、旅行にも役立ちます。 ・文学、音楽、芸術、哲学の楽しみ：ドイツ語は、ゲーテやカフカやベートーベン、そしてカントの言語です。作品を原書で読んだり、オリジナルの言葉で聞く喜びを味わうことができます。 <p>いかがですか？特に大学生の皆さんにとって、世界有数の学術言語であるドイツ語の魅力は大きいことでしょう。皆さんの専攻が哲学や歴史学や法学であれ、自然科学であれ、ドイツ語の原典にアクセスすることで得られるものは大きいと思います。一年生でドイツ語を学んでいれば、その後、コミュニケーション・ドイツ語やセミナー・ドイツ語など、中級/上級のドイツ語クラスや関連する講義や演習を継続的に履修することで、無理なく副専攻認定を受けることができます。また、協定校であるビーレフェルト大学が開催するサマーコースに参加することで、単位認定も可能になります。</p> <p>せっかく始めたドイツ語を是非続けてみてください。ドイツ語の豊かな世界には、困難な現代を生き抜くための知恵も見つかるはずです。</p> <p>参考 https://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/wdl.html (2022年3月7日閲覧)</p>		



上の図：ドイツ国内のゲーテ・インスティトゥート所在地

「外国語（ドイツ語）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがある。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。

詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目/A：中級レベル科目/B：上級レベル科目

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準	
1	コア	R	220Q9009	ドイツ学研究法【入門科目】	1	第2学期	第3・4ターム	火H・T	演習	山田 容子	非常勤講師	71	03
2	コア		(全科目)	外国語ベーシック I (1) 独語仏語伊語	2							71	03
3	コア		(全科目)	外国語ベーシック I (2) 独語西語露語	2							71	03
4	コア		(全科目)	外国語ベーシック I (3) 独語仏語中語	2							71	03
5	コア		(全科目)	ドイツ語ベーシック II	3							71	03
6	コア		(全科目)	ドイツ語スタンダード I A	1.5							71	03
7	コア		(全科目)	ドイツ語スタンダード I B	1.5							71	03
8	コア		(全科目)	ドイツ語スタンダード II	3							71	03
9	コア		(全科目)	ドイツ語インテンシブ I A	2							71	03
10	コア		(全科目)	ドイツ語インテンシブ I B	2							71	03
11	コア		(全科目)	ドイツ語インテンシブ II	4							71	03
12	コア	A	220G1055	コミュニケーション・ドイツ語A	2	第1学期	第1・2ターム	金3	演習	小林 敦彦	非常勤講師	71	03
13	コア	A	220G1056	コミュニケーション・ドイツ語B	2	第1学期	第1・2ターム	月4	演習	岡本 亮子	非常勤講師	71	03
14	コア	A	220G1057	コミュニケーション・ドイツ語C	2	第1学期	第1・2ターム	火3	演習	R. エバート	非常勤講師	71	03
15	コア	A	220G1513	コミュニケーション・ドイツ語D	2	第2学期	第3・4ターム	火3	演習	R. エバート	非常勤講師	71	03
16	コア	A	220G1514	コミュニケーション・ドイツ語E	2	第2学期	第3・4ターム	月4	演習	岡本 亮子	非常勤講師	71	03
17	コア	A	220G1515	コミュニケーション・ドイツ語F	2	第2学期	第3・4ターム	水3	演習	倉持 有香子	非常勤講師	71	03
18	コア	A	休講	ドイツ語ベーシックプラスA	2				演習			71	03
19	コア	A	休講	ドイツ語ベーシックプラスB	2				演習			71	03
20	コア	B	220G1058	ドイツ語セミナーA	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習	桑原 聡	非常勤講師	71	04
21	コア	B	220G1059	ドイツ語セミナーB	2	第1学期	第1・2ターム	月3	演習	阿部 ふく子	人文社会科学系(人文学部)	71	04
22	コア	B	220G1516	ドイツ語セミナーC	2	第2学期	第3・4ターム	水3	演習	桑原 聡	非常勤講師	71	03
23	コア	B	220G1517	ドイツ語セミナーD	2	第2学期	第3・4ターム	月3	演習	阿部 ふく子	人文社会科学系(人文学部)	71	04
24	コア	B	休講	ドイツ言語文化論A	2				講義			29	04
25	コア	B	休講	ドイツ言語文化論B	2				講義			29	04
26	コア	B	220H4064	ドイツ言語文化論C	2	第2学期	第3・4ターム	木2	講義	A. ホップ	人文社会科学系(人文学部)	30	04
27	コア	B※		海外研修					実習			71	04
28	コア		220H2085	ドイツ言語文化概説A	2	第1学期	第1・2ターム	木3	講義	田邊 恵子	人文社会科学系(人文学部)	29	03
29	コア		220H2086	ドイツ言語文化概説B	2	第1学期	集中		講義	清野 智昭	非常勤講師	30	03
30	関連	A	220H3018	ドイツ言語文化基礎演習A	2	第1学期	第1・2ターム	金2	演習	A. ホップ	人文社会科学系(人文学部)	29	13
31	関連	A	220H3019	ドイツ言語文化基礎演習B	2	第2学期	第3・4ターム	木3	演習	田邊 恵子	人文社会科学系(人文学部)	30	13
32	関連	A	220H2098	西洋言語文化研究法C	2	第1学期	第1・2ターム	水2	演習	田邊 恵子	人文社会科学系(人文学部)	29	13
33	関連	B	220H5095	ドイツ言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	金4	演習	A. ホップ	人文社会科学系(人文学部)	29	14
34	関連	B	220H5097	ドイツ言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	火4	演習	田邊 恵子	人文社会科学系(人文学部)	29	14
35	関連	B	220H5096	ドイツ言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	金4	演習	A. ホップ	人文社会科学系(人文学部)	29	14
36	関連	B	220H5098	ドイツ言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	火4	演習	田邊 恵子	人文社会科学系(人文学部)	29	14
37	関連	B	220H5010	哲学思想演習	2	第2学期	第3・4ターム	火4	演習	阿部 ふく子	人文社会科学系(人文学部)	28	14
38	関連	B	休講	西洋哲学史概説A	2				講義			28	03
39	関連	B	220H9203	西洋哲学史概説B	2	第1学期	第1・2ターム	月5	講義	阿部 ふく子	人文社会科学系(人文学部)	28	03
40	関連	B	220K5641	外国史演習 I	2	第1学期	第1・2ターム	月5	演習	小林 繁子	人文社会科学系(教育学部)	31	14
41	関連	B	220K5645	外国史演習 III	2	第2学期	第3・4ターム	月5	演習	小林 繁子	人文社会科学系(教育学部)	31	14
42	関連	B	休講	外国史演習 II	2				演習			31	14
43	関連	B	休講	外国史演習 IV	2				演習			31	14
44	関連		220G3938	異文化と技術	1	第1学期	集中		講義	清水 忠明	自然科学系(工学部)	75	03
45	関連		220G3954	異文化と技術	1	第2学期	集中		講義	清水 忠明	自然科学系(工学部)	75	03

■プログラムの名称 「外国語（英語）」

概要	<p>外国語（英語）副専攻プログラムは、1年次の必修科目——「アカデミック英語R、L」——を履修した後、さらに英語学習を継続し、卒業時まで、準上級以上の英語運用能力を身につけるためのプログラムです。</p> <p>このプログラムでは、英語による実用的なコミュニケーションスキルの向上に加えて、英語の仕組みや英語圏の文化、社会、経済などに関する理解を深めることを重視しています。多様な文化に対する理解と実践的な英語運用能力を身につけ、様々な分野で国際社会に貢献できる人材を育成します。</p>		
ねらい	<p>外国語（英語）副専攻プログラムは、特定の学問分野や職種に限定されることなく、幅広い知識と教養に裏打ちされた高度な英語運用能力を育成することをねらいとしています。</p> <p>そのため本副専攻プログラムでは、英語による実践的なコミュニケーション能力を伸長する授業に加えて、言語、文化に関する幅広い知識を習得してもらうために、英米文学、言語学、経済、ビジネスなど、多様なジャンルの英語に触れるための授業を用意しています。</p>		
到達目標	<p>外国語（英語）副専攻プログラムでは、英検の準1級程度、TOEICの700点台に相当する準上級以上の英語運用能力の習得を目標としています。具体的には、日常的な場面で話される英語をおおむね理解し、それに対して応答できること、一般的な文章をほとんど辞書を用いずに読むことができること、さらに、文法や語彙の選択に配慮しながら、用途に合ったスタイルの英文を書くことができること、などです。</p>	副専攻 委員会委員	○平野 幸彦 ハドリー浩美 岡村 仁一
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、属性区分「R」科目と「C」科目を含む、「12単位」以上を修得していること。 ・人文学部人文学科（西洋）言語文化学主専攻プログラムに所属する学生のうち英語に関わる論題で卒業論文を執筆する者、及び教育学部学校教育員養成課程教科教育コース英語教育専修の学生については、本プログラムによる副専攻認定は行わない。 		
プログラムの紹介	<p>英語をある程度自由に駆使できるということは、グローバル化された世界で大変有利な武器になります。英語で外国の人々と直接コミュニケーションを取る必要がない場合でも、インターネットを利用する際に英語が使えれば、私たちがアクセスできる情報の世界は飛躍的に広がります。インターネットでニュースを見たり聞いたりするだけでなく、教育を受けて、学位を取得することも可能なことは皆さんも聞いたことがあると思います。英語が使えると、単に視野が広がるだけでなく、キャリアアップのチャンスをつかむことも可能になるのです。しかし、このようなことを可能にするためには最低でも準上級以上の英語力が必要となります。</p> <p>皆さんの多くの英語力は、中級の下から中級の中といったレベルにあると思います。それを準上級以上に上げるためには、何にもまして英語学習を継続することが重要です。多くの人は、1年次に必修の英語科目を受けただけで英語の勉強を止めてしまいます。英語が大嫌いとか大の苦手という人はしかたありませんが、英語に興味があったり、さらに英語力を伸ばしたいと思っている人は、英語学習を1年次で止めてしまうのは本当にもったいないことです。</p> <p>“Practice makes perfect.”、あるいは“Rome was not built in a day.”（「継続は力なり」）と言います。本副専攻プログラムを活用しながら、皆さんの英語力を総合的に高めていきましょう。</p> <p>外国語（英語）副専攻プログラムを修了するためには、24単位取得しなければなりません。2年次と3年次で単位をすべて取得すると仮定すると、毎学期、週3回、外国語（英語）副専攻プログラム関係の科目を履修すればよいことになります。授業の準備を考えると大変そうですが、継続という観点から見るとこれでも不十分でしょう。自主的に学習時間を補うように努力してください。実際に科目を履修する際には、ある程度自分の興味やニーズに合わせて授業を選ぶことができます。英会話中心に履修するなら、「中級／上級コミュニケーション英語」や「中級／上級EAP」、「国際コミュニケーション」などのネイティブスピーカーの授業を中心に受講するとよいでしょう。英語圏の文化や英語という言語自体に興味があれば、「英米言語文化基礎演習」、「英米文化論」、「英米言語論」、「異文化論」などの授業を中心に聴講することができます。ビジネス英語に興味がある人は、「国際コミュニケーション」の授業でビジネス英語の基礎を学ぶことができます。</p> <p>外国語（英語）副専攻プログラムが目標とする準上級というレベルは、英検の準1級やTOEICの700点台に相当します。そのレベルに達したかどうかを審査するための最終試験のようなものは今のところ実施していませんが、その代わりに「上級コミュニケーション英語」が必修になっています。「上級コミュニケーション英語」はTOEIC700点台の学生を対象とした少人数による上級クラスです。</p> <p>英語学習を一人で継続することはなかなか困難です。皆さんが英語学習を継続し、準上級以上のレベルに到達するのを手助けすることが本副専攻プログラムの大きな目的です。一人でも多くの方がこのプログラムにチャレンジして、副専攻認定という最終ゴールに到達してくれることを期待しています。</p>		

「外国語（英語）」

■ 授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※表中に科目名の記載がない海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。
副専攻の単位認定のため表中に科目名の記載がない海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に副専攻プログラム代表教員に相談**してください。

なお、表中に科目名の記載がない海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分

R・C：必修科目

A：「中級コミュニケーション英語」「iStep Extension」「TOEFL iBT Preparation」「IELTS Preparation」および海外研修を除き、原則として第3セメスター以降に学習すべき科目

B：第5セメスター以降に学習すべき科目

Gコード科目のうち、「中級/上級コミュニケーション英語」「iStep Extension」「中級/上級EAP」「中級/上級EAP (Term Course)」「TOEFL iBT Preparation」「IELTS Preparation」および海外研修は重複履修の制限はありません。

Hコード科目（人文学部専門科目）については、「英米言語文化演習」を除き、重複履修はできません。

Kコード科目（教育学部専門科目）については、重複履修はできません。

Eコード科目（経済学部専門科目）については、「外書講読Ⅰ」及び「外書講読Ⅱ」は8単位まで、「異文化論」は、異なる教員の科目を履修した場合に限り8単位まで重複履修できます。

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	220Q9010	英語文化研究【入門科目】	1	第2学期	第3・4ターム	水H・T	講義 藤 耀	平野 幸彦	人文社会科学系(人文学部)	70 03
2	コア	A		中級コミュニケーション英語	2				演習			70 04
3	コア	C		上級コミュニケーション英語	2				演習			70 05
4	コア	A		iStep Extension	2				演習			70 04
5	コア	A		中級EAP	2				演習			70 04
6	コア	A		上級EAP	2				演習			70 05
7	コア	A		中級EAP (Term Course)	1				演習			70 04
8	コア	A		上級EAP (Term Course)	1				演習			70 05
9	コア	A		TOEFL iBT Preparation	2				演習			70 04
10	コア	A		IELTS Preparation	2				演習			70 04
11	コア	A	220G0088	実践英語セミナー	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	70 04
12	コア	A	220G0679	実践英語セミナー	2	第2学期	第3・4ターム	水4	演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	70 04
13	コア	A	220G0085	英語表現セミナーA	2	第1学期	第1・2ターム	水4	演習	G. ディック	非常勤講師	70 04
14	コア	A	220G0680	英語表現セミナーA	2	第2学期	第3・4ターム	水4	演習	G. ディック	非常勤講師	70 04
15	コア	A	220G0086	英語表現セミナーB	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70 04
16	コア	A	220G0681	英語表現セミナーB	2	第2学期	第3・4ターム	水3	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70 04
17	コア	A	220G0087	英語表現セミナーC	2	第1学期	第1・2ターム	水4	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70 03
18	コア	A	220G0682	英語表現セミナーC	2	第2学期	第3・4ターム	水4	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師	70 03
19	関連	A	220G3959	西シドニー大学国際交流プログラムB	2	第1学期	集中		演習	蒙 耀	教育・学生支援機構	75 03
20	関連	A	220G3935	カナダ・サマーセミナー	4	第1学期	集中		演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	75.70 03
21	関連	A	220G3936	オタゴ大学英語研修	4	第1学期	集中		演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	75.70 03
22	関連	A	220G3962	多文化共生社会体験 in AUSTRALIA-W	4	第1学期	集中		講義	池田 英喜	教育・学生支援機構	75 03
23	関連	A	220G3956	多文化共生社会体験 in AUSTRALIA-S	4	第2学期	集中		講義	池田 英喜	教育・学生支援機構	75 03
24	関連	A	220G3957	フィリピンALLC 英語研修	4	第2学期	集中		演習	蒙 耀	教育・学生支援機構	70 03
25	関連	A	220G3955	シンガポール・スプリングセミナー	2	第2学期	集中		演習	張 雲	教育・学生支援機構	75.70 03
26	関連	A	220G3951	オックスフォード大学英語研修	2	第2学期	集中		演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	75.70 04
27	関連	A	未定	カナダ・サマーセミナー・オンライン	2	第1学期	集中		演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	75.70 03
28	関連	A	未定	オタゴ大学英語研修・オンライン	2	第1学期	集中		演習	ハドリー 浩美	教育・学生支援機構	75.70 03
29	関連	A	220G3949	西シドニー大学国際交流プログラムA	2	第1学期	集中		演習	蒙 耀	教育・学生支援機構	75 03
30	関連	※		海外研修(上記以外)					実習			70 04
31	コア	A	220H3015	英米言語文化基礎演習A	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習	平野 幸彦	人文社会科学系(人文学部)	29 13
32	コア	A	220H3017	英米言語文化基礎演習B	2	第2学期	第3・4ターム	水3	演習	北田 伸一	人文社会科学系(人文学部)	30 13
33	関連	B	220K6653	英語教育リーディング演習Ⅰ	1	第1学期	第1・2ターム	木3	演習	岡村 仁一	人文社会科学系(教育学部)	40 13
34	関連	B	220K6654	英語教育リーディング演習Ⅱ	1	第1学期	第1・2ターム	水4	演習	岡村 仁一	人文社会科学系(教育学部)	40 13
35	関連	B	220K6655	英語教育リーディング演習Ⅲ	1	第1学期	第1・2ターム	金1	演習	辻 照彦	人文社会科学系(教育学部)	40 14
36	関連	B	220K6656	英語教育リーディング演習Ⅳ	1	第2学期	第3・4ターム	水4	演習	山田 陽子	人文社会科学系(教育学部)	40 14
37	関連	A	220K6661	英語学概説	2	第1学期	第1・2ターム	水3	講義	本間 伸輔	人文社会科学系(教育学部)	40 03
38	関連	A	220K6601	英語教育と英文法Ⅰ	2	第1学期	第1・2ターム	木3	講義	本間 伸輔	人文社会科学系(教育学部)	40 03
39	関連	A	220K6602	英語教育と英文法Ⅱ	2	第2学期	第3・4ターム	木3	講義	本間 伸輔	人文社会科学系(教育学部)	40 03
40	関連	A	220H2080	西洋言語概説	2	第2学期	第3・4ターム	火3	講義	G. ハドリー	人文社会科学系(人文学部)	30 03
41	関連	A	220H2081	英米文化概説A	2	第1学期	第1・2ターム	木3	講義	市橋 孝道	人文社会科学系(人文学部)	29 03
42	関連	A	220H2082	英米文化概説B	2	第2学期	第3・4ターム	木4	講義	平野 幸彦	人文社会科学系(人文学部)	29 03
43	関連	A	220H2084	英米言語概説B	2	第1学期	第1・2ターム	金4	講義	秋 孝道	人文社会科学系(人文学部)	30 03
44	関連	B	220H4058	英米文芸論	2	第2学期	第3・4ターム	金2	講義	平野 幸彦	人文社会科学系(人文学部)	29 04
45	関連	B	220H4061	英米文化論A	2	第1学期	第1・2ターム	金2	講義	市橋 孝道	人文社会科学系(人文学部)	29 04
46	関連	B	220H4062	英米文化論B	2	第2学期	第3・4ターム	月3	講義	G. ハドリー	人文社会科学系(人文学部)	29 04
47	関連	B	休講	英米言語論A	2				講義			30 04
48	関連	B	220H5086	英米言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	月4	演習	市橋 孝道	人文社会科学系(人文学部)	29 14
49	関連	B	220H5092	英米言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	月4	演習	市橋 孝道	人文社会科学系(人文学部)	29 14
50	関連	B	220H5085	英米言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	火3	演習	平野 幸彦	人文社会科学系(人文学部)	29 14
51	関連	B	220H5091	英米言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	火3	演習	平野 幸彦	人文社会科学系(人文学部)	29 14
52	関連	B	220H5087	英米言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	水2	演習	G. ハドリー	人文社会科学系(人文学部)	29 14
53	関連	B	220H5093	英米言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	水2	演習	G. ハドリー	人文社会科学系(人文学部)	29 14

■プログラムの名称 「外国語（フランス語）」

概要	フランス語の4技能（読む・書く・聞く・話す）のバランスのとれた運用能力の育成と、言語の営みが生み出す文化（政治・法律・経済・歴史・芸術 etc）についての幅広い教養の習得を目指す学習プログラムを提供する。		
ねらい	フランス語の運用能力を養成し、フランス語という言語の営みが生み出す文化に親しむ。		
到達目標	フランス語検定試験2級レベルのフランス語の文章を読み、内容を説明できる。	副専攻 委員会委員	○逸見 龍生 津森 圭一 駒形 千夏
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 		
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、属性区分「R」科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A（中級レベル）」の科目から「6単位」以上、「B（上級レベル）」の科目から「4単位」以上を修得していること。 		
プログラムの紹介	<p>副専攻フランス語は、主専攻とは別に、皆さんが所属する学部や学科の枠を超えて、フランス語・フランス文化を自主的に学んで行くカリキュラムです。プログラムが提供する学科目の中から、自らの関心に応じて自由に選択することができます。</p> <p>副専攻（フランス語）を選ぶ動機は様々です。ある学生は、自分の専門は法学であるが将来国際公務員として世界で活躍したいという理由で選ぶかもしれません。又、別の学生は、専門が醸造学で、将来ワイナリーの会社を設立したいという理由から、さらに別の学生は、フランス語やフランス文化を学ぶことにより他者や自己をより深く知りたいという理由で選ぶかもしれません。いずれにしても、主専攻で学んだことを別の視点から見つめ直し、自己の関心や進路に応じて視野を広げ、複雑多様な現代社会が提示する課題に対処できる能力を身につけることを目指します。</p> <p>さて、副専攻（フランス語）を選ぶかどうか迷っている皆さんのために、フランス語とはどのような言語かを簡単に紹介しておきましょう。フランス語は、「かつては国際語であったが、現代では英語が国際語である」と言う人がいます。しかしフランス語はいまだに国際語として重要な位置を占めているのです。たとえば国際連合や国際オリンピック委員会をはじめとする、数多くの国際機関（国際電気通信連合、万国郵便連合、国際労働機関、国際司法裁判所、国際刑事裁判所、イスラム諸国会議機構etc.）の公用語として用いられていることがその証です。</p> <p>言語的にはどうでしょうか？フランス語は英語に比べると、綴り字の読み方は難しそうですが、実はとても規則的なのです。読み方の規則を一旦覚えてしまえば、はじめて出会う単語も難なく読むことができるようになります。又、語彙は英語に似ているものが結構多いのが特徴です（正確に言えば、英語がフランス語に似ているのです）。基本的語順はSVO（主語＋動詞＋目的語）で英語と同じです。とはいえ、自由に使えるようになるまでには、それなりの時間を費やさなければなりません。副専攻フランス語が目指すレベルは、コミュニケーション（〈読む、書く、聞く、話す〉能力）が出来る必要最小限の運用能力です。おおよその目安ですが、日本の公的認定試験なら2級レベル、又2001年に欧州連合評議会が発表したヨーロッパ共通参照枠（CEFR）が掲げるレベルで言えば、B1のレベルです（すなわち6段階の下から第3段階目のレベル）。</p> <p>フランス語とフランス文化は、実に多くの魅力と可能性を持つ言語です。その他の特徴を以下にいくつかまとめておきますので参考にしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 世界で約1億7千万の人々が用いている。 2) 日本語に入っているフランス語は、芸術（美術、舞踏）、食文化（料理、ワイン）、モード・ファッションなど多分野に渡る。 3) フランス、ベルギー、スイス、カナダ、アフリカの旧フランス領など29カ国で、母国語や公用語として用いられている。 <p>最後に、副専攻フランス語を選ぶか迷っている方は、是非『フランス語で広がる仲間…123人の仲間…』（駿河台出版社）という本のご一読をお勧めします。</p>		

「外国語（フランス語）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目/A：中級レベルの選択必修科目/B：上級レベルの選択必修科目/空欄：選択科目

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準	
1	コア	R	220Q9011	フランス学研究法【入門科目】	1	第2学期	第3・4ターム	木H・T	演習	金子 麻里	非常勤講師	71	03
2	コア		(全科目)	外国語ベーシック I フランス語	1				演習			71	03
3	コア		(全科目)	フランス語ベーシック II	3				演習			71	03
4	コア		(全科目)	フランス語スタンダード I A	1.5				演習			71	03
5	コア		(全科目)	フランス語スタンダード I B	1.5				演習			71	03
6	コア		(全科目)	フランス語スタンダード II	3				演習			71	03
7	コア		(全科目)	フランス語インテンシブ I A	2				演習			71	03
8	コア		(全科目)	フランス語インテンシブ I B	2				演習			71	03
9	コア		(全科目)	フランス語インテンシブ II	4				演習			71	03
10	コア	A	220G1074	コミュニケーション・フランス語A	2	第1学期	第1・2ターム	火3	演習	M. 湊元	非常勤講師	71	03
11	コア	A	220G1075	コミュニケーション・フランス語B	2	第1学期	第1・2ターム	木1	演習	N. ドーフアン	非常勤講師	71	03
12	コア	A	220G1076	コミュニケーション・フランス語C	2	第1学期	第1・2ターム	水2	演習	M. カルトロン	非常勤講師	71	03
13	コア	A	220G1077	コミュニケーション・フランス語D	2	第1学期	第1・2ターム	金3	演習	M. カルトロン	非常勤講師	71	03
14	コア	A	220G1518	コミュニケーション・フランス語E	2	第2学期	第3・4ターム	月3	演習	M. 湊元	非常勤講師	71	03
15	コア	A	220G1529	コミュニケーション・フランス語F	2	第2学期	第3・4ターム	火3	演習	M. 湊元	非常勤講師	71	03
16	コア	A	220G1530	コミュニケーション・フランス語G	2	第2学期	第3・4ターム	金3	演習	M. カルトロン	非常勤講師	71	03
17	コア	A	220G1531	コミュニケーション・フランス語H	2	第2学期	第3・4ターム	木1	演習	N. ドーフアン	非常勤講師	71	03
18	コア	A	220G1078	コミュニケーション・フランス語I	2	第1学期	第1・2ターム	金4	演習	金子 麻里	非常勤講師	71	03
19	コア	B	休講	フランス言語文化海外研修	2				演習			75	03
20	コア	B※		海外研修					実習			71	04
21	関連	A	休講	西洋言語文化研究法D	2				実習			71	04
22	関連	A	220H3020	フランス言語文化基礎演習A	2	第1学期	第1・2ターム	火4	演習	逸見 龍生	人文社会科学系(人文学部)	29	13
23	関連	A	220H3021	フランス言語文化基礎演習B	2	第2学期	第3・4ターム	金2	演習	津森 圭一	人文社会科学系(人文学部)	30	13
24	関連	A	休講	フランス言語文化概説A	2				講義			29	03
25	関連	A	220H2088	フランス言語文化概説B	2	第2学期	集中		講義	石野 好一	人文社会科学系(人文学部)	30	03
26	関連	B	休講	フランス文芸論	2				講義			29	04
27	関連	B	220G1080	フランス語セミナーA	2	第1学期	第1・2ターム	木3	演習	N. ドーフアン	非常勤講師	71	03
28	関連	B	220G1533	フランス語セミナーB	2	第2学期	第3・4ターム	木3	演習	N. ドーフアン	非常勤講師	71	04
29	関連	B	220H4067	フランス言語文化論C	2	第1学期	集中		講義	石野 好一	人文社会科学系(人文学部)	30	03
30	関連	B	220H5099	フランス言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	火5	演習	逸見 龍生	人文社会科学系(人文学部)	29	03
31	関連	B	220H5100	フランス言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	火5	演習	逸見 龍生	人文社会科学系(人文学部)	29	03
32	関連	B	220H5101	フランス言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	金4	演習	津森 圭一	人文社会科学系(人文学部)	29	03
33	関連	B	220H5102	フランス言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	金4	演習	津森 圭一	人文社会科学系(人文学部)	29	03
34	関連	B	220H4065	フランス言語文化論A	2	第2学期	第3・4ターム	木4	講義	津森 圭一	人文社会科学系(人文学部)	29	03
35	関連	B	休講	フランス言語文化論B	2				講義			29	04
36	関連	B	休講	表現文化論演習	2				演習			10	14
37	関連		休講	現代文化論概説	2				講義			10,29	03
38	関連		休講	フランス語科教育法 I	2				講義			40	23
39	関連		220K0322	フランス語科教育法 II	2	第1学期	第1・2ターム	木4	講義	津森 圭一	人文社会科学系(人文学部)	40	23
40	関連		220K0323	フランス語科教育法 III	2	第1学期	第1・2ターム	水1	講義	逸見 龍生	人文社会科学系(人文学部)	40	23
41	関連		休講	フランス語科教育法 IV	2				講義			40	23

■プログラムの名称 「外国語（コリア）」

概要	<p>日本と南北コリア（大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国）とは長い間「近くて遠い国」と言われてきたが、今や日本と韓国を年間1000万人が往来する時代であり、経済的・文化的・政治的に多大な影響を及ぼしあう隣国である。世界の言語の中でも日本語と最も共通点の多い朝鮮語を使いこなし、多様な情報を取捨選択する判断力を養うとともに、隣国・隣人として互いを理解し、協調するための歴史的・文化的な知識と、行動力を身につける。</p>		
ねらい	<p>日本という国土に住む私たちは、いやおうなく東アジアおよびそれを取り巻く世界との関係の中で生きている。東アジア特に南北コリアと日本とが良好な関係を築くことは、「世界史」の新たな局面を開く実験となり得るかも知れない。朝鮮語学習および、韓国ほかアジア諸国からの留学生との交流を通じてそのような視点を持ち、異なる文化や歴史に対して、柔軟な発想で対話ができる「主体」となることをめざす。</p>		
到達目標	<p>大学での学修や日常生活について、朝鮮語で紹介できるようになる。辞書を引きながら、新聞やインターネットの記事を読んだり、検索することができる。朝鮮語でメールのやり取りができる（韓国語能力試験2級以上、「ハングル」能力検定試験3級以上のレベル）。</p>	副専攻 委員会委員	○藤石 貴代 山内 民博
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、属性区分「R」科目（必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A」の科目から「5単位」以上、「B」の科目から「6単位」以上を修得していること。 ・「ハングル」能力検定試験3級（もしくは韓国語能力試験2級）以上に合格すること。 ・在学中に、新潟市国際交流協会など新潟市（県）内の諸団体、もしくは新潟大学主催のコリア関連行事に参加し、レポートを提出すること。 		
プログラムの紹介	<p>新潟市は日本海（韓国語では東海（トンヘ））に面した政令指定都市として、大韓民国蔚山（ウルサン）広域市（韓国第2の都市、釜山（プサン）広域市に隣接）と2006年に友好姉妹都市協定を結び、朝鮮民主主義人民共和国元山（ウォンサン）市との間には、戦前から貨客船が就航（現在は中断）しています。</p> <p>大韓民国総領事館（1978年）および大韓航空ソウル-新潟定期便（1979年）も開設されている新潟市に位置する総合大学として、新潟大学は、北東アジア地域の拠点大学へと発展することを目指しています。</p> <p>「韓流」は、「近くて遠い国」だった韓国と日本（人の心理的距離）を間違いなく近づけましたが、アメリカ・韓国・日本などの資本主義国家と、社会主義国家であったロシア（ソ連）・中国・朝鮮民主主義人民共和国などとの軍事的な緊張関係（冷戦構造）が東アジア地域には残存しています。日本と北朝鮮は戦後76年が過ぎた現在まで国交を回復できず、米・韓・日の包囲網に触発された拉致や核開発などの不幸な事件が起きました。領土や歴史認識の問題は常に、互いの国家意識、民族感情の対立を激化させます。この悪循環を断ち切る方法は何でしょうか。</p> <p>日本と韓国が1965年に国交回復するまで約20年かかりました。1年に1万人だった往来者数がコロナ禍以前は1日3万人、国交回復が無ければ「韓流」も無かったでしょう。朝鮮民主主義人民共和国、いずれ統一コリアと日本も、いつかはそんな時代が来るはずです。その時、釜山が日本から最も近い韓国の主要都市であると言われるように、新潟は南北コリアから最も近い都市になるかも知れません。その時のために、新潟で生活する私たちが今できること、知るべきことを一緒に考え、行動してみませんか。</p>		

「外国語（コリア）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、**必ず渡航前に**プログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。

詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目/A：朝鮮語運用能力開発のための科目/B：幅広くコリアを理解するための科目/C：コリアに関する専門科目

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	220Q9012	コリア学入門【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	水H・T	演習	藤石 貴代	人文社会科学系(人文学部)	71 03
2	コア	R	220Q9013	国際交流	2	集中		演習	李・森澤	非常勤講師	71 03	
3	コア	A	(全科目)	外国語ベーシック I (朝鮮語)	1			講義			71 03	
4	コア	A	(全科目)	朝鮮語ベーシック II	3			演習			71 03	
5	コア	A	(全科目)	朝鮮語スタンダード I A	1.5			演習			71 03	
6	コア	A	(全科目)	朝鮮語スタンダード I B	1.5			演習			71 03	
7	コア	A	(全科目)	朝鮮語スタンダード II	3			演習			71 03	
8	コア	A	(全科目)	朝鮮語インテンシブ I A	2			演習			71 03	
9	コア	A	(全科目)	朝鮮語インテンシブ I B	2			演習			71 03	
10	コア	A	(全科目)	朝鮮語インテンシブ II	4			演習			71 03	
11	コア	A	220G1130	朝鮮語ベーシックプラスA	2	第1学期	第1・2ターム	水2	演習	権 英秀	非常勤講師	71 03
12	コア	A	220G1131	朝鮮語ベーシックプラスB	2	第1学期	第1・2ターム	金1	演習	権 英秀	非常勤講師	71 03
13	コア	A	220G1127	コミュニケーション・朝鮮語A	2	第1学期	第1・2ターム	木2	演習	権 英秀	非常勤講師	71 03
14	コア	A	220G1128	コミュニケーション・朝鮮語B	2	第1学期	第1・2ターム	木3	演習	権 英秀	非常勤講師	71 03
15	コア	A	220G1567	コミュニケーション・朝鮮語C	2	第2学期	第3・4ターム	木2	演習	権 英秀	非常勤講師	71 03
16	コア	A	220G1568	コミュニケーション・朝鮮語D	2	第2学期	第3・4ターム	金1	演習	権 英秀	非常勤講師	71 03
17	コア	A	休講	コミュニケーション・朝鮮語E	2			演習			71 03	
18	コア	A	休講	コミュニケーション・朝鮮語F	2			演習			71 03	
19	コア	A	休講	コミュニケーション・朝鮮語G	2			演習			71 03	
20	コア	A	休講	コミュニケーション・朝鮮語F	2			演習			71 03	
21	コア	A	休講	朝鮮語セミナーA	2			演習			71 04	
22	コア	A	休講	朝鮮語セミナーB	2			演習			71 04	
23	コア	A	220G1129	朝鮮語セミナーC	2			演習		非常勤講師	71 04	
24	コア	A	220G1569	朝鮮語セミナーD	2			演習		非常勤講師	71 04	
25	コア	A	休講	朝鮮語セミナーE	2			演習			71 04	
26	コア	A	休講	朝鮮語セミナーF	2			演習			71 04	
27	コア	A	220G7516	朝鮮語オプションB	2	第2学期	第3・4ターム	火3	演習	川西 裕也	人文社会科学系(大学院現代社会文化研究科)	71 03
28	コア	C	220G3939	韓国サマースクール I	2	第1学期	集中	演習	藤石 貴代	人文社会科学系(人文学部)	75 71	
29	コア	C	220G3940	韓国サマースクール II	2	第1学期	集中	演習	藤石 貴代	人文社会科学系(人文学部)	75 71	
30	コア	C	220G3941	韓国サマースクール III	2	第1学期	集中	演習	藤石 貴代	人文社会科学系(人文学部)	75 71	
31	コア	C※		海外研修				実習			71 04	
32	コア	C	221G7003	歴史学 I	2	第1学期	第1ターム	水3・4	講義	川西 裕也	人文社会科学系(大学院現代社会文化研究科)	31 03
33	コア	C	220G7021	歴史学Q	2	第1学期	第1・2ターム	木3	講義	山内 民博	人文社会科学系(人文学部)	31 03
34	コア	C	休講	アジア歴史文化論 A	2			講義			31 04	
35	コア	C	222H4042	アジア歴史文化論 B	2	第1学期	第2ターム	火・金3	講義	山内 民博	人文社会科学系(人文学部)	31 04
36	コア	C	220H2067	アジア史実習 A	1	第1学期	第1・2ターム	木2	実習	山内 民博	人文社会科学系(人文学部)	31 13
37	コア	C	休講	アジア史実習 C	1			実習			31 13	
38	コア	C	休講	歴史文化基礎演習 A	2			演習			31 13	
39	コア	C	休講	アジア史概説 A	2			講義			31 03	
40	コア	C	223H2040	アジア史概説 B	2	第2学期	第3ターム	月・木3	講義	山内 民博・他	人文社会科学系(人文学部)	31 03
41	コア	C	223H9216	アジア史概説 B	2	第2学期	第3ターム	月・木3	講義	山内 民博・他	人文社会科学系(人文学部)	31 03
42	コア	C	休講	朝鮮社会論	2			講義			31 04	
43	コア	C	休講	アジア言語文化研究法 A	2	集中		講義			30 13	
44	コア	C	220H2094	アジア言語文化研究法 B	2	第2学期	第3・4ターム	木5	講義	藤石 貴代	人文社会科学系(人文学部)	30 13
45	コア	C	220H4056	朝鮮言語文化論	2	第2学期	第3・4ターム	水4	講義	藤石 貴代	人文社会科学系(人文学部)	29 04
46	コア	C	223H1005	言語文化学入門 A	2	第2学期	第3ターム	月・木4	講義	三ツ井 正孝・他	人文社会科学系(人文学部)	29 03
47	関連	B	223H9103	日本・アジア言語文化入門	2	第2学期	第3ターム	月・木4	講義	三ツ井 正孝・他	人文社会科学系(人文学部)	29 03
48	関連	B	220H1004	社会文化学入門 B	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義	村上 正和・他	人文社会科学系(人文学部)	31 03
49	関連	B	220H9102	歴史文化学入門	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義	村上 正和・他	人文社会科学系(人文学部)	31 03
50	関連	B	220K5604	外国史 A	2	第1学期	第1・2ターム	木5	講義	吉澤 文寿	非常勤講師	31 04
51	関連	B	休講	グローバルコミュニケーション S	2			講義			75 03	
52	関連	B	休講	グローバルコミュニケーション C	2			講義			75 03	
53	関連	B	222G3223	アクティブラーニング B	1	第1学期	第2ターム	水1	講義	池田 英喜	教育 学生支援機構コンソーシアムセンター	75 03
54	関連	B	224G3733	アクティブラーニング B	1	第1学期	第2ターム	水1	講義	池田 英喜	教育 学生支援機構コンソーシアムセンター	75 03
55	関連	B	220G7014	日本語教育 I - A	2	第1学期	第1・2ターム	月3	講義	池田 英喜	教育 学生支援機構コンソーシアムセンター	30 03
56	関連	B	220G7015	日本語教育 I - B	2	第1学期	第1・2ターム	月4	講義	有田 佳代子	教育 学生支援機構コンソーシアムセンター	30 03
57	関連	B	221G3214	アクティブラーニング C	1	第1学期	第1ターム	水1	講義	池田 英喜	教育 学生支援機構コンソーシアムセンター	75 03
58	関連	B	223G3719	共生社会論 A	1	第2学期	第3ターム	火4	講義	未定	未定	75 03
59	関連	B	224G3731	共生社会論 B	1	第2学期	第4ターム	火4	講義	未定	未定	75 03
60	関連	B	221G3220	多文化間共修 B	1	第1学期	第1ターム	火5	演習	有田 佳代子	教育 学生支援機構コンソーシアムセンター	75 03
61	関連	B	223G3726	多文化間共修 B	1	第2学期	第3ターム	火5	演習	有田 佳代子	教育 学生支援機構コンソーシアムセンター	75 03
62	関連	B	220G3241	平和を考える A	2	第1学期	第1・2ターム	水3	講義	藤石 貴代	人文社会科学系(人文学部)	75 03
63	関連	B	220G3743	平和を考える B	2	第2学期	第3・4ターム	水3	講義	栗生田 忠雄	自然科学系(農学部)	75 03
64	関連	B	224L3604	比較政治	2	第2学期	第4ターム	月3・4	講義	山田 裕史	非常勤講師	75 03
65	関連	B	220G3960	平和と現代のグローバル安全保障論	2	集中		講義	高橋 敏哉	非常勤講師	75 04	
66	関連	B	221G3246	平和学概論	2	第1学期	第1ターム	金4・5	講義	真水 康樹	人文社会科学系(法学部)	35 03
67	関連	B	休講	アジア政治外交史/政治社会学	2			講義			35 03	
68	関連	B	休講	国際関係論	2			講義			35 03	
69	関連	B	223L3308	国際法/国際法概論	2	第2学期	第3ターム	木1・2	講義	渡辺 豊	人文社会科学系(法学部)	34 03

■プログラムの名称 「外国語（ロシア語）」

概要	日本海に面しているという新潟の地理上の特性に鑑み、ロシア語の分かる地方公務員、基本的なロシア語会話ができる英語教師、ロシアの文化について語ることでできるジャーナリストといった人材を育てるためのカリキュラムである。ロシア語の初級、中級文法とロシア文化の基本的な知識の習得を目指す。		
ねらい	別に専門を持ちながらロシアの人々、ロシアの文化と接していくためのロシア語の力を身につける。また、ロシアの文化にアクセスするためのノウ・ハウを身につける。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 習得語彙数1000以上。形動詞・副動詞まで含めた基本的文法を習得し、活用できる。 2. ゆっくりしたテンポで基本的な会話ができる。 3. 新聞・雑誌の記事等を辞書を使って読解できる。 (指定のロシア語検定2級受験レベル) 	副専攻 委員会委員	○番場 俊 齋藤 陽一
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、属性区分「R」科目（必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A」科目から、「5単位」以上を修得していること。 ・第3年次以降に、必ず、「ロシア言語文化演習」（属性区分「R★」）を「1科目」以上受講すること。 ・認定申請時に課せられる最終レポートを、所定の締切までに提出し、合格すること。 ・人文学部人文学科西洋言語文化学主専攻プログラムに所属する学生のうち、ロシア語に関わる論題で卒業論文を執筆する者については、本プログラムによる副専攻認定は行わない。 		
プログラムの紹介	<p>ロシア語は、たしかに難しいところがある言語です。1年次に苦労した人もいるかもしれませんが、せっかく勉強したロシア語をこれでやめてしまうのは、もったいないと思いませんか？</p> <p>中級・上級のロシア語クラス、さらに関連する講義・演習などでロシア語の勉強を少しずつ継続していけば、所属学部に関わらず、比較的無理なく副専攻認定を受けることができます。学生も教員も少人数ですから、みなさんは主専攻のかたわら、アットホームな雰囲気での学修を続けていくことになります。新潟はロシアとの結びつきが強い都市ですし、ロシア語を一定以上修得した学生は全国でも少数ですから、卒業後の仕事でロシア語の知識を活かす可能性もでてくるでしょう。なにより、日本語とも英語とも異なる論理と情感をもった言語と文化を4年間継続的に学びつづけることによって、みなさんの視野はぐっと広がり、アタマもやわらかくなることでしょう。</p> <p>特別な気負いはありません。気軽に担当教員に相談してみてください。</p>  <p>案内板にも、バイパスの標識にも街にロシア語が、あふれてる！</p>		

「外国語（ロシア語）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※H・T（オナーズ・タイム）：11時55分～12時45分

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、必ず渡航前にプログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、「外国語」プログラムの「海外研修」単位認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目/R★：選択必修科目/A：初歩的科目

(*)「比較経済体制論」および「ロシア経済論」は、それぞれ重複して履修することはできません。

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	220Q9014	ロシア学研究法【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	水H・T	演習 番場 俊	人文社会科学系(経済科学部)	71	03
2	コア	A	(全科目)	外国語ベーシック I（ロシア語）	1			演習	各教員		71	03
3	コア	A	(全科目)	ロシア語ベーシック II	3	第2学期	第3・4ターム		演習 各教員		71	03
4	コア	A	220G1088	ロシア語ベーシックプラスA	2	第1学期	第1・2ターム		演習 各教員		71	03
5	コア	A	220G1537	ロシア語ベーシックプラスB	2	第2学期	第3・4ターム		演習 各教員		71	03
6	コア	A	(全科目)	ロシア語スタンダード I A、I B	3	第1学期	第1・2ターム		演習 各教員		71	03
7	コア	A	(全科目)	ロシア語スタンダード II	3	第2学期	第3・4ターム		演習 各教員		71	03
8	コア	A	(全科目)	ロシア語インテンシブ I A、I B	4	第1学期	第1・2ターム		演習 各教員		71	03
9	コア	A	(全科目)	ロシア語インテンシブ II	4	第2学期	第3・4ターム		演習 各教員		71	03
10	コア		220G1085	コミュニケーション・ロシア語A	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習 五井 ビクトリヤ	非常勤講師	71	03
11	コア		220G1086	コミュニケーション・ロシア語B	2	第1学期	第1・2ターム	木3	演習 富山 栄子	非常勤講師	71	03
12	コア		220G1538	コミュニケーション・ロシア語C	2	第2学期	第3・4ターム	木3	演習 富山 栄子	非常勤講師	71	03
13	コア		220G1087	ロシア語セミナーA	2	第1学期	第1・2ターム	水4	演習 山川 詩保子	国際連携推進本部	71	04
14	コア		220G1539	ロシア語セミナーB	2	第2学期	第3・4ターム	水4	演習 五井 ビクトリヤ	非常勤講師	71	04
15	コア		220H3022	ロシア言語文化基礎演習A	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習 齋藤 陽一	非常勤講師	29	13
16	コア		220H3023	ロシア言語文化基礎演習B	2	第2学期	第3・4ターム	未定	演習 未定	未定	30	13
17	コア		休講	西洋言語文化研究法E	2				講義		29	13
18	コア		休講	ロシア言語文化概説A	2				講義		29	03
19	コア		220H2089	ロシア言語文化概説B	2	第2学期	未定	未定	講義 未定	未定	30	03
20	関連	※		海外研修					実習		71	04
21	関連		223G7547	文学D	2	第2学期	第3ターム	月・木1	講義 番場 俊	人文社会科学系(経済科学部)	29	03
22	関連	R★	220H5103	ロシア言語文化演習	2	第1学期	第1・2ターム	火4	演習 齋藤 陽一	非常勤講師	29	14
23	関連	R★	220H5104	ロシア言語文化演習	2	第2学期	第3・4ターム	未定	演習 未定	未定	29	14
24	関連		休講	ロシア文芸論	2				講義		29	04
25	関連		休講	ロシア言語文化論A	2				講義		29	04
26	関連		220H4069	ロシア言語文化論B	2	第1学期	集中		講義 中谷 昌弘	人文社会科学系(人文学部)	29	04
27	関連		220H4070	ロシア言語文化論C	2	第1学期	集中		講義 清沢 紫織	非常勤講師	30	04
28	関連		221E1084	比較経済体制論(*)	2	第1学期	第1ターム	月・木3	講義 道上 真有	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
		(夜間主)	220E5040	比較経済体制論(*)	2	第1学期	第1・2ターム	月6	講義 道上 真有	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
29	関連		222E1079	ロシア経済論(*)	2	第1学期	第2ターム	月・木3	講義 道上 真有	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
		(夜間主)	222E5064	ロシア経済論(*)	2	第2学期	第3・4ターム	月6	講義 道上 真有	人文社会科学系(経済科学部)	36	04

■プログラムの名称 「外国語（中国語）」

概要	グローバル化する世界で、中国語文化圏の占める位置はますます大きくなっている。中国語の高度な実践的運用能力を涵養すると共に、中国語文化圏についての基礎的知識を有し、広い視野に立つて中国および国際問題とかがわっていける人材を育てる。		
ねらい	中国語の実践的能力を習得し、中国語文化圏のさまざまな事象への理解を深める。		
到達目標	中国の大学における専門課程の授業を理解できる。	副専攻 委員会委員	○土屋 太祐 干野 真一 小島 明子
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、属性区分「R」科目（必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「A」科目から「6単位」以上、「B」科目から「6単位」以上を修得していること。 ・人文学部人文学科日本・アジア言語文化学主専攻プログラム、もしくは言語文化学主専攻プログラムに所属する学生のうち、中国語学・中国文学分野で卒業論文を執筆するものについては、本プログラムによる副専攻認定は行わない。 		
プログラムの紹介	<p>中国では、2008年の北京オリンピックに引き続き、2010年5月から半年間、上海万博が開幕されました。都市と農村の格差の象徴とも言える農民工の問題、あるいはチベット、ウイグルなどに代表される民族問題、環境問題、など、よくも悪しくも中国を避けてはとおれなくなっているのが今の世界です。</p> <p>ヨーロッパのホテルでは、NHKにかわり、今や中国中央テレビが流されています。ポルトガルに留学した学生は、中華人民共和国以外のあらゆる華人社会からの留学生に囲まれている、と言っていました。インドネシア、マカオ、マレーシア…華人社会の広がりには目を瞠られます。</p> <p>内向き、といわれる日本を飛び出して、あなたも中国語で、この底知れぬ中国および華人社会の世界の扉を開いてみてください。きっと、想像もしていなかったさまざまな面白い世界が開けることでしょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="316 1458 922 1910">  <p>北京、火神廟にて。北京大学に留学したTさん</p> </div> <div data-bbox="1126 1413 1433 1637">  <p>冬の北京、后海でそり遊びに興じる</p> </div> <div data-bbox="946 1722 1251 1946">  <p>北京、孔子廟の門前猫</p> </div> </div>		

「外国語（中国語）」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程の審査の上、単位を認めることがあります。

副専攻の単位認定のための海外研修を考えている場合は、必ず**渡航前**にプログラム代表教員に相談してください。

なお、海外研修の単位認定申請は、卒業年次に限らず、副専攻認定申請期間中です。詳細は別途掲示板及び学務情報システムから通知します。

属性区分 R：必修科目/A：中級レベル/B：上級レベル

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	220Q9015 中国学研究法【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	木H・T	講義	斯日・応・肖	非常勤講師	71	03
2	コア		(全科目) 外国語ベーシック I (中国語)	1							71	03
3	コア		(全科目) 中国語インテンシブ I	4							71	03
4	コア		(全科目) 中国語インテンシブ II	4							71	03
5	コア		(全科目) 中国語スタンダード I	3							71	03
6	コア		(全科目) 中国語スタンダード II	3							71	03
7	コア		(全科目) 中国語ベーシック II	3							71	03
8	コア	夜間主	220G1141 初級中国語 II-1	1	第1学期	第1・2ターム	火6	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
9	コア	夜間主	220G1582 初級中国語 II-2	1	第2学期	第3・4ターム	火6	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
10	コア	A	220G1118 中国語ベーシックプラスA	2	第1学期	第1・2ターム	火4	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
11	コア	A	220G1553 中国語ベーシックプラスB	2	第2学期	第3・4ターム	火4	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
12	コア	A	220G1111 コミュニケーション・中国語A	2	第1学期	第1・2ターム	月2	演習	詹 秀娟	非常勤講師	71	03
13	コア	A	220G1112 コミュニケーション・中国語B	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習	応 雋	非常勤講師	71	03
14	コア	A	220G1113 コミュニケーション・中国語C	2	第1学期	第1・2ターム	火3	演習	劉 リヤン	非常勤講師	71	03
15	コア	A	220G1554 コミュニケーション・中国語D	2	第2学期	第3・4ターム	月2	演習	詹 秀娟	非常勤講師	71	03
16	コア	A	220G1555 コミュニケーション・中国語E	2	第2学期	第3・4ターム	火2	演習	中国人教員	人文社会科学系(人文学部)	71	03
17	コア	A	220G1556 コミュニケーション・中国語F	2	第2学期	第3・4ターム	水4	演習	応 雋	非常勤講師	71	03
18	コア	A	休講 コミュニケーション・中国語G	2				演習			71	03
19	コア	A	休講 コミュニケーション・中国語H	2				演習			71	03
20	コア	A	220G1114 コミュニケーション・中国語J	2	第1学期	第1・2ターム	木3	演習	尹 美蓮	人文社会科学系(経済科学部)	71	03
21	コア	A	220G1557 コミュニケーション・中国語K	2	第2学期	第3・4ターム	木3	演習	尹 美蓮	人文社会科学系(経済科学部)	71	03
22	コア	A	220G1115 コミュニケーション・中国語M	2	第1学期	第1・2ターム	金2	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	03
23	コア	B	休講 中国語セミナーA	2				演習			71	04
24	コア	B	休講 中国語セミナーB	2				演習			71	04
25	コア	B	休講 中国語セミナーC	2				演習			71	04
26	コア	B	休講 中国語セミナーD	2				演習			71	04
27	コア	B	220G1116 中国語セミナーE	2	第1学期	第1・2ターム	水3	演習	斯日 古楞	非常勤講師	71	04
28	コア	B	220G1117 中国語セミナーF	2	第1学期	第1・2ターム	木4	演習	田 春娟	非常勤講師	71	04
29	コア	B	休講 中国語セミナーI	2				演習			71	04
30	コア	B	220G1559 中国語セミナーG	2	第2学期	第3・4ターム	水3	演習	斯日 古楞	非常勤講師	71	04
31	コア	B	220G1560 中国語セミナーH	2	第2学期	第3・4ターム	木4	演習	未定	未定	71	04
32	コア	B	休講 中国語セミナーJ	2				演習			71	04
33	コア	B	220G1561 中国語セミナーN	2	第2学期	第3・4ターム	金2	演習	姜 杰裕	非常勤講師	71	04
34	コア	※	海外研修					実習			71	04
35	コア	B	220G1558 上海語演習	2	第2学期	第3・4ターム	水3	演習	応 雋	非常勤講師	71	04
36	コア	A	222G3228 中国留学準備講座 サマーセミナー中国入門	1	第1学期	第2ターム	火3	講義	干野 真一・他	人文社会科学系(人文学部)	75	03
37	コア	A	220H2077 アジア言語文化概説A	2	第2学期	第3・4ターム	金2	講義	中国人教員	人文社会科学系(人文学部)	29	03
38	コア	B	220H2078 アジア言語文化概説B	2	第2学期	第3・4ターム	火4	講義	干野 真一	人文社会科学系(人文学部)	29	03
39	コア	B	220H2095 アジア言語文化研究法B	2	第1学期	第1・2ターム	火4	講義	干野 真一	人文社会科学系(人文学部)	30	13
40	コア	B	220H4053 アジア言語文化論A	2		集中		講義	林 雅清	非常勤講師	29	04
41	コア	B	休講 アジア言語文化論B	2				講義			29	04
42	コア	B	220H4054 中国言語文化論A	2	第2学期	第3・4ターム	月3	講義	干野 真一	人文社会科学系(人文学部)	29	04
43	コア	B	休講 中国言語文化論B	2				講義			29	04
44	コア	A	休講 外書講読 I	2				講義			36	33
45	コア	A	休講 外国語文献講読 I	2				講義			36	33
46	コア	B	223E1052 外書講読 II	2	第2学期	第3ターム	火・金1	講義	溝口 由己	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
47	関連		220H3014 アジア言語文化基礎演習	2	第1学期	第1・2ターム	木3	演習	干野 真一	人文社会科学系(人文学部)	29	13
48	関連		220H2079 アジア言語文化概説C	2	第1学期	第1・2ターム	月4	講義	小島 明子	人文社会科学系(人文学部)	29	03
49	関連		220H4055 中国文芸文化論A	2	第2学期	第3・4ターム	木2	講義	小島 明子	人文社会科学系(人文学部)	29,30	04
50	関連		休講 中国文芸文化論B	2				講義			29,30	04
51	関連		休講 中国思想文化論	2				講義			29	04
52	関連		休講 日本アジア言語文化入門(2017~2019年度入学者用)	2				講義			29	03
53	関連		休講 アジア歴史文化論A	2				講義			31	04
54	関連		220H2067 アジア史実習A	1	第1学期	第1・2ターム	木2	実習	山内 民博・他	人文社会科学系(人文学部)	31	13
55	関連		220H2068 アジア史実習B	1	第2学期	第3・4ターム	木2	実習	広川 佐保	人文社会科学系(人文学部)	31	13
56	関連		休講 アジア史概説A	2				講義			31	03
57	関連		220H9412 東アジア文化圏論	2	第2学期	第3・4ターム	木2	講義	村上 正和	人文社会科学系(人文学部)	31	04
58	関連		休講 環東アジア社会論	2				講義			31	14
59	関連		休講 中国政治入門	2				講義			35	03
60	関連		休講 中国政治史	2				講義			35	03
61	関連		休講 アジア政治外交史	2				講義			35	03
62	関連		休講 Introduction to Japanese Politics and Diplomacy, Basic/Introduction to Japanese Politics, Basic	2				講義			35	03
63	関連		224L3604 比較政治	2	第2学期	第4ターム	月3・4	講義	真水 康樹	人文社会科学系(法学部)	35	03
64	関連		224L3613 領域関連特殊講義(中国政治基礎)	2	第2学期	第4ターム	火1・2	講義	真水 康樹	人文社会科学系(法学部)	35	03
65	関連		休講 領域関連特殊講義(East Asian Studies, Basic)	2				講義			35	03
66	関連		休講 領域関連特殊講義(現代中国政治入門)	2				講義			35	03
67	関連		休講 領域関連特殊講義(中国外交基礎)	2				講義			35	03
68	関連		休講 領域関連特殊講義(中国外交入門)	2				講義			35	03
69	関連		休講 領域関連演習(中国外交入門)	2				演習			35	13
70	関連		休講 アジア経済論 II	2				講義			36	04
71	関連		221E1080 アジア経済論 I	2	第1学期	第1ターム	火・金1	講義	溝口 由己	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
72	関連		223E1085 異文化論	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義	土屋 太祐	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
73	関連		223E6069 文化社会論基礎	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義	土屋 太祐	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
74	関連		休講 比較宗教論	2				講義			28	04
75	関連		休講 漢文学講義 I	2				講義			29	04
76	関連		220K5440 漢文学講義 II	2	第1学期	第1・2ターム	水2	講義	角谷 聡	人文社会科学系(教育学部)	29	04

■プログラムの名称 「地域学」

概要	<p>この副専攻は、地域社会を主体的に生きる力を身につけるプログラムである。 具体的には新潟地域を対象とし、地域社会を歴史的な深みからとらえることを軸としながら、地域を考えるうえで多様な視点・方法論を学ぶ。このことを通じて、地域の課題を発見し、その解決の筋道を立案できる人材として成長することをめざす。</p>		
ねらい	<p>地域をめぐる諸問題について調査し、親しみ、考えた経験をもとに、各自の専攻の立場から地域の課題解決に資する人材として成長すること。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における様々な問題に関心を持ち、課題をともに担う態度を身につける。 2. 地域を歩き、地域を観察し、地域の人や歴史と出会って、自らの手で地域の姿を把握することができる。 3. 自ら設定した地域をめぐる問題を調査し、深めて、課題を明らかにした報告書を作成することができる。 4. 新潟地域のフィールドワークによって、具体的な地域社会の歴史と文化などを深く理解することができる。 	副専攻 委員会委員	○原 直史 中村 元
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、属性区分「R」科目（必修科目）を含む「12単位」以上を修得していること。 		
プログラムの紹介	<p>いずれの地域社会も、長い歴史の中で形成されたものであり、複雑に重層した内実を持っている。また今や地域社会は自治体再編などで大きく変動し、そこで暮らす住民は地域の自立など様々な課題と直面している。</p> <p>副専攻「地域学」は、このような地域社会で生きる自覚をたかめ、主体的に地域社会と関わっていく力を身につけ、さらには地域社会の未来を切り開く人材として成長していくことを目指したプログラムである。</p> <p>地域を考えるための視点には様々なものがあるが、本プログラムが主として重視するのは歴史的な視点である。とりわけ必修のR科目では、新潟地域を対象とした地域の過去と現在を、フィールドワークを交えて実地に学び、地域の課題を探るための基礎力を身につける。もちろんそれだけではなく、新潟大学個性化科目の地域研究や地域入門を中心とした、文系・理系にまたがる多様な科目の履修を通して、地域を考える際の多様な視点・方法を学ぶことになる。</p> <p>各学生はもちろんそれぞれの専攻を修める一方でこのプログラムを学ぶわけであるが、本プログラムで学んだ地域の視点をそれぞれの専攻の立場にフィードバックし、相互に関連づけてゆくことで、より深く地域に根ざした思考ができるようになることを期待している。</p>		

「地域学」

■ 授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R: 必修科目 / A: 選択必修科目

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	220Q9016	地域学序説入門【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	木H・T	講義 原 直史・他	人文社会科学系(人文学部)	99	03
2	コア	R	220Q9017	地域学実習	2	第1学期	不定期開講		実習 原 直史・他	人文社会科学系(人文学部)	99	04
3	コア	R	220Q9018	地域学演習	2	第2学期	第3・4ターム	金H・T	演習 原 直史・他	人文社会科学系(人文学部)	99	04
4	コア		223G3701	新潟の農林業	2	第2学期	第3ターム	火・金1	講義 韓 東生・他	自然科学系(農学部)	75	03
5	コア		224G3703	土と水	2	第2学期	第4ターム	火・金2	講義 吉川 夏樹・他	自然科学系(農学部)	75	03
6	コア		休講	比較地域社会学	2				講義		75	03
7	コア		220G3211	地域から文化を考える	2	第1学期	第1・2ターム	月5	講義 藤 類 中村 元	人文社会科学系(人文学部)	75	03
8	コア		休講	地域を探る	2				講義		75	03
9	コア		223G3712	トキをシンボルとした自然再生	2	第2学期	第3ターム	月・木4	講義 永田 尚志・他	佐渡自然共生科学センター	75	03
10	コア		220G3933	朱鷺・自然再生フィールドワーク	1	第1学期	集中		実習 永田 尚志・他	佐渡自然共生科学センター	75	03
11	コア		220H9101	社会・地域文化学入門	2	第2学期	第3・4ターム	木5	講義 松井 克浩	人文社会科学系(人文学部)	31	03
12	コア		休講	歴史文化学入門A	2				講義		31	03
13	コア		休講	歴史文化学入門B	2				講義		31	03
14	コア		220H9102	歴史文化学入門	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義 村上 正和	人文社会科学系(人文学部)	31	03
15	コア		220H1003	社会文化学入門A	2	第2学期	第3・4ターム	木5	講義 松井 克浩・他	人文社会科学系(人文学部)	31	03
16	コア		220H1004	社会文化学入門B	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義 村上 正和・他	人文社会科学系(人文学部)	31	03
17	コア		休講	地誌学概説A	2				講義		33	03
18	コア		223H9212	地誌学概説B	2	第2学期	第3ターム	金3・4	講義 堀 健彦	人文社会科学系(人文学部)	33	03
19	コア		223H2030	地誌学概説	2	第2学期	第3ターム	金3・4	講義 堀 健彦	人文社会科学系(人文学部)	33	03
20	コア		220G3704	近世越後諸地域の歴史と社会	2	第2学期	第3・4ターム	木5	講義 原 直史・他	人文社会科学系(人文学部)	75	03
21	コア		220G3709	新潟での企業理念と経営戦略	2	第2学期	第3・4ターム	金2	講義 栗原 隆	非常勤講師	16	03
22	コア		休講	新潟産業フィールドワーク	4				講義 藤 類 石本 貴之・他	非常勤講師	75	74
23	コア		220G3901	新潟産業フィールドワーク・オンライン	4	第1学期	集中		講義 藤 類 石本 貴之・他	非常勤講師	75	74
24	コア		休講	新潟地域研究	2				講義		75	03
25	コア		休講	日本酒学A-1	1				講義		75	03
26	コア		休講	日本酒学A-2	1				講義		75	03
27	コア		220G3902	日本酒学B	1	第1学期	集中		講義 柿原 嘉人	医歯学系(歯学部)	75	03
28	コア		220G3209	ボランティア開発論I	2	第1学期	第1・2ターム	金5	講義 雲尾 周・他	人文社会科学系(院教実)	75	03
29	コア		220G3707	ボランティア開発論II	2	第2学期	第3・4ターム	金5	講義 雲尾 周・他	人文社会科学系(院教実)	75	03
30	コア		220G3210	コミュニティ開発論I	2	第1学期	第1・2ターム	金6 (※昼間主科目)	講義 雲尾 周・他	人文社会科学系(院教実)	75	03
31	コア		220G3708	コミュニティ開発論II	2	第2学期	第3・4ターム	金6 (※昼間主科目)	講義 雲尾 周・他	人文社会科学系(院教実)	75	03
32	コア		223G3729	新潟地域の魅力を探る	2	第2学期	第3ターム	木3・4	講義 藤 類 高澤 陽二郎	教育・学生支援機構教育プログラム支援センター	75	03
33	コア		220G3925	新潟の企業の魅力を探る	1	第1学期	集中		講義 高澤 陽二郎	教育・学生支援機構教育プログラム支援センター	75	03
34	コア		休講	地元学入門	2				講義		77	03
35	コア		223G3706	新潟中小企業魅力発信演習	1	第2学期	第3ターム	木2	実習 有元 知史	人文社会科学系(経済科学部)	37	03
36	関連		222T0434	都市計画学I	2	第1学期	第2ターム	火・金4	講義 岡崎 篤行	自然科学系(工学部)	53	03
37	関連		221T0441	日本建築史	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義 黒野 弘靖	自然科学系(工学部)	53	04
38	関連		223T0414	建築計画学I	2	第2学期	第3ターム	火・金2	講義 黒野 弘靖・他	自然科学系(工学部)	53	03
39	関連		休講	日本史概説A	2				講義		31	03
40	関連		221H9215	日本史概説B	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義 原 直史・他	人文社会科学系(人文学部)	31	03
41	関連		休講	日本史概説C	2				講義		31	03
42	関連		休講	日本史概説D	2				講義		31	03
43	関連		221H2037	日本史概説	2	第1学期	第1ターム	火2	講義 原 直史・他	人文社会科学系(人文学部)	31	03

■プログラムの名称 「GIS（地理情報システム）リテラシー」

概要	<p>地理情報システム（GIS）は、デジタル化された地図情報を基に、複雑に構成された社会空間（農地・森林・自然環境なども含む）における諸問題を可視化し、解析し、現実社会における解決方法を策定するためのツールである。本副専攻プログラムでは、GIS基礎科目に加え、GISを活用する全学の既設科目を活用し、幅広い分野におけるGISの基礎理解、ソフトウェアおよびデータの操作、そして研究プロジェクトのデザイン能力を促す教育プログラムを提供する。</p>		
ねらい	<p>地理情報システムは、多様な分野において活用が進められており、多分野を横断する共通プラットフォームとなっている。こうした潮流を背景として、本副専攻プログラムでは、分野横断・融合型の研究プロジェクトに不可欠なリサーチ能力の育成は無論のこと、基本的に時・空間にまたがる問題を扱う自治体やNPO、エリアマーケティング等に携わる民間企業など、様々な機関及び状況においてGISオペレーターとして即戦力となり得る人材育成をねらう。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地理情報システムおよびリモートセンシングに関する概念的理解 2. 理学、農学、工学、医学、人文学、社会学など様々な学術分野における応用例の学習を通じて、GISを用いた研究プロジェクトの設計方法の理解 3. GISのソフトウェアおよび空間データの基礎的な操作方法の修得 4. 身近な問題や自分の専門分野において、GISを用いて研究プロジェクトを実施できる応用力の修得 	副専攻 委員会委員	○奈良間千之 村上 拓彦
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学部、工学部、農学部、農学部の学生は <ul style="list-style-type: none"> 全ての属性区分「R1」科目「6単位」を修得すること。 コア科目全体から「10単位」以上を修得すること。 関連科目から「4単位」以上を修得すること。 ・人文学部、教育学部、法学部、経済学部の学生は <ul style="list-style-type: none"> 全ての属性区分「R1」科目「6単位」を修得すること。 属性区分「R2」科目を「4単位」以上を修得すること。 コア科目から「14単位」以上を修得すること。 関連科目から「4単位」以上を修得すること。 ・最終年次に、必修科目「研究プロジェクト演習」を履修し、自主研究レポートを作成しなければならない。本レポートをGISリテラシー副専攻委員会に対して提出して合格することにより副専攻が認められる。ただし卒業論文にGISを活用した場合、GISの観点からこれを要約した概要をもって自主研究レポートとして同科目に提出することが可能である。 		

「GIS（地理情報システム）リテラシー」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

※H・T（オナーズ・タイム）：11時55分～12時45分

属性区分 A：人文社会・教育科学系科目/B：自然科学系・災害復興科学センター科目/C：医歯学系科目/D：全学横断的内容
R1：必修科目①/R2：必修科目②

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準	
1	コア	R1	220Q9019	副専攻 GIS リテラシー入門【入門科目】	1	集中		演習	長谷川 普一	非常勤講師	75	03	
2	コア	R1	220G3943	地理情報システム (GIS) 概論・演習	2	第1学期	集中	演習	村上 拓彦・他	自然科学系 (農学部)	75	03	
3	コア	R1	220G3945	地理情報システム (GIS) 概論・応用演習	2	第2学期	集中	演習	奈良間 千之・他	自然科学系 (理学部)	75	03	
4	コア	R1	220Q9020	研究プロジェクト演習	1	第2学期	時間外		奈良間 千之	自然科学系 (理学部)	75	03	
5	コア	R2	221H2043	社会調査法A	2	第1学期	第1ターム	金3・4	講義	杉原 名穂子	人文社会科学系 (人文学部)	38	13
6	コア	R2	222H2044	社会調査法B	2	第1学期	第2ターム	火3・4	講義	渡邊 登	人文社会科学系 (人文学部)	38	13
7	コア	A	220H2055	地理学実習A	1	第1学期	第1・2ターム	木2	実習	堀 健彦	人文社会科学系 (人文学部)	32	13
8	コア	A	休講	社会解析論	2			講義			38	03	
9	コア	A	220H2022	社会調査概説	2	第1学期	第1・2ターム	水3	講義	渡邊 登	人文社会科学系 (人文学部)	38	03
10	コア	B	221S6525	自然環境科学実験A 1	2	第1学期	第1ターム	月・木3・4	実験	奈良間 千之	自然科学系 (理学部)	44	14
11	コア	B	221S7536	地形解析実習	2	第1学期	第1ターム	月・木3・4	実験	奈良間 千之	自然科学系 (理学部)	44	14
12	コア	B	220S6526	自然環境科学実験A 2	2	第1学期	第1・2ターム	火4・5	実験	本田 明治	自然科学系 (理学部)	44	14
13	コア	B	220S7537	気象解析実習	2	第1学期	第1・2ターム	水4・5	実験	本田 明治	自然科学系 (理学部)	44	14
14	コア	B	223S6510	寒冷地形学	2	第2学期	第3ターム	月・木3	講義	奈良間 千之	自然科学系 (理学部)	44	04.05
15	コア	B	222A0062	流域環境 GIS	2	第1学期	第2ターム	月・木2	講義	村上 拓彦	自然科学系 (農学部)	62	65
16	コア	B	223A0076	リモートセンシング	2	第2学期	第3ターム	火3・4	講義	村上 拓彦	自然科学系 (農学部)	62	65
17	コア	B	221A0059	環境砂防学	2	第1学期	第1ターム	火・金4	講義	権田 豊	自然科学系 (農学部)	62	04
18	コア	B	224A0082	GIS・リモートセンシング演習	2	第2学期	第4ターム	月・木3・4	演習	村上 拓彦	自然科学系 (農学部)	62	65
19	関連	A	220H2056	地理学実習B	1	第2学期	第3・4ターム	木2	実習	堀 健彦	人文社会科学系 (人文学部)	32	13
20	関連	A	220H2057	地理学実習C	1	第1学期	不定期開講		実習	堀 健彦	人文社会科学系 (人文学部)	32	13
21	関連	A	220H2058	地理学実習D	1	第1学期	不定期開講		実習	堀 健彦	人文社会科学系 (人文学部)	32	13
22	関連	A	220K5606	人文地理学	2	第1学期	第1・2ターム	水4	講義	前田 洋介	人文社会科学系 (教育学部)	32	04
23	関連	A	220K5715	地理学特講Ⅲ	2	第1学期	第1・2ターム	月3	講義	前田 洋介	人文社会科学系 (教育学部)	32	04
24	関連	A	220K5653	地理学特講Ⅳ	2	第2学期	第3・4ターム	月3	講義	前田 洋介	人文社会科学系 (教育学部)	32	04
25	関連	B	220S6521	環境経済システム論 I	2	集中		講義	房 文慧	非常勤講師	36	04	
26	関連	B	224S6502	地形学	2	第2学期	第4ターム	月・木4	講義	奈良間 千之	自然科学系 (理学部)	44	04.03
27	関連	B	221S0581	環境気象学	2	第1学期	第1ターム	火・金3	講義	本田 明治	自然科学系 (理学部)	44	04
28	関連	B	224G6521	地球と気象	2	第2学期	第4ターム	火・金4	講義	本田 明治	自然科学系 (理学部)	44	03
29	関連	B	休講	可視化学	2			講義			50	04	
30	関連	B	222T0434	都市計画学 I	2	第1学期	第2ターム	火・金4	講義	岡崎 篤行	自然科学系 (工学部)	53	03
31	関連	B	224T0435	都市計画学 II	2	第2学期	第4ターム	火・金4	講義	岡崎 篤行・他	自然科学系 (工学部)	53	04
32	関連	C	220G8003	医学序説 I	2	第1学期	第1・2ターム	木3	講義	医学科学務委員会	医歯学系 (医学部医学科)	81	03
33	関連	C	220G8501	医学序説 II	2	第2学期	第3・4ターム	月4	講義	医学科学務委員会	医歯学系 (医学部医学科)	81	03
34	関連	C	220G8002	先端医学研究概説	2	第1学期	第1・2ターム	月5	講義	神吉 智丈・他	医歯学系 (医学部医学科)	80	03

■プログラムの名称 「法律学」

概要	<p>変革が進む日本の社会にあって、これからは公正・公平で透明なルールによって規律される自由競争・自己責任の時代であるともいわれています。それはまさに法的な見方・考え方がより重要となる時代の到来を意味するものといえます。また、いたるところで多様な紛争、社会問題が絶えず発生しています。その処理、解決、予防を任務とする法律、法律学の機能と課題を、公法、民事法、刑事法及びその他の法律学分野の全般にわたる授業の履修を通じて理解してもらいます。</p>		
ねらい	<p>法制度の概要を理解し、法律の条文に親しむ。</p>		
到達目標	<p>1. 法学の基本的概念や問題点を理解し、分析することができる。 2. 具体的事例に応じて、その事例における問題点や法的解決の可能性を指摘できる。</p>	副専攻 委員会委員	○上村 都 山本 真敬
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、必修科目を含む12単位以上を修得していること。 ・属性区分「R1」の科目から、1科目（2単位）を修得していること。（選択必修）。 ・属性区分「R2」の科目を、すべて修得していること（必修科目）。 ・コア科目のうち、属性区分「A」の科目から、「1科目（2単位）」を修得していること（選択必修）。 ・コア科目のうち、属性区分「B」の科目から、「2科目（4単位）」を修得していること（選択必修）。 ・コア科目のうち、属性区分「C」の科目から、「1科目（2単位）」を修得していること（選択必修）。 ・法学部学生を除く。 		
プログラムの紹介	<p>法律は我々の日常生活に身近な存在です。法律のことを知らずして生活を送ることは出来ないといっても過言ではありません。</p> <p>このように本来は身近な存在であるはずの法律に対して、少なからずの人が抵抗感やアレルギーを持っているのもまた事実です。これを解消するためには、「リーガルマインド」（法学的な考え方）、「リーガルリテラシー」（法の仕組みや考え方を理解し、それを活用する力）を身につける必要があります。</p> <p>副専攻（法律学）は、以上のような「リーガルマインド」や「リーガルリテラシー」を法学部以外の学生に身につけてもらうために設けられたものです。ここで学ぶ内容を粘り強く学び続けることにより、法化社会への対応力を身につけることが可能となります。</p>		

「法律学」

■ 授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分

R1：法学一般の基礎を養うための選択必修科目/R2：専攻領域ごとに法学の応用力を養うための必修科目

A：公法系の基礎科目/B：民事法系の基礎科目/C：刑事法系の基礎科目

※開講番号・授業科目名は、平成30年度以降入学者を対象としています。平成29年度以前入学者対象の開講番号・授業科目名は個別に問い合わせてください。

※令和3(2021)年度において教育学部開講の「社会学」を履修した者に限り、法学部開講の「社会学」に代えて副専攻「法律学」の科目とすることができます。

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	221G7076	人文社会科学入門(法学)	2	第1学期	第1ターム	水3・4	講義 岩崎 勝成・他	人文社会科学系(法学部)	34	11
2	コア	R1	222G7079	リーガル・システム	2	第1学期	第2ターム	月・木4	講義 山本 真敬・他	人文社会科学系(法学部)	35	03
3	コア	R2		法政演習Ⅰ	2			演習			34	14
4	コア	R2		法政演習Ⅱ	2			演習			34	14
5	コア	R2		卒業研究Ⅰ	2			演習			35,77	15
6	コア	R2		卒業研究Ⅱ	2			演習			35,77	15
7	コア	A	223L3001	憲法Ⅰ(人権各論)	2	第2学期	第3ターム	木1・2	講義 上村 都	人文社会科学系(法学部)	34	03
8	コア	A	221L3002	憲法Ⅱ(統治機構論)	2	第1学期	第1ターム	火1・2	講義 栗田 佳泰	人文社会科学系(法学部)	34	04
9	コア	A	222L3003	憲法Ⅲ(憲法総論・人権総論)	2	第1学期	第2ターム	水3・4	講義 山本 真敬	人文社会科学系(法学部)	34	03
10	コア	A	223L3008	行政法Ⅰ(行政法総論)	2	第2学期	第3ターム	火1・2	講義 宮森 征司	人文社会科学系(法学部)	34	03
11	コア	A	224L3009	行政法Ⅱ(行政争訟法)	2	第2学期	第4ターム	月3・4	講義 今本 啓介	人文社会科学系(法学部)	34	03
12	コア	B	223L3101	民法Ⅰ(民法総則)	2	第2学期	第3ターム	水3・4	講義 石畝 剛士	人文社会科学系(法学部)	34	03
13	コア	B	222L3102	民法Ⅱ(不法行為)	2	第1学期	第2ターム	月1・2	講義 大島 梨沙	人文社会科学系(法学部)	34	03
14	コア	B	224L3103	民法Ⅲ(物権1)	2	第2学期	第4ターム	木1・2	講義 上山 泰	人文社会科学系(法学部)	34	03
15	コア	B	221L3104	民法Ⅳ(債権総論1)	2	第1学期	第1ターム	水1・2	講義 岩崎 勝成	人文社会科学系(法学部)	34	03
16	コア	B	224L3115	会社法Ⅰ(総論・機関)	2	第2学期	第4ターム	金3・4	講義 吉田 正之	人文社会科学系(法学部)	34	04
17	コア	C	222L3201	刑法Ⅰ(刑法総論1)	2	第1学期	第2ターム	火1・2	講義 田寺 さおり	人文社会科学系(法学部)	34	03
18	コア	C	223L3202	刑法Ⅱ(刑法総論2)	2	第2学期	第3ターム	月1・2	講義 田寺 さおり	人文社会科学系(法学部)	34	04
19	コア	C	221L3203	刑法Ⅲ(刑法各論)	2	第1学期	第1ターム	月1・2	講義 丹羽 正夫	人文社会科学系(法学部)	34	04
20	コア	C	224L3204	特殊講義(刑法各論発展)	2	第2学期	第4ターム	月3・4	講義 丹羽 正夫	人文社会科学系(法学部)	34	04
21	関連		221L3112	民事訴訟法Ⅰ(総論)	2	第1学期	第1ターム	金1・2	講義 張 子弦	非常勤講師	34	04
22	関連		222L3012	自治体法	2	第1学期	第2ターム	月1・2	講義 宮森 征司	人文社会科学系(法学部)	34	04
23	関連		224L3013	租税法	2	第2学期	第4ターム	火1・2	講義 今本 啓介	人文社会科学系(法学部)	34	04
24	関連		221L3401	情報法Ⅰ(法情報学)	2	第1学期	第1ターム	月1・2	講義 鈴木 正朝	人文社会科学系(法学部)	34	04
25	関連		221L3301	経済法Ⅰ(競争の実質的制限禁止)	2	第1学期	第1ターム	火1・2	講義 澤田 克己	人文社会科学系(法学部)	34	04
26	関連		221L3303	社会保障法Ⅰ(医療保障法)	2	第1学期	第1ターム	金1・2	講義 田中 伸至	人文社会科学系(法学部)	34	04
27	関連		222L3304	社会保障法Ⅱ(総論・所得保障法)	2	第1学期	第2ターム	金1・2	講義 田中 伸至	人文社会科学系(法学部)	34	04
28	関連		222L3306	労働法Ⅰ(個別的労働法)	2	第1学期	第2ターム	金1・2	講義 木南 直之	人文社会科学系(法学部)	34	04
29	関連		224L3307	労働法Ⅱ(団体の労働法)	2	第2学期	第4ターム	土1・2	講義 木南 直之	人文社会科学系(法学部)	34	04
30	関連		224L3406	知的財産法Ⅰ(著作権法)	2	第2学期	第4ターム	金3・4	講義 渡邊 修	人文社会科学系(法学部)	34	04
31	関連		223L3308	国際法	2	第2学期	第3ターム	木1・2	講義 渡辺 豊	人文社会科学系(法学部)	34	03
32	関連		休講	国際人権法	2			講義			34	03
33	関連		222L3501	法社会学	2	第1学期	第2ターム	月1・2	講義 田巻 帝子	人文社会科学系(法学部)	34	03
34	関連		休講	特殊講義(法哲学)	2			講義			34	03
35	関連		224L3701	公共政策	2	第2学期	第4ターム	金1・2	講義 田中 伸至	人文社会科学系(法学部)	35	04
36	関連		220L3502	特殊講義(法医学Ⅰ)	2	第1学期	第1・2ターム	水1	講義 高塚 尚和	医歯学系(医学部)	34	04
37	関連		220L3503	特殊講義(法医学Ⅱ)	2	第2学期	第3・4ターム	水1	講義 高塚 尚和	医歯学系(医学部)	34	04
38	関連		223L3803	ジェンダー論	2	第2学期	第3ターム	金1・2	講義 田巻 帝子	人文社会科学系(法学部)	34	35
39	関連		220L3808	社会学	2	第1学期	集中	講義	鷹田 佳典	非常勤講師	38	03

■プログラムの名称 「政治学」

概要	政治現象は多様性・多面性を持つため、理解しづらい側面があるが、政治現象は私たちの生き方と否応なく深く関わっている。従って、政治現象を総合的に理解し、また批判的にみる眼を養うことが重要であり、本副専攻はそのための能力を養うことを目的とする。		
ねらい	政治学に関連する新聞記事に親しむと同時に、その問題点などを把握することができる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 政治学の基本的概念や問題を理解する視点が習得できる。 2. 政治現象を批判的に分析できる。 3. 時代や地域に固有な政治現象を理解できる。 	副専攻 委員会委員	○上村 都 山本 真敬
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、必修科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・属性区分「R1」の科目から、「1科目（2単位）」を修得していること。（選択必修）。 ・属性区分「R2」の科目を、すべて修得していること（必修科目）。 ・コア科目のうち、属性区分「A」の科目から「4科目（8単位）」以上を、属性区分「B」の科目から2科目（4単位）以上を修得していること（選択必修）。 ・法学部学生を除く。 		
プログラムの紹介	<p>政治現象は多様性・多面性を持っているため、これを理解するためには単に政治に直接関係する科目だけでなく、行政や政策、メディアなど様々な科目を学ぶ必要があります。</p> <p>このため、本プログラムでは、政治学や政治史だけでなく、行政学や政策科学、都市政策や公共政策に関する科目から、ジェンダー論など幅広い分野の科目を用意しています。</p> <p>また、人間は3人集まれば派閥が出来るというように、人々との活動は政治と切り離すことはできないものです。政治学の一分野にはスポーツの政治学というものもあるぐらいです。</p> <p>政治現象は、時代によっても地域によっても異なるもので、これを理解するためには洞察力、批判力、読解力などの一定の素養と粘り強く学び続ける意欲が必要です。</p>		

「政治学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分

R1：政治学一般の基礎を養うための選択必修科目／R2：専攻領域ごとに政治学の応用力を養うための必修科目

A：政治学系の基礎科目／B：政治学系の応用科目

※開講番号・授業科目名は、平成30年度以降入学者を対象としています。平成29年度以前入学者の開講番号・授業科目名は個別に問い合わせてください。

※令和3（2021）年度において教育学部開講の「社会学」を履修した者に限り、法学部開講の「社会学」に代えて副専攻「政治学」の科目とすることができます。

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	221G7076	人文社会科学入門（法学）	2	第1学期	第1ターム	水3・4	講義 岩崎 勝成・他	人文社会科学系(法学部)	34	11
2	コア	R1	222G7079	リーガル・システム	2	第1学期	第2ターム	月・木4	講義 山本 真敬・他	人文社会科学系(法学部)	34	03
3	コア	R2		領域関連演習	2				演習		35	13,14
4	コア	A	221L3601	政治学Ⅰ（政治制度論）	2	第1学期	第1ターム	水・金5	講義 益田 高成	人文社会科学系(法学部)	35	03
5	コア	A	224L3602	政治学Ⅱ（政治過程論）	2	第2学期	第4ターム	水・金5	講義 益田 高成	人文社会科学系(法学部)	35	04
6	コア	A	221L3612	政策科学概論	2	第1学期	第1ターム	木1・2	講義 南島 和久	非常勤講師	35	03
7	コア	A	222L3702	行政学Ⅰ（総論）	2	第1学期	第2ターム	水1・2	講義 馬場 健	人文社会科学系(法学部)	35	03
8	コア	A	223L3703	行政学Ⅱ（各論）	2	第2学期	第3ターム	水1・2	講義 馬場 健	人文社会科学系(法学部)	35	04
9	コア	B	休講	日本政治外交史Ⅰ（政治史）	2				講義		35	03
10	コア	B	休講	国際関係論	2				講義		35	03
11	コア	B	休講	アジア政治外交史	2				講義		35	03
12	コア	B	224L3604	比較政治	2	第2学期	第4ターム	月3・4	講義 真水 康樹	人文社会科学系(法学部)	35	03
13	関連		224L3603	日本政治外交史Ⅱ（外交史）	2	第2学期	第4ターム	火1・2	講義 稲吉 晃	人文社会科学系(経済科学部)	35	03
14	関連		休講	領域関連特殊講義（日本現代政治史）	2				講義		35	03
15	関連		休講	国際政治史	2				講義		35	03
16	関連		224L3705	自治体政策論	2	第2学期	第4ターム	水1・2	講義 馬場 健	人文社会科学系(法学部)	34	35
17	関連		224L3704	領域関連特殊講義（政策評価論）	2	第2学期	第4ターム	木1	講義 南島 和久	非常勤講師	35	04
18	関連		224L3701	公共政策	2	第2学期	第4ターム	金1	講義 田中 伸至	人文社会科学系(法学部)	35	04
19	関連		220L3605	領域関連特殊講義（Politics in Contemporary Japan, Basic）	2	第2学期	第3・4ターム	水3	講義 神田 豊隆	人文社会科学系(法学部)	35	03
20	関連		休講	中国政治入門	2				講義		35	03
21	関連		休講	特殊講義（現代中国政治入門）	2				講義		35	03
22	関連		223L3803	ジェンダー論	2	第2学期	第3ターム	金1・2	講義 田巻 帝子	人文社会科学系(法学部)	34	35
23	関連		220L3808	社会学	2	第1学期	集中		講義 鷹田 佳典	非常勤講師	38	03

■プログラムの名称 「経済学」

概要	人類は、生誕と共に、生産と消費を中心とする経済活動をつづけてきた。人間生活の物的基礎をなすこの経済活動は、この間たんに高度化してきただけではない。その社会的あり方は、量的な変化を伴いながら構造的に、また国や地域ごとに個性を持って段階的に発展してきた。副専攻「経済学」では、このような経済について、その理論・歴史・政策・現状を体系的に学ぶことができる。		
ねらい	人間は、1人では生きてゆけない。ゆえに、相互に認め合い、助け合う関係が不可欠である。この副専攻科目では、そうした社会的人間関係を経済の領域から分析し、自己の社会的位置を明らかにすることを課題としている。		
到達目標	1. 経済学的考え方が説明できる。 2. 経済学の分析手法を利用できる。 3. 現代社会の課題を発見し、問題を経済学的に解明することができる。	副専攻 委員会委員	○山崎 剛志 溝口 由己 中田 豪
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から、必修科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・形式欄に「演習」とある科目は年度初めに選考を行う。なお、人数等により聴講できないこともある。 ・最終的な評価は、基礎的な「経済理論または経済の現状」等に関するレポートによっておこなう。 ・経済科学部学生を除く。 		
プログラムの紹介	<p>日本経済新聞を読みこなすための経済知識を身につける。</p> <p>就職の面接時には経済に関する時事問題を聞かれることが多いため、経済問題に関する理解を深めておくことは、就職活動の準備に他ならない。</p> <p>我々は日本経済新聞やテレビの報道番組などを通して、世の中で起きている経済情報を得ている。しかしながら、経済現象を理解するには、経済の理論や制度、歴史などの基礎知識が必要不可欠である。グローバル化した現代において、経済現象は変化が速く、また、複雑化する傾向にある。最近の経済現象をみていると様々な疑問が湧いてくる。「ドル円などの為替レートはどのような要因で変動するのか」や「アメリカ経済の変化がどのような影響を世界経済に与えるのか」、「日本の財政赤字は維持可能か」など、例を挙げれば枚挙にいとまがない。次のようなフローを通じて、日本経済新聞を読みこなすだけでなく、経済問題に関して自ら分析して仮説を立てることも可能となる。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[経済理論・政策・歴史・世界経済などを学ぶ] --> B[日経新聞を読みこなし、経済問題を理解する] B --> C[自ら経済問題を分析して仮説を立てる] </pre> </div> <p>経済学を学ぶための分野・科目</p> <p>経済学は大まかには、理論、政策、歴史、世界経済の4つの分野に分けることができる。本プログラムを通じて、次のような科目を学ぶことができる。それぞれの科目が相互に関連していることが多いため、経済学は学ばば学ぶほど興味が湧いてくることは確かだ。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>注) 上記の科目は副専攻「経済学」で学ぶことができる一部である。</p>		

「経済学」

■授業科目リスト（掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。）

属性区分 R：必修科目

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準	
1	コア	R	220Q9021	経済学への招待【入門科目】	1	第2学期	第3ターム	火・金・T	演習	山崎 剛志・他	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
2	コア		221E6001	経済学入門	2	第1学期	第1ターム	火・金5	講義	高宮 浩司・他	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
3	コア		220E6086	入門社会経済学	2	第1学期	第1・2ターム	水6	講義	石川 耕三	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
4	コア	夜間	220E6003	入門社会経済学	2	第1学期	第1・2ターム	水6	講義	石川 耕三	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
5	コア		221E6083	入門ミクロ経済学	2	第1学期	第1ターム	火・金3	講義	濱田 弘潤	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
6	コア	夜間	220E5001	入門ミクロ経済学	2	第1学期	第1・2ターム	月6	講義	藤堂 史明	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
7	コア		223E6085	入門マクロ経済学	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義	長谷川 雪子	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
8	コア	夜間	220E6057	入門マクロ経済学	2	第2学期	第3・4ターム	水7	講義	中村 篤志	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
9	コア		222E6080	経済数学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	月3・4	講義	高宮 浩司	人文社会科学系(経済科学部)	36	41
10	コア		223E6094	経済数学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月・木3	講義	高宮 浩司	人文社会科学系(経済科学部)	36	41
11	コア		221E6194	統計入門	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系(経済科学部)	41	03
12	コア		220E6004	日本経済入門	2	第2学期	第3・4ターム	水5	講義	根岸 睦人	人文社会科学系(経済科学部)	36	33
13	関連		222E6118	公共経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火・金2	講義	中東 雅樹	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
14	関連		223E6119	公共経済学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火・金2	講義	中東 雅樹	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
15	関連		224E6087	ミクロ経済学Ⅰ	2	第2学期	第4ターム	火・金3	講義	山崎 剛志	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
16	関連	夜間	220E5002	ミクロ経済学Ⅰ	2	第2学期	第1・2ターム	水7	講義	山崎 剛志	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
17	関連		222E6096	ミクロ経済学Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	火・金3	講義	山崎 剛志	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
18	関連		222E6088	マクロ経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	月・木2	講義	長谷川 雪子	人文社会科学系(経済科学部)	36	03
19	関連	夜間	休講	マクロ経済学Ⅰ	2				講義			36	03
20	関連		224E6097	マクロ経済学Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	月・木2	講義	長谷川 雪子	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
21	関連		220E6095	ゲーム理論	2	第1学期	第1・2ターム	水6	講義	高宮 浩司	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
22	関連		222E6089	計量経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火・金2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
23	関連		休講	計量経済学Ⅱ	2				講義			36	04
24	関連		222E1065	国際貿易論	2	第1学期	第2ターム	火・金4	講義	内藤 雅一	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
25	関連		221E6105	国際マクロ経済学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月・木3	講義	中田 豪	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
26	関連		222E6106	国際マクロ経済学Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	火・金3	講義	中田 豪	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
27	関連		221E6113	財政学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	根岸 睦人	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
28	関連		223E6114	財政学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義	根岸 睦人	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
29	関連		222E6103	金融論Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	月・木2	講義	中村 篤志	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
30	関連		224E6104	金融論Ⅱ	2	第2学期	第4ターム	月・木2	講義	中村 篤志	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
31	関連		222E6102	環境経済システム論Ⅱ	2	第1学期	第2ターム	月3・4	講義	藤堂 史明	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
32	関連	夜間	休講	環境経済システム論Ⅱ	2				講義			36	04
33	関連		221E1071	労働経済学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	張 俊超	非常勤講師	36	04
34	関連		223E1072	労働経済学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義	張 俊超	非常勤講師	36	04
35	関連		221E6098	組織の経済学Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月・木3	講義	濱田 弘潤	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
36	関連		223E6099	組織の経済学Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火・金3	講義	濱田 弘潤	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
37	関連		休講	社会経済学原理Ⅰ	2				講義			36	04
38	関連		休講	社会経済学原理Ⅱ	2				講義			36	04
39	コア		221E6090	世界経済史Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	経済学科教員	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
40	関連		223E6108	世界経済史Ⅱ	2	第2学期	第3ターム	火・金2	講義	経済学科教員	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
41	コア		220E6107	日本経済史	2	第2学期	第3・4ターム	火1	講義	武藤 秀太郎	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
42	関連		220E6091	アメリカ経済論Ⅰ	2	第2学期	第3・4ターム	木6	講義	大森 拓磨	人文社会科学系(経済科学部)	36	33
43	関連		休講	アメリカ経済論Ⅱ	2				講義			36	04
44	関連	夜間	220E6092	EU経済論	2	第2学期	第3・4ターム	水4	講義	藤田 憲	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
45	関連		221E6093	アジア経済論Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	火・金1	講義	溝口 由己	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
46	関連		休講	アジア経済論Ⅱ	2				講義			36	04
47	関連	夜間	222E6110	ロシア経済論	2	第1学期	第2ターム	月・木3	講義	道上 真有	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
48	関連		221E6111	比較経済体制論	2	第1学期	第1ターム	月・木3	講義	道上 真有	人文社会科学系(経済科学部)	36	33
49	関連		223E6112	開発途上国経済論	2	第2学期	第3ターム	火・金4	講義	石川 耕三	人文社会科学系(経済科学部)	36	33
50	関連	夜間	220E6100	市場と組織の理論	2	第1学期	第1・2ターム	火5	講義	大屋 靖成	人文社会科学系(経済科学部)	36	04

■プログラムの名称 「電子・情報科学」

概要	私たちの暮らしは、多くの電気電子情報機器・システムによって支えられており、それらの光の部分として多くの利便性を受けている。その一方で、それらへの「過度の依存」や「過信」、さらには「拒絶反応」という影の部分も生じているため、それらの背後にある「科学技術」を正しく理解しておく必要がある。そこで本副専攻では、特に「電気・電子工学」、「情報工学」、「数理科学」に焦点を絞り、具体的な機器・システムと、その基礎となる物理・化学現象、数理モデルについて理解を深めるためのプログラムを提供する。
----	---

ねらい	電気・電子工学、情報工学、数理科学の各分野の基礎知識を習得し、身近にある電気電子情報機器・システムの動作原理と特性について理解する。さらに、動作原理の基礎となっている物理・化学現象や様々な数理モデルについても理解を深め、機器・システムは「人間がその叡智によって自然現象を巧みに利用して作り上げたもの」であることを正しく理解する。
-----	--

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抵抗、コンデンサ、コイルに生じる電圧・電流の正弦波信号ならびに電気信号による情報伝達・処理について説明できる。 2. 温度センサの原理について理解し、これらを用いた環境制御方法について説明できる。 3. コンピュータとソフトウェアに関する基礎的な用語や概念を説明できる。 4. バーコードを例にして、数理的デジタル処理の応用について説明できる。 5. 木の定義を理解し、その応用について説明できる。 	副専攻 委員会委員	○山家 清之 田中 環 大橋慎太郎 阿部 貴志 高橋 俊彦
------	--	--------------	---


認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該学生の所属する学部が開講する科目（講義番号に「G」が付く科目を除く）のうち、副専攻科目としても認定する単位は最大「12単位」とする。 ・コア科目から、必修科目を含む「12単位」以上を修得していること。 ・コア科目から、必修科目「1単位」、属性区分「A」の科目と「B」の科目からそれぞれ「4単位」以上、合計「9単位」以上を修得していること。 ・必修科目「電子・情報科学」入門は、最初に履修することが望ましい。 ・同一科目名の授業を複数履修はできない。 <p>*工学部工学科人間支援感性科学プログラムの学生は、属性区分「C1」と「C2」の科目を履修できない。 工学部工学科電子情報通信プログラム・知能情報システムプログラムの学生は、属性区分「C2」の科目を履修できない。</p>
---------------------	--


私たちの日常生活を支える「電子・情報科学」技術を正しく理解しましょう

電気・電子
情報
数理科学

➔

現代の生活に
欠かせません

コンピュータ

パソコン

携帯電話


家電への応用
福祉機器への応用
農業生産機械への応用

快適な生活の実現に役立ちます
豊かな高齢化社会の実現に役立ちます
食料の安全・安定供給に役立ちます

これらの機器・システムに用いられている、電子デバイス、電子回路、信号の分析・解析、電子制御システム、デジタル信号処理、コンピュータソフトウェア、情報処理システムなどの基礎を学びます。

これらの基礎技術や機器動作の原理が分かれば、安心納得して、より良い使用ができます。

「電子・情報科学」

■ 授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R: 必修科目/A: 初級コア科目/B: 中級コア科目/C: 関連科目/C1: 関連科目1/C2: 関連科目2

* 工学部工学科人間支援感性科学プログラムの学生は、属性区分「C1」と「C2」の科目を聴講できない。

* 工学部工学科電子情報通信プログラム・知能情報システムプログラムの学生は、属性区分「C2」の科目を聴講できない。

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準	
1	コア	R	220Q9022	電子・情報科学入門【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	火・木	演習	山家 清之	自然科学系(工学部)	99	03
2	コア	A	休講	くらしと数理	2				講義			41	03
3	コア	A	223A0050	食料環境工学	2	第2学期	第3ターム	火・金1	講義	大橋 慎太郎	自然科学系(農学部)	65	04
4	コア	A	223T0201	電子情報通信概論	1	第2学期	第3ターム	木1	講義	崔 森悦・他	自然科学系(工学部)	51	10
5	コア	A	223T0202	知能情報システム概論	1	第2学期	第3ターム	木2	講義	大河 正志・他	自然科学系(工学部)	49	10
6	コア	A	222T0501	人間支援感性科学概論	2	第1学期	第2ターム	月3・4	講義	前田 義信・他	自然科学系(工学部)	56	14
7	コア	B	224A0066	技術者倫理・自然環境関連法規	2	第2学期	第4ターム	月・木2	講義	箕口 秀夫・他	自然科学系(農学部)	62	65
8	コア	B	222T4049	バイオメディカル・エンジニアリング	2	第1学期	第2ターム	火3・4	講義	飯島 淳彦	自然科学系(工学部)	56	14
9	コア	B	221T0001	総合工学概論	2	第1学期	第1ターム	木3・4	講義	鈴木 敏夫・他	自然科学系(工学部)	49	13
10	関連	B	223T0006	情報セキュリティ概論	1	第2学期	第3ターム	水1	講義	佐々木 重信・他	自然科学系(工学部)	49	13
11	関連	B	224T0004	技術者の心がまえ	2	第2学期	第4ターム	水3・4	講義	東瀬 朗	自然科学系(工学部)	49	13
12	関連	B	223T0005	知的財産概論	1	第2学期	第3ターム	水2	講義	宮田 敦久・他	地域創生推進機構	49	13
13	関連	C	222S0541	情報社会論	2	第1学期	第2ターム	火・金5	講義	田中 環	自然科学系(理学部)	10	03
14	関連	C	223S1506	プログラミング概論A	1	第2学期	第3ターム	木4	講義	山田 修司	自然科学系(理学部)	41	03
15	関連	C	224S1512	プログラミング概論B	1	第2学期	第4ターム	木4	講義	山田 修司	自然科学系(理学部)	41	03
16	関連	C	221T3009	電気回路I	2	第1学期	第1ターム	月・木1	講義	金 ミンソク	自然科学系(工学部)	51	04
17	関連	C	222T3032	電磁気学II	2	第1学期	第2ターム	火・金3	講義	小川 純	自然科学系(工学部)	51	04
18	関連	C2*	221T4029	人工知能	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	山崎 達也	自然科学系(工学部)	10	04
19	関連	C2*	224T4034	データ工学	2	第2学期	第4ターム	月3・4	講義	阿部 貴志	自然科学系(工学部)	10	04
20	関連	C	224T4046	アシスティブ・テクノロジー	2	第2学期	第4ターム	水1・2	講義	今村 孝	自然科学系(工学部)	10	04
21	関連	C1*	223T1045	メカトロニクス	2	第2学期	第3ターム	月・木3	講義	山縣 貴幸	自然科学系(工学部)	50	04
22	関連	C1*	224T1046	ロボット工学	2	第2学期	第4ターム	火・金2	講義	平元 和彦・他	自然科学系(工学部)	50	04
23	関連	C2*	223T1034	システム制御I	2	第2学期	第3ターム	火・金1	講義	藤 翔 横山 誠	自然科学系(工学部)	50	04
24	関連	C2*	221T6004	基礎電磁気学	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	佐々木 進	自然科学系(工学部)	54	04
25	関連	C2*	休講	電磁気学応用・演習	2				講義			54	14
26	関連	C2*	休講	電気回路基礎論	2				講義			54	04
27	関連	C2*	222T6035	計測工学	2	第1学期	第2ターム	月・木3	講義	坪井 望・他	自然科学系(工学部)	54	04
28	関連	C	224A0053	精密農業工学	2	第2学期	第4ターム	火3・4	講義	長谷川 英夫	自然科学系(農学部)	65	14
29	関連	C	223A0049	食品・農業情報工学	2	第2学期	第3ターム	金3・4	講義	元永 佳孝	自然科学系(農学部)	65	04
30	関連	C	222A0062	流域環境 GIS	2	第1学期	第2ターム	月・木2	講義	村上 拓彦・他	自然科学系(農学部)	62	03

■プログラムの名称 「**統合化学**」

概要	<p>世の中のものすべて「物質」から出来ており、「物質」の科学である「化学」はあらゆる自然科学の基礎とすることが出来る。しかも「化学」は地球環境・エネルギー繊維、プラスチック、セラミックスなどのあらゆる化学製品、食品、医薬品のみならず電気、通信、情報、自動車などありとあらゆる工業製品の製造に重要である。そこで本副専攻では化学を自然科学として広くとらえることのできる専攻を提供する。</p>		
ねらい	<p>所属部局で学ぶ「化学」を基礎とし、その他の多方面の「化学」に触れることにより、「化学」という学問をより発展的に理解し、応用することを習得する。また、「化学」の社会における役割を総合的に理解する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「化学」と言う学問を構成する各分野の基礎を学び、基礎的問題が解ける。 2. 「化学」の応用面を多方面の視点から学び、幾つかの分野の応用的問題が解ける。 3. 「化学」の社会における役割を考察し、説明できる。 	副専攻 委員会委員	○兒玉 竜也 古川 和広 城 斗志夫
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から「10単位」以上、関連科目から「10単位」以上を修得していること。 		
プログラムの紹介	<p>「化学」という学問は、すべてのサイエンスとテクノロジーの基礎であり中心です。この世の中は全て物質が支配しており、その物質の構造、変化、性質を研究するのが「化学」だからです。したがって「化学」は、理・工・農・医・薬の諸分野にわたって広く学ばれ、活躍しています。本プログラムでは、総合大学としての特徴を生かし、理・工・農各分野におけるエキスパートが、それぞれの得意とする専門分野を背景に「化学」を講じます。</p> <p>「物質の構造と性質」を探求する理学系では、コア科目・関連科目は専門基礎として「化学」の各分野をカバーするように幅広く設定されています。「化学」を総合的に学ぶために、まず「化学基礎（A、B）」の内容を十分理解した上で、各専門科目を学ぶようになっていきます。基礎から専門まで、幅広く勉強出来ます。</p> <p>モノ作りを主たる研究対象とする工学系は、「化学」の提供する「物質」が無ければ成り立ちません。また全ての分野が精密化しており、そのため分子レベルで物質を扱う「化学」の知識がますます必要になって来ています。機械系の加工技術は現在のところナノレベルですが、いづれオングストロームの分子レベルまで精密化されるでしょう。そのためには「化学」の力が必須です。電気系の電子材料には、すべてにおいて純度の極めて高い化学物質が使われています。講義を通じて工学系における「化学」の重要性の一端を理解していただける事と思います。</p> <p>農学系における「化学」は、基礎、応用両面において最も生命現象に関連しています。生命体の中の化学物質の変化が生命活動を維持しているからです。生命活動は依然として未知や未解明の部分がぎわめて多く存在し、農学系の学生のみならず他分野の学生にとっても魅力ある世界を構成しています。他分野の皆さんも、この分野に触れてみませんか。</p>		

「統合化学」

■ 授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R: 必修科目

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準	
1	コア	R	220Q9023	統合化学入門【入門科目】	1	第2学期	第3ターム	月・木・T	講義	兒玉 竜也・他	自然科学系(工学部)	99	03
2	コア		222G5023	化学基礎 A	2	第1学期	第2ターム	火・金3	講義	生駒 忠昭	自然科学系(理学部)	46	03
3	コア		221G5024	化学基礎 A	2	第1学期	第1ターム	月・木4	講義	古川 貢	自然科学系(理学部)	46	03
4	コア		223G5517	化学基礎 A	2	第2学期	第3ターム	火・金4	講義	丸山 健二・他	自然科学系(理学部)	46	03
5	コア		222G5025	化学基礎 B	2	第1学期	第2ターム	月・木4	講義	大鳥 範和	自然科学系(理学部)	46	03
6	コア		221G5026	化学基礎 B	2	第1学期	第1ターム	火・金4	講義	松岡 史郎	自然科学系(理学部)	46	03
7	コア		224G5518	化学基礎 B	2	第2学期	第4ターム	火・金4	講義	梅林 泰宏	自然科学系(理学部)	46	03
8	コア		224S0561	分析化学 I	2	第2学期	第4ターム	月・木1	講義	梅林 泰宏・他	自然科学系(理学部)	46	03
9	コア		221S3501	無機化学 II	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義	後藤 真一	自然科学系(理学部)	46	03
10	コア		224S0563	有機化学 I	2	第2学期	第4ターム	月・木2	講義	長谷川 英悦	自然科学系(理学部)	46	03
11	コア		223S0564	化学熱力学	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義	大鳥 範和	自然科学系(理学部)	46	03
12	コア		220S0565	生体分子化学 I	2	第1学期	第1・2ターム	火3	講義	古川 和広	自然科学系(理学部)	46	03
13	コア		223T0302	基礎有機化学	2	第2学期	第3ターム	月・木5	講義	田中 孝明・他	自然科学系(工学部)	47	03
14	コア		224T0301	基礎無機化学	2	第2学期	第4ターム	月・木5	講義	八木 政行・他	自然科学系(工学部)	47	03
15	コア		222T5002	基礎物理化学	2	第1学期	第2ターム	月・木2	講義	木村 勇雄	自然科学系(工学部)	47	04
16	コア		224T6028	高分子科学	2	第2学期	第4ターム	月・木4	講義	山内 健	自然科学系(工学部)	54	04
17	コア		221A0009	分析化学(農)	2	第1学期	第1ターム	月・木1	講義	大竹 憲邦・他	自然科学系(農学部)	61	03
18	コア		222A0004	生物化学 I	2	第1学期	第2ターム	月・木1	講義	三ツ井 敏明	自然科学系(農学部)	61	04
19	コア		221A0029	生物有機化学	2	第1学期	第1ターム	水1・2	講義	佐藤 努	自然科学系(農学部)	61	04
20	コア		222A0008	食品化学	2	第1学期	第2ターム	火3・4	講義	城 斗志夫	自然科学系(農学部)	61	03
21	コア		223A0007	有機化学(農)	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義	佐藤 努・他	自然科学系(農学部)	61	13
22	関連		223S3519	放射化学	2	第2学期	第3ターム	火・金2	講義	後藤 真一	自然科学系(理学部)	46	04
23	関連		221S3502	有機化学 II	2	第1学期	第1ターム	月・木1	講義	俣野 善博	自然科学系(理学部)	46	03
24	関連		221S3524	化学統計学 II	2	第1学期	第1ターム	火・金1	講義	丸山 健二	自然科学系(理学部)	46	04
25	関連		221T5001	高分子化学概論	2	第1学期	第1ターム	火・金1	講義	青木 俊樹	自然科学系(工学部)	47	04
26	関連		223T0303	化学工学基礎	2	第2学期	第3ターム	火・金2	講義	清水 忠明	自然科学系(工学部)	55	04
27	関連		221T5013	反応工学 I	2	第1学期	第1ターム	水1・2	講義	田口 佳成	自然科学系(工学部)	55	04
28	関連		221T6032	生体分子工学	2	第1学期	第1ターム	木3・4	講義	落合 秋人	自然科学系(工学部)	54	04
29	関連		222T5014	拡散操作 I	2	第1学期	第2ターム	月・木1	講義	多島 秀男	自然科学系(工学部)	55	04
30	関連		221T6029	高分子材料化学	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義	三保 哲	自然科学系(工学部)	54	04
31	関連		224T6027	光化学	2	第2学期	第4ターム	火・金3	講義	由井 樹人	自然科学系(工学部)	54	04
32	関連		222T6026	電気化学	2	第1学期	第2ターム	月・木4	講義	八木 政行・他	自然科学系(工学部)	54	14
33	関連		222T6033	生物材料工学	2	第1学期	第2ターム	月・木2	講義	田中 孝明	自然科学系(工学部)	54	04
34	関連		221A0092	栄養生化学	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	藤村 忍・他	自然科学系(農学部)	61	05
35	関連		223A0030	肥料学	2	第2学期	第3ターム	水1・2	講義	大竹 憲邦	自然科学系(農学部)	61	04
36	関連		224A0012	植物成分化学	2	第2学期	第4ターム	火・金2	講義	三亀 啓吾	自然科学系(農学部)	61.62	04
37	関連		224A0043	土壌生化学	2	第2学期	第4ターム	月・木2	講義	原田 直樹	自然科学系(農学部)	61	05

■プログラムの名称 「医学物理学基礎」

概要
現代の医療はX線CT、MRI、画像誘導放射線治療装置等の物理学を応用して開発された多くの先端技術に支えられており、これら先端技術の役割は益々大きくなってきている。医学物理学は基礎科学である物理学を積極的に医療に生かし、医療の発展に貢献することを目的とする学問分野であり、その専門家である医学物理士は専門知識や技術を生かして医療の現場で診断・治療装置に関する情報を科学的見地から総合的に判断し、適切に医療に反映させる役割を持っている。本副専攻は、放射線治療分野の医学物理士を目指す学生や医学物理学領域の研究開発に関心を持つ学生が、医学物理学の基礎を学ぶためのプログラムである。

ねらい
将来、医学物理士を目指す学生や、医学物理領域の研究開発分野での活躍を志す学生にとって必要な基礎知識・能力の習得を目的とする。具体的には、医学物理士に要求される能力（数式及び数値処理能力、物理的現象を利用して機械装置を正しく操作する能力、実験や計算結果を正しく分析し判断する能力、論理的思考能力等）を育成する。このために、医学領域の学生にとっては科学的思考能力を培うことができ、また理工学系学生にとっては医学物理領域の基礎的知識を修得できるカリキュラムを構成する。なお、医学物理学分野の大学院への接続を意識した履修科目を配置しており、本プログラムの履修を通して学生諸君が研究・開発能力を身に付け、医学物理学の基礎知識を修得し、より高度な医学物理学領域の専門へ円滑に展開できることを意図している。

到達目標

1. 物理現象を理解し、探究又は応用するための基礎物理学的思考ができる。
2. 放射線物理、放射線診断物理、核医学及び放射線治療学の医学物理の基礎を理解できる。
3. 医学物理学分野の大学院へ進むために必要な基礎学力を身に付ける。

副専攻委員会委員

○大坪 隆
笹本 龍太
早川 岳英
成田 啓廣
遊佐 洋右
宇都宮 悟
泉川 卓司

認定条件及び評価の方法

【各プログラム共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。
- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。
- ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。

【各プログラム独自の認定条件等】

- ・理学部物理学プログラム学生は、コア科目A1は共通認定条件の24単位には含めず、A2、A3、B2、C2から12単位以上を修得すること。
- ・放射線技術科学専攻学生は、コア科目A2は共通認定条件の24単位には含めず、A1、B1、C1から12単位以上を修得すること。
- ・理学部物理学プログラム学生以外の理工系学生は、コア科目A1から6単位以上、A2、A3からそれぞれ1科目以上合計6単位以上を修得すること。
- ・放射線技術科学専攻以外の医歯学系学生は、コア科目A3は副専攻科目の単位には含めない。またA1から6単位以上、A2から6単位以上を修得すること。
- ・原則として自然科学系学生、医歯学系学生を対象とした副専攻プログラムである。

プログラムの紹介

本副専攻「医学物理学基礎」は、放射線などの物理現象を診断・治療の医療に応用する分野として発展してきた「医学物理学」の学問領域への導入を図り、医学物理学分野の大学院への接続を考慮したプログラムです。近年、特にがん治療における放射線治療の役割は増大し、その放射線治療の適切な実施のための専門医療職者として、医学物理士が注目されています。治療分野の医学物理士の業務は、放射線治療計画に用いられるビームデータ測定・管理や、線量分布の最適化、治療装置・関連機器の性能保証、治療精度検証、そして研究開発、教育、患者の医学物理的質問への対応などです。

我が国においては、医学物理士の社会的認知度はまだまだ十分ではありませんが、文部科学省のがんプロフェッショナル養成基盤推進プランの中でも、がん医療の専門家として治療分野医学物理士養成が課題の一つになっています。

本プログラムは医学物理学分野の大学院への接続を視野に入れ、学部レベルにおいて医学物理の基礎を学ぶプログラムです。

本プログラムにおける専門科目履修には、オンライン授業については他主専攻からの受講を認めているものがあります。また、対面授業については五十嵐キャンパス（理学部理学科物理学プログラム）と旭町キャンパス（医学部保健学科）をインターネット回線で結んだ遠隔授業システムを使用するものもあります。詳しくは所属学部キャンパスの副専攻代表教員にお問い合わせください。なお、これらの専門科目受講の際には原則として入門科目「医学物理学入門」の受講を条件とします。

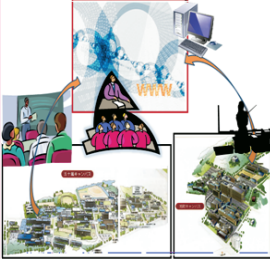
高エネルギー放射線治療装置（リニアック）と水ファントムを用いたビームデータ測定



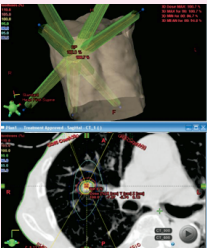
医学物理士の位置づけ






遠隔授業システム



放射線治療計画装置を用いた肺がん定位照射治療計画の例



■プログラムの名称 「学校教育実践」

概要	<p>教育を取り巻く環境は複雑化しており、学校現場は高い専門的知識と、教育への熱意を併せ持つ教師を求めている。本プログラムでは、高等学校教諭、中学校教諭を目指す教育学部以外の学生に対して、早期から学校現場のリアルと理論を行き来しながら学ぶ機会を提供する。また、このプログラムを構成するコア科目は新潟県教育委員会、新潟市教育委員会との協働により開発されたものであり、学校・行政・大学が常に連携を取りながら改善を加えている点も特徴的である。</p>		
ねらい	<p>教育学部以外で教員免許状を取得しようとする学生にとって、実際に学校教育の実践に触れるのは4年次の教育実習を待たなくてはならない。このため、在学中の学びが学校現場のリアルと乖離しがちである。この副専攻では、大学入学後の早い段階から教育現場で実践に参加することを通して、現場のリアルを知るだけでなく、大学での学びを充実させる。これにより、高い専門的知識と、学校組織における問題解決能力の資質・能力を身につけることを目指す。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程を支える教職員の取り組みを体験し、理解できる。 2. 学校現場と大学の往還により、教職課程での学びを深めることができる。 3. 学校を支える活動に貢献し、教員になる意欲を高めることができる。 	副専攻 委員会委員	○後藤 康志 笠井 直美
認定条件 及び評価 の方法	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、第3年次末までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目の属性区分「R」の科目から1単位、属性区分「A」の科目から4単位以上、属性区分「B」の科目から2単位、属性区分「C」の科目から3単位以上を修得していること。 ・教職課程を履修し、教員免許状を取得すること。 ・教育学部学生は認定しない。 		
プログラムの紹介	<p>教職課程を履修し、教師を目指す教育学部以外の皆さんにとって、初めて生徒に直接触れあうことができるのは、4年生の教育実習です。3年間、大学の講義室で学ぶだけでなく、実際に1年生、2年生の段階から生徒に触れ合い、学校教育のやりがいや大変さをリアルに知りながら、学んで欲しい。そうした願いから、開設されたのが「学校教育実践」です。このプログラムでは、1年次から教師を取り巻く学校教育活動に触れながら、少しずつ学習支援や授業の経験を踏むことができます。経験を生かし、新潟市学習支援ボランティアや、近くの学校で自主的にボランティア活動を積むこともできます。一足早く学校現場に飛び出し、先生と呼ばれてみませんか？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		

「学校教育実践」

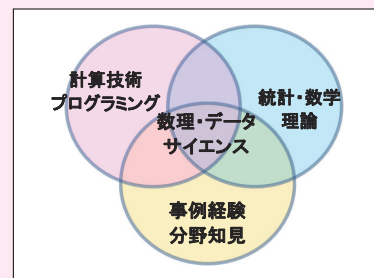
■ 授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R：入門科目／必修科目／A：学校支援系科目／B：授業体験系科目／C：教職実践系科目

分類	属性	開講番号	開講科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者 (代表者)	所属	分野	水準	
1	コア	R	220Q9025	学校教育実践入門【入門科目】	1	第1学期	集中	講義	後藤 康志	教育・学生支援機構	75	03	
2	コア	R	220Q9026	学校教育実践入門【入門科目】	1	第2学期	集中	講義	後藤 康志	教育・学生支援機構	75	03	
3	コア	A	220G3910	学校支援フィールドワークA (小学校)	2	第1学期	集中	実習	後藤 康志・他	教育・学生支援機構	75	03	
4	コア	A	220G3911	学校支援フィールドワークA (中学校)	2	第1学期	集中	実習	後藤 康志・他	教育・学生支援機構	75	03	
5	コア	A	220G3912	学校支援フィールドワークA(高等学校)	2	第1学期	集中	実習	後藤 康志・他	教育・学生支援機構	75	03	
6	コア	A	220G3913	学校支援フィールドワークB (小学校)	4	第1学期	集中	実習	後藤 康志・他	教育・学生支援機構	75	03	
7	コア	A	220G3914	学校支援フィールドワークB (中学校)	4	第1学期	集中	実習	後藤 康志・他	教育・学生支援機構	75	03	
8	コア	B	220G3915	授業フィールドワーク	2	第1学期	集中	実習	後藤 康志・他	教育・学生支援機構	75	03	
9	コア	C	220K9233	中等教育実習Ⅱ (事前・事後指導を含む)	3	通年	不定期開講	実習	教育実習委員会	人文社会科学系(教育学部)	40	23	
10	コア	C	220K9234	中等教育実習Ⅲ	2	通年	不定期開講	実習	教育実習委員会	人文社会科学系(教育学部)	40	24	
11	コア	C	220K9305	教職実践演習 (中等)	2	第2学期	不定期開講	講義	教職実践演習委員会	人文社会科学系(教育学部)	40	24	
12	コア	C	220K0024	教育実践体験研究Ⅲ	2	第1学期	集中	演習	張間 忠人	人文社会科学系(教育学部)	40	14	
13	関連		221K0034	教職入門	2	第1学期	第1ターム	木4・5	講義	後藤 康志・他	教育・学生支援機構	40	23
14	関連		220K0043	教育学概論	2	第1学期	第1・2ターム	木2	講義	中野 啓明	非常勤講師	40	23
15	関連		220K0356	教育・学校心理学 B	2	第2学期	第3・4ターム	金5	講義	佐藤 朗子	非常勤講師	39	23
16	関連		220K0067	教育の制度と経営	2	第1学期	集中	講義	葛西 耕介	非常勤講師	40	23	
17	関連		220K0462	教育方法及び特別活動の指導法 B	2	第1学期	集中	講義	木村 哲郎	非常勤講師	40	23	
18	関連		220K0083	道徳指導法	2	第2学期	第3・4ターム	木2	講義	中野 啓明	非常勤講師	40	23
19	関連		220K0386	特別支援教育概論	2	第2学期	第3・4ターム	木5	講義	長澤 正樹	人文社会科学系 (大学院教育実践学研究科)	40	21
20	関連		220K0387	特別支援教育概論	2	第1学期	第1・2ターム	木5	講義	長澤 正樹	人文社会科学系 (大学院教育実践学研究科)	40	21
21	関連		220K0461	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法 B	2	第1学期	集中	講義	伊藤 敦美	非常勤講師	40	23	
22	関連		220K0361	生徒指導 B	2	第1学期	集中	講義	小関 俊祐	非常勤講師	40	24	
23	関連		220K0362	教育相談・進路指導 B	2	第1学期	集中	講義	新井 雅	非常勤講師	40	24	

■プログラムの名称 「データサイエンス」

<p>概要</p>	<p>様々なデータに内在する本質的構造を理解し数理的思考に基づいて解析・問題解決を行うデータサイエンスは、データ駆動型社会において多様な分野で新たな知見を創出するカギとなることが期待されています。データサイエンスは数理的知識・計算処理技術・問題発見課題解決からなる複合的な領域であり、旧来の学問分野や領域を越えた学習が必要となります。</p> <p>本副専攻では、データサイエンスを構成する各要素に対応した授業科目を満遍なく履修することで知識・技能を分野横断的かつ体系的に学ぶとともに、インターンシップを通して実践的な経験を積むことで、データサイエンティストとしての基礎的な能力を修得します。</p>		
<p>ねらい</p>	<p>データサイエンスに関わる基礎的知識・技能の習熟と実践的経験を通してデータサイエンスの基礎的な能力を修得するとともに、データ駆動型社会において活躍できるための幅広い視野と行動力を身に付ける。</p>		
<p>到達目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. データサイエンスへの社会的要求とその背景について説明できる。 2. データに対しそれが得られた背景や条件をふまえ適切な前処理や分析手法を提案できる。 3. 簡単な前処理（データ結合、データクレンジング、名寄せ）を実施できる。 4. 変数、代入、繰り返し、場合に応じた処理を利用したプログラミングができる。 5. グラフや表などによる可視化表現を適切に使い分けることができる。 6. データのもつ潜在的な意味を読み解き他者に伝えることができる。 	<p>副専攻 委員会委員</p>	<p>○山田 修司 五島 譲司</p>
<p>認定条件 及び評価 の方法</p>	<p>【各プログラム共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムの「入門科目」を、第3年次末までに履修し、その単位を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。 ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。 ・卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。 <p>【各プログラム独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・属性区分「R1」から【入門科目】を含む2単位、「R2」から2単位修得すること。 ・属性区分「A」「B」「C」「D」「E」「F」からそれぞれ2単位以上修得すること。 ・属性区分「G」から1単位以上修得すること。 ・属性区分「H」から8単位以上修得すること。 		
<p>プログラムの紹介</p>	<p>数理・データサイエンスは最適な数理手法を用いてデータの本質を理解・表現する力を養い、新しい知見を創出する能力を身に付ける横断的な新しい学習領域です。その重要性は、政府の統合イノベーション戦略推進会議が策定した『AI戦略2019』（現『AI戦略2021』継続）に、「文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒／年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得」といった目標が掲げられているように、これからの社会の基盤となる必須知識として位置づけられています。特にデータサイエンス人材の活用は経済産業省が主導しており、社会的需要は今後ますます拡大するでしょう。</p> <p>本副専攻ではデータサイエンスの実践レベルの能力（基礎的知識及び実践的経験）が習得できます。「まずは初級レベルから」「インターンシップや外部発表はちょっと大変かも…」という人は基礎的な内容で構成されるパッケージ型マイナー「データサイエンスリテラシープログラム」もお勧め。</p> <p>レッツ！データサイエンス！【数理・データサイエンス教育プログラム https://www.iess.niigata-u.ac.jp/clc/program.html】</p>		



「データサイエンス」

■ 授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分

R1: データサイエンス入門科目群/R2: 外部発表

A: 統計科目群/B: 数学科目群/C: 情報概論科目群/D: 情報処理演習科目群/E: プログラミング基礎科目群/

F: プログラミング応用科目群/G: 情報セキュリティ科目群/H: インターンシップ科目群

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R1	(全科目)	データサイエンス総論Ⅰ 【入門科目】	1					山崎 達也・他		10	03
2	コア	R1	(全科目)	データサイエンス総論Ⅱ	1					山崎 達也・他		10	03
3	コア	R1	223X0009	データサイエンス概説 【入門科目、創生学部学生のみ】	2	第2学期	第3ターム	火・金4	講義	熊野 英和・他	自然科学系(創生学部)	75	13
4	コア	R2	220G3983	データサイエンス発表	2	集中			実習	山田 修司	自然科学系(理学部)	10	04
5	コア	A	221H2043	社会調査法A	2	第1学期	第1ターム	金3・4	講義	杉原 名穂子	人文科学系(人文学部)	38	13
6	コア	A	220H2050	メディア・表現文化実習D	1	第2学期	第3・4ターム	木5	実習	古賀 豊	人文科学系(人文学部)	10	13
7	コア	A	220K1307	統計学Ⅰ	2	第1学期	第1・2ターム	火4	講義	伏木 忠義	人文科学系(教育学部)	41	04
8	コア	A	220K1308	統計学Ⅱ	2	第2学期	第3・4ターム	火4	講義	伏木 忠義	人文科学系(教育学部)	41	04
9	コア	A	220K5103	教育統計学(心理学統計法)	2	第1学期	第1・2ターム	水3	講義・演習	斎藤 有吾	経営戦略本部教育戦略統括室	40	04
10	コア	A	221E1015	統計入門Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系(経済科学部)	41	03
11	コア	A	222E1073	計量経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火・金2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
12	コア	A	222E6089	計量経済学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	火・金2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系(経済科学部)	36	04
13	コア	A	221E6194	統計入門	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義	伊藤 伸幸	人文社会科学系(経済科学部)	41	03
14	コア	A	224E6195	統計入門	2	第2学期	第4ターム	火・金2	講義	中東 雅樹	人文社会科学系(経済科学部)	41	03
15	コア	A	220M1214	医学情報学(基礎)	1.5	第2学期	集中		講義	齋藤 玲子・他	医歯学系(大学院医歯学総合研究科(医))	82	13
16	コア	A	220M5024	医療統計学	2	第2学期	第3・4ターム	土2	講義	関 奈緒	医歯学系(医学部保健)	82	03
17	コア	A	220DA212	社会調査法	2	第1学期	第1・2ターム	他	演習	葭原 明弘・他	医歯学系(歯学部)	86	14
18	コア	A	220DS202	医療統計学	2	第1学期	第1・2ターム	他	講義	葭原 明弘・他	医歯学系(歯学部)	90	14
19	コア	A	221T3003	応用数理E	2	第1学期	第1ターム	火3・金4	講義	坂井 宏之	非常勤講師	41	03
20	コア	A	221T4001	応用数理E	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	永幡 幸生	自然科学系(工学部)	41	03
21	コア	A	221T7002	応用数理E	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	永幡 幸生	自然科学系(工学部)	41	03
22	コア	A	222T2003	応用数理E	2	第1学期	第2ターム	月・木4	講義	永幡 幸生	自然科学系(工学部)	41	03
23	コア	A	222T6002	応用数理E	2	第1学期	第2ターム	月・木4	講義	永幡 幸生	自然科学系(工学部)	41	03
24	コア	A	224T0503	ビジネス統計学	2	第2学期	第4ターム	木3・4	講義	東瀬 朗	自然科学系(工学部)	37, 38, 49	13
25	コア	A	222A0042	生物統計学	2	第1学期	第2ターム	金3・4	講義	大竹 憲邦・他	自然科学系(農学部)	60	04
26	コア	A	223A0081	環境統計学	2	第2学期	第3ターム	水3・4	講義	関島 恒夫・他	自然科学系(農学部)	62, 65	04
27	コア	A	224A0119	農業統計学	1	第2学期	第4ターム	月4	講義	板野 志郎・他	自然科学系(農学部)	60	13
28	コア	A	221G5011	統計学基礎1	1	第1学期	第1ターム	月5	講義	坂井 一貴	非常勤講師	41	03
29	コア	A	221G5013	統計学基礎1	1	第1学期	第1ターム	水1	講義	家富 洋	非常勤講師	41	03
30	コア	A	223G5505	統計学基礎1	1	第2学期	第3ターム	火5	講義	蛭川 潤一	自然科学系(理学部)	41	03
31	コア	A	223G5507	統計学基礎1	1	第2学期	第3ターム	月5	講義	坂井 一貴	非常勤講師	41	03
32	コア	A	222G5012	統計学基礎2	1	第1学期	第2ターム	月5	講義	坂井 一貴	非常勤講師	41	03
33	コア	A	222G5014	統計学基礎2	1	第1学期	第2ターム	水1	講義	家富 洋	非常勤講師	41	03
34	コア	A	224G5506	統計学基礎2	1	第2学期	第4ターム	火5	講義	蛭川 潤一	自然科学系(理学部)	41	03
35	コア	A	224G5508	統計学基礎2	1	第2学期	第4ターム	月5	講義	坂井 一貴	非常勤講師	41	03
36	コア	B	222H2044	社会調査法B	2	第1学期	第2ターム	火3・4	講義	渡邊 登	人文社会科学系(人文学部)	38	13
37	コア	B	220K1303	線形代数学Ⅰ	2	第1学期	第1・2ターム	水4	講義	張間 忠人	人文社会科学系(教育学部)	41	13
38	コア	B	220K1304	線形代数学Ⅱ	2	第2学期	第3・4ターム	水4	講義	張間 忠人	人文社会科学系(教育学部)	41	14
39	コア	B	220K1305	微分積分学Ⅰ	2	第1学期	第1・2ターム	月5	講義	高田 土満	人文社会科学系(教育学部)	41	03
40	コア	B	220K1311	代数学序説	2	第1学期	第1・2ターム	水5	講義	関 隆宏	経営戦略本部評価センター	41	03
41	コア	B	222E1017	経済数学	2	第1学期	第2ターム	月3・4	講義	高宮 浩司	人文社会科学系(経済科学部)	36, 41	03
42	コア	B	222E6080	経済数学Ⅰ	2	第1学期	第2ターム	月3・4	講義	高宮 浩司	人文社会科学系(経済科学部)	36, 41	03
43	コア	B	223S0545	線形代数ⅠA	1	第2学期	第3ターム	木1	講義	鈴木 有祐	自然科学系(理学部)	41	03
44	コア	B	223S0547	集合と写像	1	第2学期	第3ターム	月5	講義	大井 志穂	自然科学系(理学部)	41	03
45	コア	B	223S0559	基礎物理数学	2	第2学期	第3ターム	火・金2	講義	中野 博章	自然科学系(理学部)	43	03
46	コア	B	224S0551	オペレーションズ・リサーチ	2	第2学期	第4ターム	月・木5	講義	山田 修司	自然科学系(理学部)	41	03

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
47	コア	B	224S0560	基礎ベクトル解析	2	第2学期	第4ターム	火・金2	講義	石川 文洋	自然科学系（理学部）	43	03
48	コア	B	221T1001	応用数理A	2	第1学期	第1ターム	月・木5	講義	安部 隆	自然科学系（工学部）	41	03
49	コア	B	221T1003	応用数理B	2	第1学期	第1ターム	火・金4	講義	山本 征法	自然科学系（工学部）	41	03
50	コア	B	221T4023	離散数学	2	第1学期	第1ターム	金1・2	講義	高橋 俊彦	自然科学系（工学部）	10	04
51	コア	B	222T1002	応用数理A	2	第1学期	第2ターム	月・木1	講義	龍本 哲也・他	自然科学系（工学部）	41	03
52	コア	B	222T3001	応用数理B	2	第1学期	第2ターム	月・木3	講義	酒匂 宏樹	自然科学系（工学部）	41	03
53	コア	B	222T4002	電気数理I	2	第1学期	第2ターム	月・木1	講義	石井 望・他	自然科学系（工学部）	49	03
54	コア	B	222T4003	応用数理B	2	第1学期	第2ターム	月・木3	講義	坂井 宏之	自然科学系（工学部）	41	03
55	コア	B	223T5004	応用数理B	2	第2学期	第3ターム	火・金1	講義	高橋 剛	自然科学系（工学部）	49	03
56	コア	B	223T6003	物理数学	2	第2学期	第3ターム	火・金1	講義	龍本 哲也	自然科学系（工学部）	54	04
57	コア	B	221G5001	解析学基礎1	1	第1学期	第1ターム	水1	講義	大井 志穂	自然科学系（理学部）	41	03
58	コア	B	221G5003	数学基礎A1	1	第1学期	第1ターム	水1	講義	山田 修司	自然科学系（理学部）	41	03
59	コア	B	221G5005	数学基礎A1	1	第1学期	第1ターム	水1	講義	渡邊 恵一	自然科学系（理学部）	41	03
60	コア	B	221G5007	数学基礎B1	1	第1学期	第1ターム	金3	講義	星 明考	自然科学系（理学部）	41	03
61	コア	B	221G5009	数学基礎B1	1	第1学期	第1ターム	水3	講義	小島 秀雄	自然科学系（理学部）	41	03
62	コア	B	222G6001	基礎数理A I	2	第1学期	第2ターム	火・金4	講義	高橋 剛	自然科学系（工学部）	41	03
63	コア	B	222G5002	解析学基礎2	1	第1学期	第2ターム	水1	講義	大井 志穂	自然科学系（理学部）	41	03
64	コア	B	222G5004	数学基礎A2	1	第1学期	第2ターム	水1	講義	山田 修司	自然科学系（理学部）	41	03
65	コア	B	222G5006	数学基礎A2	1	第1学期	第2ターム	水1	講義	渡邊 恵一	自然科学系（理学部）	41	03
66	コア	B	222G5008	数学基礎B2	1	第1学期	第2ターム	金3	講義	星 明考	自然科学系（理学部）	41	03
67	コア	B	222G5010	数学基礎B2	1	第1学期	第2ターム	水3	講義	小島 秀雄	自然科学系（理学部）	41	03
68	コア	B	222G6007	基礎数理A I	2	第1学期	第2ターム	火・金1	講義	永幡 幸生	自然科学系（工学部）	41	03
69	コア	B	222G6008	基礎数理A I	2	第1学期	第2ターム	月・木4	講義	酒匂 宏樹	自然科学系（工学部）	41	03
70	コア	B	222G6009	基礎数理A I	2	第1学期	第2ターム	月・木4	講義	管野 政明	自然科学系（工学部）	41	03
71	コア	B	222G6010	基礎数理A I	2	第1学期	第2ターム	火・金3	講義	酒匂 宏樹	自然科学系（工学部）	41	03
72	コア	B	223G5501	数学基礎A1	1	第2学期	第3ターム	水3	講義	未定	自然科学系（理学部）	41	03
73	コア	B	223G5503	数学基礎B1	1	第2学期	第3ターム	水2	講義	田中 環	自然科学系（理学部）	41	03
74	コア	B	223G6501	数学の世界	2	第2学期	第3ターム	水4・5	講義	小島 秀雄・他	自然科学系（理学部）	41	03
75	コア	B	223G6502	基礎数理B	2	第2学期	第3ターム	火・金4	講義	高橋 剛	自然科学系（工学部）	41	03
76	コア	B	223G6503	基礎数理B	2	第2学期	第3ターム	火・金1	講義	永幡 幸生	自然科学系（工学部）	41	03
77	コア	B	223G6504	基礎数理B	2	第2学期	第3ターム	月・木4	講義	酒匂 宏樹	自然科学系（工学部）	41	03
78	コア	B	223G6505	基礎数理B	2	第2学期	第3ターム	月・木4	講義	管野 政明	自然科学系（工学部）	41	03
79	コア	B	223G6506	基礎数理B	2	第2学期	第3ターム	火・金3	講義	管野 政明	自然科学系（工学部）	41	03
80	コア	B	224G5502	数学基礎A2	1	第2学期	第4ターム	水3	講義	未定	自然科学系（理学部）	41	03
81	コア	B	224G5504	数学基礎B2	1	第2学期	第4ターム	水2	講義	田中 環	自然科学系（理学部）	41	03
82	コア	B	224G6512	基礎数理A II	2	第2学期	第4ターム	火・金4	講義	高橋 剛	自然科学系（工学部）	41	03
83	コア	B	224G6513	基礎数理A II	2	第2学期	第4ターム	火・金1	講義	永幡 幸生	自然科学系（工学部）	41	03
84	コア	B	224G6514	基礎数理A II	2	第2学期	第4ターム	月・木4	講義	酒匂 宏樹	自然科学系（工学部）	41	03
85	コア	B	224G6515	基礎数理A II	2	第2学期	第4ターム	月・木4	講義	管野 政明	自然科学系（工学部）	41	03
86	コア	B	224G6516	基礎数理A II	2	第2学期	第4ターム	火・金3	講義	山本 征法	自然科学系（工学部）	41	03
87	コア	C	休講	基礎情報論	2				講義			10.38	03
88	コア	C	224K0385	教育情報論	1	第2学期	第4ターム	水4	講義	下保 敏和	人文社会科学系（教育学部）	40	23
89	コア	C	休講	情報処理概論I	2				講義			10	03
90	コア	C	休講	情報処理概論II	2				講義			10	03
91	コア	C	220S0540	情報産業論	2	第2学期	第3・4ターム	金3	講義	清野 和司・他	非常勤講師	10	04
92	コア	C	222S0541	情報社会論	2	第1学期	第2ターム	火・金5	講義	田中 環	自然科学系（理学部）	10	03
93	コア	C	220M1402	医学情報学（応用）	0.5	第1学期	集中		講義	赤澤 宏平・他	医歯学総合病院（医）	82	14
94	コア	C	222T4021	データ構造とアルゴリズム	2	第1学期	第2ターム	金1・2	講義	高橋 俊彦	工学部	10	04
95	コア	C	221T4029	人工知能	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	山崎 達也	自然科学系（工学部）	51	24

	分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
96	コア	C	221T7038	人工知能	2	第1学期	第1ターム	月・木2	講義	山崎 達也	自然科学系(工学部)	10	04
97	コア	C	223T0202	知能情報システム概論	1	第2学期	第3ターム	木2	講義	大河 正志・他	自然科学系(工学部)	49.10	13
98	コア	C	224T3052 224T4036	ネットワーク工学	2	第2学期	第4ターム	月2・木1	講義	中野 敬介	自然科学系(工学部)	51	04
99	コア	C	220G3025	情報処理概論A I	2	第1学期	第1・2ターム	水5	講義	齋藤 裕	教育・学生支援機構	10	03
100	コア	C	220G3511	情報処理概論A II	2	第2学期	第3・4ターム	水5	講義	齋藤 裕	教育・学生支援機構	10	03
101	コア	C	221G3001	情報リテラシー概論	2	第1学期	第1ターム	金4・5	講義	須川 賢洋・他	人文社会科学系(法学部)	10	01
102	コア	D	220K1309	情報数学I	2	第1学期	第1・2ターム	月2	講義	伏木 忠義	人文社会科学系(教育学部)	41	04
103	コア	D	220K1310	情報数学II	2	第2学期	第3・4ターム	月2	講義	伏木 忠義	人文社会科学系(教育学部)	41	04
104	コア	D	220K2108	情報基礎及び実習	2	第2学期	第3・4ターム	月4・5	実習	佐藤 亮一	人文社会科学系(教育学部)	15	14
105	コア	D	223M5346	医療情報学	1	第2学期	第3ターム	水3	講義	近藤 世範	医歯学系(医学部保健)	87	24
106	コア	D	221T0203	コンピュータ基礎	1	第1学期	第1ターム	火3	演習・講義・実習	飯田 佑輔	自然科学系(工学部)	10	13
107	コア	D	221T0204	コンピュータ基礎	1	第1学期	第1ターム	火4	演習・講義・実習	飯田 佑輔	自然科学系(工学部)	10	13
108	コア	D	222T3026	デジタル回路	2	第1学期	第2ターム	水1・2	講義	鈴木 孝昌	自然科学系(工学部)	51	04
109	コア	D	(全科目)	データサイエンス基礎演習	2					山田 修司・他	自然科学系(理学部)	10	01
110	コア	E	221S0554	計算機演習A	1	第1学期	第1ターム	月1	演習	池 浩一郎	自然科学系(理学部)	41	03
111	コア	E	222S0557	計算機演習B	1	第1学期	第2ターム	月1	演習	池 浩一郎	自然科学系(理学部)	41	03
112	コア	E	223S1506	プログラミング概論A	1	第2学期	第3ターム	木4	講義	山田 修司	自然科学系(理学部)	41	03
113	コア	E	224S1512	プログラミング概論B	1	第2学期	第4ターム	木4	講義	山田 修司	自然科学系(理学部)	41	03
114	コア	E	221T3024	プログラミングB I	2	第1学期	第1ターム	金1・2	演習・講義・実習	村松 正吾・他	自然科学系(工学部)	51	04
115	コア	E	223T0205	プログラミング基礎 I	2	第2学期	第3ターム	月1・2	演習・講義・実習	阿部 貴志・他	自然科学系(工学部)	10	13
116	コア	E	223T0206	プログラミング基礎 I	2	第2学期	第3ターム	火3・4	演習・講義・実習	阿部 貴志・他	自然科学系(工学部)	10	13
117	コア	E	223T0506	プログラミング基礎 I	2	第2学期	第3ターム	火・金1	演習・講義・実習	堀 潤一・他	自然科学系(工学部)	10	13
118	コア	E	224T0207	プログラミング基礎 II	2	第2学期	第4ターム	月1・2	演習・講義・実習	金 ミンソク・他	自然科学系(工学部)	10	13
119	コア	E	224T0208	プログラミング基礎 II	2	第2学期	第4ターム	火3・4	演習・講義・実習	金 ミンソク・他	自然科学系(工学部)	10	13
120	コア	E	224T0507	プログラミング基礎 II	2	第2学期	第4ターム	水1・2	演習・講義・実習	堀 潤一・他	自然科学系(工学部)	10	13
121	コア	E	221X2003	データサイエンス実践A	2	第1学期	第1ターム	月・木3	講義	熊野 英和	自然科学系(創生学部)	75	13
122	コア	E	休講	データサイエンスのためのPython入門	1				演習			10	03
123	コア	E	休講	データサイエンスのためのPython入門	1				演習			10	03
124	コア	F	221S1520	プログラミング演習A	1	第1学期	第1ターム	木5	演習	池 浩一郎・他	自然科学系(理学部)	41	04
125	コア	F	222S1530	プログラミング演習B	1	第1学期	第2ターム	木5	演習	池 浩一郎・他	自然科学系(理学部)	41	04
126	コア	F	224S1547	オペレーションズ・リサーチ実習	1	第2学期	第4ターム	火・金5	実習	山田 修司	自然科学系(理学部)	41	04
127	コア	F	221T4010	プログラミングA I	2	第1学期	第1ターム	水1・2	演習・講義・実習	上野 雄大	自然科学系(工学部)	10	04
128	コア	F	221T7006	実践プログラミング I	2	第1学期	第1ターム	月3・金2	演習・講義・実習	堀 潤一・他	自然科学系(工学部)	10	13
129	コア	F	222T3025	プログラミングB II	2	第1学期	第2ターム	木1・2	演習・講義・実習	村松 正吾・他	自然科学系(工学部)	51	04
130	コア	F	222T4011	プログラミングA II	2	第1学期	第2ターム	水3・4	演習・講義・実習	上野 雄大・他	自然科学系(工学部)	10	04
131	コア	F	222T7007	実践プログラミング II	2	第1学期	第2ターム	火1・金2	演習・講義・実習	堀 潤一・他	自然科学系(工学部)	10	13
132	コア	G	222L3403	情報セキュリティと法 I (情報セキュリティ) / 特殊講義 (情報セキュリティと法)	2	第1学期	第2ターム	水3・4	講義	須川 賢洋	人文社会科学系(法学部)	34	04
133	コア	G	223L3404	情報セキュリティと法 II (IT社会制度) / 特殊講義 (ITと法と経済)	2	第2学期	第3ターム	水3・4	講義	須川 賢洋	人文社会科学系(法学部)	34	04
134	コア	G	223T0006	情報セキュリティ概論	1	第2学期	第3ターム	水1	講義	佐々木 重信・他	自然科学系(工学部)	49	13
135	コア	G	休講	コンピュータセキュリティ入門	2				講義			10	03
136	コア	G	休講	コンピュータセキュリティ入門	2				講義			10	03
137	コア	H	220G3981	データサイエンス・インターンシップ (事前・事後指導)	2		集中		演習	山田 修司	自然科学系(理学部)	10	05
138	コア	H	220G3982	データサイエンス・インターンシップ	6		集中		実習	山田 修司	自然科学系(理学部)	10	05

4. よくある質問FAQ

始めるときに、よくある質問

Q1 副専攻プログラムの履修開始方法を教えてください。始めるときに申し込みなどが必要ですか？

A 副専攻プログラムの履修開始にあたって、学務情報システムでの「マイナー学修」申し込みが必要です。卒業するまでに認定条件を満たすように、副専攻パンフレットに掲載されている授業科目を履修してください。

Q2 何の講義からとったらいいのかわかりません。

A まずはスタートアップガイダンスに参加したり、パンフレットを熟読するなどして、取得を目指す副専攻ではどんな科目を何単位とったらよいか、把握しましょう。それでも、何の講義からとったらいいか疑問が生じることがあるかもしれません。そのような時は、自分の所属する学部・学科の先輩が、取得を目指す副専攻をどのように取得したかの履修例を知ると良いでしょう。学務部教務課窓口にて過去の認定者の履修例を閲覧できますので、是非足を運んでみてください。

また、プログラム代表教員やアカデミック・アドバイザーに相談してみるのも有意義です。代表教員及びアカデミック・アドバイザーの連絡先は60ページを参照ください。

Q3 副専攻プログラムのシラバス（冊子媒体）はありますか。

A 冊子媒体のシラバスはありません。シラバス検索画面 (<https://syllabus.niigata-u.ac.jp/>) からご確認ください。

Q4 副専攻科目の時間割やシラバスはどうやって確認するのですか。

A シラバス検索画面 (<https://syllabus.niigata-u.ac.jp/>) からご確認ください。

Q5 副専攻の科目はCAP制*に含まれるのでしょうか。

A どの科目をCAPに含めるかは、学部によって異なります。お手数ですが、所属学部の学務係に確認してください。

ちなみに、講義番号が「220Q0001」など、『Q』が付く科目（副専攻のためだけに開講されている科目）はCAPには含めず、その他の科目はCAPに含める学部が多いようです。

* 学期（セメスター）ごとに取得できる単位数を制限する制度をCAP制と呼びます。

Q6 副専攻の科目は卒業要件の単位に含まれるのでしょうか。

A どの科目を卒業要件の単位に含めるかは、学部によって異なります。お手数ですが、所属学部の学務係に確認してください。

Q7 入門科目は、全てのプログラムにおいて1年次から履修可能ですか。

A 1年次から履修可能かどうかは、プログラムによって異なります。外国語（ドイツ語）プログラム、外国語（中国語）プログラムについては、2年次以上の学生が対象です。それ以外のプログラムでは、1年

次から履修可能です。また、MOT基礎、芸術学、地域学、法律学、政治学の入門科目は2021年度以前の入学者（編入学生は2022年度以前入学者）のみ履修可能です。

Q8 副専攻パンフレットに掲載されている科目の履修登録の方法がわかりません。

A 通常の科目と同様です。学務情報システムから履修登録してください。

Q9 学務情報システムから、オナーズ・タイム*（以下、H・T）に開講されている副専攻科目（たとえば開講番号220Q1234など、副専攻のためだけに開講されている科目）を履修登録しようと思いましたが、見つけれません。

A 学務情報システムの履修登録画面では、H・Tは2限と3限の間にあります。

*オナーズ・タイムとは、全ての学部・学科の学生が履修できるよう設けられている昼休みの時間帯をいいます。

Q10 H・Tの授業時間を教えてください。

A 11時55分～12時45分です。新潟大学の授業時間割は、60ページをご参照ください。

Q11 副専攻パンフレットを入手したい場合はどうしたらよいですか。

A 学務部教務課で随時配布しています。

Q12 過去の副専攻パンフレットを入手したい場合はどうしたらよいですか。

A 学務情報システムのダウンロードのページからダウンロードできます。

Q13 2022年度入学者ですが、副専攻パンフレットは卒業するまで2022年度の副専攻パンフレットを参照しながら、履修をしたらよいのですか。

A いいえ。副専攻プログラムの履修にあたっては、副専攻プログラムの履修を開始した年度から、卒業年次までに毎年発行される副専攻パンフレットを参照しながら履修を進めてください。副専攻プログラム対象の科目の追加などの、細かい変更があるためです。

たとえば2021年度入学者でも、2022年度（2年次）から副専攻の認定を目指す場合には、2022年度には2022年度副専攻パンフレット、2023年度（3年次）では2023年度副専攻パンフレット、2024年度（4年次）では2024年度副専攻パンフレットを参照しながら、履修を進めてください。

なお、過去のパンフレットは、学務情報システムのダウンロードのページからダウンロードできます。

Q14 オナーズ型マイナーを複数設定することはできますか。

A 主専攻等（皆さんが所属する学部での専門の授業）の履修がおろそかになることがないように、オナーズ型マイナーを2つ以上認定することはできません。ただし、他のマイナー（学修創生型、パッケージ型）であれば、オナーズ型マイナーとあわせて認定することができます。

Q15 先輩の履修例を知りたいのですが、どうすればよいでしょうか。

A 所属する学部・学科によってどうやって履修すればよいかはかなり異なると考えられますので、先輩の履修例は大いに参考になると思われます。学務部教務課窓口にて過去の認定者の履修例を閲覧できます。

Q16 コア科目とはなんですか。

A その副専攻プログラムで学ぶ様々な科目の基礎となったり、関係を理解するための足場になったりするような科目で、「核（コア）」となるような科目です。

Q17 海外研修とはどのようなものですか？

A プログラムによって異なるので、プログラム代表教員に相談してください。また、外国語（英語）、外国語（ドイツ語）、外国語（フランス語）、外国語（コリア）、外国語（ロシア語）、外国語（中国語）では海外研修を含めたガイダンスを実施することがあります。そこでは、海外研修について紹介されることもあるので、機会があれば参加してみてください。

Q18 海外研修の単位認定について教えてください。

A 具体的な方法はプログラムによって異なるので、プログラム代表教員に相談してください。単位認定申請の時期は11月下旬からおおよそ3週間です。具体的な申請時期は、副専攻掲示板及び学務情報システムからお知らせします。

*注 すでに単位認定済みのものについては、副専攻「海外研修」としての単位認定申請は認められません。

Q19 海外研修の詳細について知りたいのですが、どうしたらよいでしょうか。

A 副専攻外国語プログラムの単位認定のための海外研修を考えている場合は、必ず渡航前にプログラム代表教員に相談してください。

Q20 就職活動で副専攻をアピールする方法はありますか？

A 副専攻履修証明書を使う方法もあります。

Q21 副専攻履修証明書とはなんですか。

A 副専攻の修得が最終的に証明されるのは、卒業式での「副専攻認定証書」授与後になります。しかし、それでは就職活動などで副専攻を履修していることをアピールできないため、副専攻の履修を大学が公的に証明する「新潟大学副専攻プログラム履修証明書」が用意されています。履修証明書の発行要件を満たした方は、申請があれば随時、学務部教務課で証明書を発行していますので、ぜひ活用してください（8ページ参照のこと）。

Q22 副専攻プログラムの授業科目について、正しく修得できているかどうか不安です。現在の副専攻プログラムで履修済みの科目をチェックできるシステムはありますか。

A 学務情報システムの「マイナー学修（副専攻）関連」ページの「マイナー学修（副専攻）成績情報参照」画面にて履修状況を確認できます。（10ページ参照。）

Q23 副専攻GPAを確認する方法を教えてください。

A 学務情報システムの「マイナー学修（副専攻）関連」ページの「マイナー学修（副専攻）成績情報参照」画面から「マイナー学修（副専攻）成績確認表」ボタンをクリックすることで副専攻GPAを確認できます。（10ページ参照。）

Q24 2021年度副専攻パンフレットに掲載されていなかった科目ですが、2022年度副専攻パンフレットに新たに掲載されていました。この科目を2021年度に履修済みの場合、副専攻科目として認定されますか。具体的には以下のような場合です。

例) 2022年度副専攻パンフレットのあるプログラムに「A講義」が追加されていました。2021年度副専攻パンフレットには「A講義」は掲載されていませんが、2021年度に履修済みの「A講義」は副専攻科目として認めてもらえますか。

A 原則、各年度の副専攻パンフレットに掲載されている科目を副専攻科目として認定します。当該年度に掲載されていない科目は対象になりません。ただし、科目の内容が同一であると副専攻プログラム部会で認められた場合には遡って認定されます。疑問がある場合には、プログラム代表教員または学務部教務課までご連絡ください。

Q25 2021年度副専攻パンフレットに掲載されている科目ですが、2022年度副専攻パンフレットでは科目が削除されていました。この場合、2021年度に履修済みの科目は副専攻科目として無効になりますか。

A 無効になりません。

Q26 「卒業時のGPAが2.5以上であること。」とありますが、これは副専攻科目の成績だけが対象でしょうか？

A いいえ、不合格科目も含む全ての科目が対象です。GPAは学務情報システムから「マイナー学修（副専攻）関連」→「マイナー学修（副専攻）成績情報参照」画面→「マイナー学修（副専攻）成績確認表出力」ボタンをクリックすることで確認できます。（10ページ参照。）

Q27 GPAの計算に不合格科目は含まれますか。

A 副専攻科目だけでなく、全履修科目を対象としたGPAが2.5以上である必要があります。また、不合格科目も含まれます。GPAは学務情報システムの「マイナー学修（副専攻）関連」ページの「マイナー学修（副専攻）成績情報の参照」画面から「マイナー学修（副専攻）成績確認表出力」ボタンをクリックすることでGPAを確認できます。（10ページ参照。）

Q28 科目名が同じで、開講番号が異なる科目は、副専攻の対象科目となりますか？

A プログラム担当教員に確認してください。『積み重ね履修が可能な科目』以外は、対象となりません。

Q29 積み重ね履修が可能な科目で修得した単位は、それぞれ副専攻の対象となりますか？

例) 英米言語文化演習を4科目履修した場合など、全て副専攻24単位に含まれますか。

A 積み重ねが可能な科目と不可能な科目があります。プログラム担当教員に確認してください。

Q30 認定申請時期を教えてください。

A 副専攻の認定申請期間は、卒業年次の12月中旬～1月中旬までのおおよそ1ヶ月の間です。掲示板や学務情報システムを使って周知しますので、忘れずに確認してください。

Q31 「マイナー学修（副専攻）成績確認表」に認定科目が表示されませんが、どうすればいいでしょう。

A 「マイナー学修（副専攻）成績確認表」には、認定科目は表示されません。そのため、副専攻認定申請時にはマイナー学修（副専攻）成績確認表に手書きで追記してください。

Q32 副専攻の認定にあたって、認定試験のようなものはあるのでしょうか。ある場合、課題はいつ、どのように通知があるのでしょうか。

A 認定試験やレポートがあるプログラムとないプログラムがあります。認定試験やレポートがあるプログラムは、「各プログラム独自の認定条件等」にレポートや課題が記載されています。担当教員から提出時期などのお知らせを学務情報システムや、副専攻掲示等で通知しますので、それに従ってください。パンフレットに記載が無いものについては、特に認定試験はありません。

Q33 副専攻認定証書はいつ授与されますか？

A 卒業式に授与されます。

新潟大学副専攻の認定に関する規則

【趣旨】

第1条 この規則は、新潟大学における副専攻の認定等に関し必要な事項を定めるものとする。

【副専攻の目的】

第2条 副専攻は、学部及び学科又は課程の専攻に係る分野以外の特定分野又は特定課題について、授業科目を体系的に編成することにより、学生の多様な知的探究心と資質に即したプログラムを提供し、多元的理解力、統合的理解力等を育成することを目的とする。

【副専攻の区分】

第3条 副専攻は、そのプログラムの編成方法により、分野別副専攻及び課題別副専攻に区分する。

- 2 分野別副専攻のプログラムは、特定の分野の授業科目により編成するものとする。
- 3 課題別副専攻のプログラムは、特定の課題について幅広い分野にわたる授業科目により編成するものとする。
- 4 副専攻として開設するプログラムは、別表のとおりとする。

【認定の要件】

第4条 副専攻の認定を希望する学生は、第3年次末までに当該副専攻プログラムの入門科目として定める授業科目（以下「入門科目」という。）を履修し、その単位を修得しなければならない。

- 2 副専攻を認定することができる学生は、次に掲げる要件を満たすものとする。
 - (1) 当該副専攻プログラムの認定の対象となる別表に定める資格を有し、かつ所定の授業科目について24単位以上を修得していること。
 - (2) 卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
 - (3) 卒業時までに履修したすべての授業科目について、次表の計算方法による1単位当たりの成績の平均値が2.5以上であること。
- 3 第1項の規程にかかわらず、教育・学生支援機構長が必要と認めた場合は、第4年次末までに修得した入門科目を含むことができる。

$$\frac{(\text{各授業科目の単位数} \times (\text{各授業科目の評価} - 50) \div 10) \text{の総和}}{\text{履修した各授業科目の単位数の総和}}$$

備考 この算式において「各授業科目の評価」が60点未満の場合は、「(各授業科目の評価 - 50)」の値を「0」とする。

【副専攻の認定申請】

第5条 副専攻の認定を受けようとする学生は、卒業年次の所定の期日までに副専攻の認定に係る申請を行わなければならない。

【副専攻の認定】

第6条 副専攻の認定は、大学教育委員会の議を経て教育・学生支援機構長（以下「機構長」という。）が行う。

2 機構長は、前項により副専攻の認定を行ったときは、学長に報告するものとする。

【副専攻の認定証書の授与】

第7条 学長は、前条第2項による報告に基づき、副専攻の認定を受けた者に副専攻認定証書（別記様式）を授与する。

【雑則】

第8条 この規則に定めるもののほか、副専攻に関し必要な事項は、別に定める。

別記様式（第7条関係）

第 号	
新潟大学副専攻認定証書	
大学印	○○学部○○学科 卒業 氏 名 年 月 日生
本学の教育課程において優秀な成績を修め副専攻プログラムを修了したことを認定する	
副専攻プログラム ○○○○	
年 月 日	
新潟大学教育・学生支援機構長 ○○○○	印
新 潟 大 学 長 ○○○○	印

※附則及び第3条第4項の別表を除く。

令和4年度 副専攻プログラム代表教員連絡先

プログラム名	担当者	所属	メールアドレス
環境学	吉川 夏樹	農 学 部	natsuky@agr.niigata-u.ac.jp
MOT基礎 (特許・経営及び製品開発基礎コース)	狩野 直樹	工 学 部	kano@eng.niigata-u.ac.jp
芸術学	廣部 俊也	人 文 学 部	shrbe@human.niigata-u.ac.jp
外国語(ドイツ語)	田邊 恵子	人 文 学 部	keiko@human.niigata-u.ac.jp
外国語(英語)	平野 幸彦	人 文 学 部	hirano@human.niigata-u.ac.jp
外国語(フランス語)	逸見 龍生	人 文 学 部	t.hemmi@human.niigata-u.ac.jp
外国語(コリア)	藤石 貴代	人 文 学 部	fujiishi@human.niigata-u.ac.jp
外国語(ロシア語)	番場 俊	経 済 学 部	bamba@econ.niigata-u.ac.jp
外国語(中国語)	土屋 太祐	経 済 学 部	tsuchiya@econ.niigata-u.ac.jp
地域学	原 直史	人 文 学 部	hara@human.niigata-u.ac.jp
GIS(地理情報システム)リテラシー	奈良間千之	理 学 部	narama@env.sc.niigata-u.ac.jp
法律学	上村 都	法 学 部	uemura@jura.niigata-u.ac.jp
政治学			
経済学	山崎 剛志	経 済 学 部	tyamazak@econ.niigata-u.ac.jp
電子・情報科学	山家 清之	工 学 部	yambe@eng.niigata-u.ac.jp
統合化学	兒玉 竜也	工 学 部	tkodama@eng.niigata-u.ac.jp
医学物理学基礎	大坪 隆悟 宇都宮 悟	理 学 部 医学部(保健学科)	tohtsubo@np.gs.niigata-u.ac.jp sutsuno@clg.niigata-u.ac.jp
学校教育実践	後藤 康志	教育・学生支援機構 教職支援センター	gotoh@ge.niigata-u.ac.jp
データサイエンス	山田 修司	理 学 部	yamada@math.sc.niigata-u.ac.jp

アカデミック・アドバイザー	竹岡 篤永 神田麻衣子	教育・学生支援機構	kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp
---------------	----------------	-----------	---------------------------------

授業時間割

昼間コース

時限	授業時間
1 時限	8 時30分～10時00分
2 時限	10時15分～11時45分
H・T	11時55分～12時45分
3 時限	12時55分～14時25分
4 時限	14時40分～16時10分
5 時限	16時25分～17時55分

夜間主コース

時限	授業時間
6 時限	18時05分～19時35分
7 時限	19時45分～21時15分

※ H・T(オナーズ・タイム)は原則として、副専攻等における授業時間帯とする。

令和4年度 副専攻入門科目等一覧

●各プログラム「入門科目」の時間割、開講番号が「22●Q」で始まる科目(いわゆるQ科目*)の時間割を掲載しています。教室は学務情報システムのシラバスから確認してください。

*Q科目とは、副専攻プログラムのために開講されている科目です。

●その他の科目の時間割・教室は、学務情報システムのシラバスから確認してください。

シラバスに教室を掲載していない科目は、その科目を所管している学部(開講番号先頭の英字で区別しています。)の学務係窓口で「時間割表」又は「シラバス(講義概要)」を閲覧してください。

【開講番号の英字と所管している学部】

G(学務部教務課)、H(人文学部)、K(教育学部)、L(法学部)、E(経済科学部)、S(理学部)、M(医学部)、T(工学部)、A(農学部)

●変更がある場合には、副専攻掲示板及び学務情報システムからお知らせします。

●集中講義の日程・教室・聴講手続きについては、後日副専攻掲示板及び学務情報システムからお知らせします。

●H・Tとは、オナズ・タイム(11:55~12:45)のことです。

プログラム名	開講番号	科目名	学期	ターム	曜限	担当教員(代表)
環境学	220Q9001	環境学入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	木H・T	吉川 夏樹・他
	220Q9002	環境学実習	集中			本間 航介
	220Q9003	環境学演習	第2学期	第3・4ターム	水H・T	中田 誠・他
MOT基礎 (特許・経営及び製品開発基礎コース)	220Q9004	特許・経営および製品開発入門【入門科目】	第1学期	第1ターム	月・木H・T	狩野 直樹 他
	220Q9005	特許と技術経営Ⅰ	集中			(非)吉井 雅栄
	220Q9006	特許と技術経営Ⅱ	集中			(非)丸山 三孝
芸術学	200Q9007	芸術学入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	水H・T	廣部 俊也
	220Q9008	芸術学実習	第2学期	第3・4ターム	水H・T	廣部 俊也
外国語(ドイツ語)	220Q9009	ドイツ学研究法【入門科目】	第2学期	第3・4ターム	火H・T	(非)山田 容子
外国語(英語)	220Q9010	英語文化研究【入門科目】	第2学期	第3・4ターム	水H・T	平野 幸彦
外国語(フランス語)	220Q9011	フランス学研究法【入門科目】	第2学期	第3・4ターム	木H・T	(非)金子 麻里
外国語(コリア)	220Q9012	コリア学入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	木H・T	藤石 貴代
	220Q9013	国際交流	集中			(非)李・森澤
外国語(ロシア語)	220Q9014	ロシア学研究法【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	水H・T	番場 俊
外国語(中国語)	220Q9015	中国学研究法【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	木H・T	(非)斯日・応・肖
地域学	220Q9016	地域学序説入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	木H・T	原 直史
	220Q9017	地域学実習	不定期開講			原 直史
	220Q9018	地域学演習	第2学期	第3・4ターム	木H・T	原 直史
GIS(地理情報システム)リテラシー	220Q9019	副専攻GISリテラシー入門【入門科目】	集中			(非)長谷川 普一
	220Q9020	研究プロジェクト演習	第2学期	第3・4ターム	時間外	奈良間 千之
法律学	221G7076	人文社会科学入門(法学)	第1学期	第1ターム	水3・4	上山 泰・他
	222G7079	リーガル・システム	第1学期	第2ターム	月4・木4	山本 真敬・他
政治学	221G7076	人文社会科学入門(法学)	第1学期	第1ターム	水3・4	上山 泰・他
	222G7079	リーガル・システム	第1学期	第2ターム	月4・木4	山本 真敬・他
経済学	220Q9021	経済学への招待【入門科目】	第2学期	第3ターム	火・金H・T	山崎 剛志・他
電子・情報科学	220Q9022	電子・情報科学入門【入門科目】	第1学期	第1・2ターム	火H・T	山家 清之・他
統合化学	220Q9023	統合化学入門【入門科目】	第2学期	第3ターム	月・木H・T	兒玉 竜也・他
医学物理学基礎	220Q9024	医学物理学入門【入門科目】	第2学期	第3ターム	水・金H・T	大坪 隆・他
学校教育実践	220Q9025	学校教育実践入門【入門科目】	第1学期	集中		後藤 康志
	220Q9026	学校教育実践入門【入門科目】	第2学期	集中		後藤 康志
データサイエンス	全科目	データサイエンス総論Ⅰ【入門科目】				山崎 達也・他

問い合わせ先・案内図

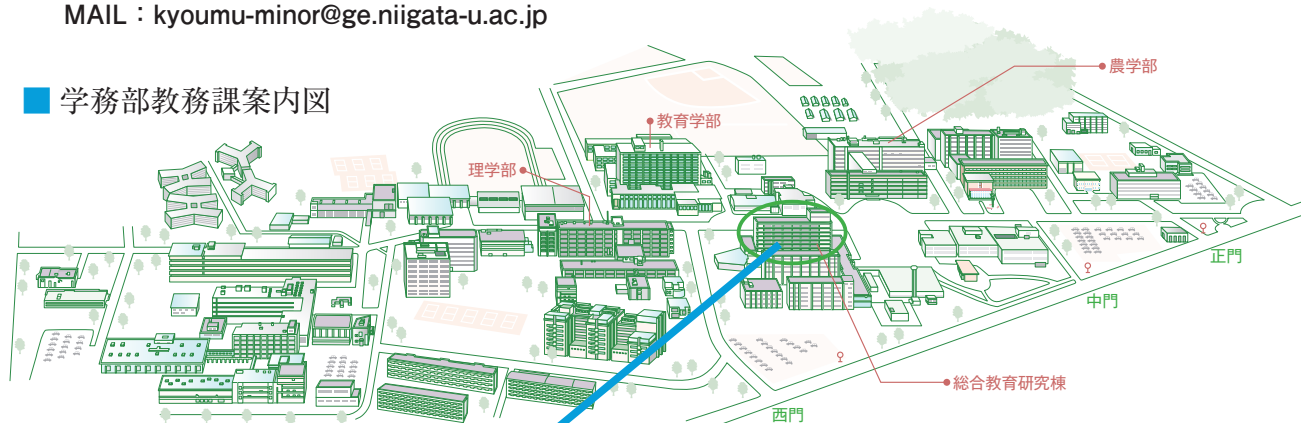
■ 学務部教務課③番窓口

総合教育研究棟A棟 1階

TEL : 025-262-6311

MAIL : kyoumu-minor@ge.niigata-u.ac.jp

■ 学務部教務課案内図



総合教育研究棟



総合教育研究棟 A棟 1階
学務部教務課③番窓口



■ 学務部教務課掲示板：総合教育研究棟B棟 2階 学生玄関正面に設置

問い合わせ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学 学務部 教務課

電話 (025)262-6311 FAX (025)262-6304



上野園